

# 資料集

- 企業のグリーン購入取組事例集 P1
- アンケート調査票 P124
- [参考資料] 報告書内で使われる用語について P128

## 企業のグリーン購入取組事例集目次

※五十音順

- 1.青山商事株式会社 滋賀営業所【小売業】
- 2.アケボノ特機株式会社【電気】
- 3.旭化成住工株式会社【製造（金属製品）】
- 4.有限会社アビスミナミイ【小売業】
- 5.株式会社アヤハ環境開発【サービス】
- 6.居川電機商会【電気】
- 7.株式会社イケダ光音堂【小売業】
- 8.伊藤工機株式会社 滋賀工場【製造（機械）】
- 9.株式会社イワタ【製造（繊維製品）】
- 10.株式会社 SAK 滋賀工場【製造（電気機器）】
- 11.枝電機株式会社【電気機器】
- 12.NTT 西日本 滋賀支店【電気通信事業】
- 13.近江鉄道株式会社【輸送・倉庫】
- 14.近江ニスコ工業株式会社【製造（金属製品）】
- 15.株式会社近江ミネラルウォーターサービス【製造（食料品）】
- 16.大阪ガス株式会社 滋賀事業所【電気・ガス】
- 17.株式会社大阪電子科学技術研究所【電気機器】
- 18.有限会社オービット【小売業】
- 19.株式会社北中工務店【建設】
- 20.木村電工株式会社【建設】
- 21.京セラ株式会社 滋賀蒲生・八日市工場【製造（電気機器）】
- 22.ケイシン株式会社【製造（石油・ゴム製品）】
- 23.コダマ印刷【印刷・印刷関連】
- 24.紺藤織物株式会社【製造（繊維製品）】
- 25.醒井工業株式会社【製造】
- 26.サンテクノス株式会社【製造】
- 27.サンテックオプト株式会社 滋賀工場【製造】
- 28.サントリー酒類株式会社 近江エージングセラー【製造（食料品）】
- 29.シーアイ化成株式会社 滋賀工場【製造（化学）】
- 30.株式会社滋賀銀行【銀行・信用金庫】
- 31.滋賀県立大学生活協同組合【小売業・食堂事業】
- 32.滋賀トヨタ自動車株式会社【小売業】
- 33.滋賀日野自動車株式会社【小売業】
- 34.株式会社滋賀松風【製造（精密機械）】
- 35.滋賀三菱自動車販売株式会社【小売業】
- 36.株式会社新聞素材【その他】
- 37.株式会社スズキ自販滋賀【卸売業】
- 38.株式会社スマ印刷【印刷・印刷関連】
- 39.株式会社そごう・西武 西武大津店【小売業】
- 40.大日本スクリーン製造株式会社【製造（精密機械）】
- 41.株式会社大和【建設】
- 42.タカシマ電工株式会社【製造（電気機器）】
- 43.たち建設株式会社【建築】
- 44.田中建材株式会社【建設】
- 45.東レ株式会社 滋賀事業場【製造（化学）】
- 46.東レテクノ株式会社【サービス】
- 47.トクデン株式会社 マキノ工場【製造】
- 48.トラヤ商事【卸売業】
- 49.中村印刷株式会社【印刷・印刷関連】
- 50.日本ソフト開発株式会社【情報サービス】
- 51.日本電気硝子株式会社【製造（窯業）】
- 52.博善社印刷株式会社【印刷・印刷関連】
- 53.株式会社浜崎銃砲火薬店【小売業】
- 54.株式会社ビジネスセンター太陽堂【小売業】
- 55.平田機工株式会社【製造（一般機械器具）】
- 56.株式会社平和堂【小売業】
- 57.ベティブーフ【小売業】
- 58.有限会社美鈴環境サービス【サービス】
- 59.満田工業株式会社【建設】
- 60.有限会社山本教育システム【小売業】
- 61.リンナイ株式会社 滋賀営業所【製造（金属製品）】
- 62.渡辺圭商店【卸売業】
- 63.A 社【製造】
- 64.B 社【製造】
- 65.C 社【製造】
- 66.D 社【-】
- 67.E 社【製造（化学）】
- 68.F 社【製造（化学）】
- 69.G 社【製造】
- 70.H 社【製造（電気機器）】
- 71.I 社【卸売業】

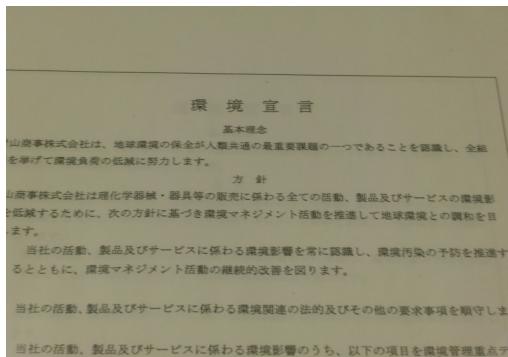
1	青山商事株式会社 滋賀営業所		
所在地	滋賀県栗東市手原 3 丁目 10-8	従業員数	7 人
業 種	小売業	取材日	2011 年 8 月 9 日
対応者	本社営業部 営業本部長 上田茂雄様		
事業内容	理化学機械・器具、計測機器の販売。		
環境の取組 全般について	<p>2006 年に KES の step1 を認証取得。全社員で環境保全に取り組んでいる。ガソリンの使用量削減、環境配慮型商品の使用、事務所周辺の清掃活動を重点項目に挙げて取組を行っている。電気使用量については、規定では本社と併せたものを提出すれば良いのだが、節電対策のために滋賀営業所のみで使用量の把握と削減の取組を行っている。</p> <p>KES 取得のきっかけは主要取引先である島津製作所の影響によるところが大きい。島津製作所が環境報告書の作成や環境関連セミナーの開催を行っているので青山商事としても自分たちのできる範囲で取組をしようと思い、取得に至った。</p> <p>KES 取得をきっかけにダンボール回収の取組を始めた。</p> <p>現在は環境負荷の高いガソリンの使用量削減に取り組んでいる。導入前にプリウスと普通車で比較実験を行ったところ、プリウスのほうが、環境負荷が小さいという結果が出たので導入に至った。初期投資のコストが必要となったが、経営者を説得し、導入する事ができた。</p>		
グリーン購入の取組について	取組方法	<p>購入記録をつけてグリーン購入に取り組んでいるが、少しずつ環境配慮型商品の割合が増えている。環境配慮型商品に切り替えたものはカタログに付箋を貼って目印をつけておき、本社の購買担当者とどの商品を切り替えたのか、導入したか等の情報交換・情報共有をしてグリーン購入の取組の輪を広げている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 環境宣言</li> <li>・取組の範囲 全社的</li> <li>・判断基準 なし</li> <li>・地産地消の推進 社内備品はできる限り近くで作られたものを選定</li> <li>・実績把握 環境配慮型商品に切り替えた際に記録している</li> <li>・対象品目 紙類、ティッシュペーパー、紙製事務用品、文具類、エアコン、自動車</li> </ul>	
	外部公表	<p>HP で公表している。</p> <p>名刺で KES 取得をアピールしているので、お客様と話す際にグリーン購入に関する話をする事もあり、今後も取組の輪を広げていけたらと考えている。</p>	
	取引先等への啓発等	<p>計測機器を取り扱っている取引先から、どのような環境の取組をしているかというアンケート調査をされ、その内容で点数がつけられ評価される。</p>	
	従業員への研修・啓発等	<p>グリーン購入の取組に当たっては人づくりをしていく事も必要なので、職場でグリーン購入をする事によって、従業員が家庭に帰ったときも同じように取り組んでいくと良いと考えている。</p> <p>滋賀事業所では女性が中心になって環境保全活動に取り組んでいるが、正直に言うと KES 取得以前はここまでやってくれると思わなかつたほどきっちり取り組んでくれている。</p> <p>島津製作所として啓発の意味でマイバックを作った際には、それを社員への啓発目的で配布した事がある。</p>	
	効果と負担 今後の展望	<p>現在は KES の取組を少しずつ進めているところである。</p> <p>取組を進める上で、取組内容に行き詰まり、今後新しい取組をしようという段階になったときに他の企業の事例を知りたい。</p>	
その他	滋賀県の企業は環境についての意識が高いように感じている。		



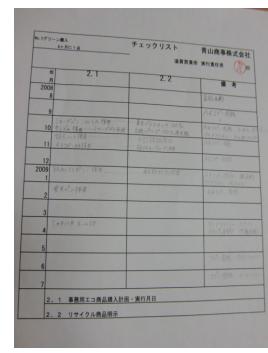
外観



KES 登録証



環境宣言



グリーン購入チェックリスト



商品選定に使用しているカタログ



2	<b>アケボノ特機株式会社</b>		
所在地	滋賀県彦根市芹川町 593-1	従業員数	23 人
業 種	電気	取材日	2011 年 7 月 15 日
対応者	代表取締役 安井満雄様 営業 木村太一様 総務 瀧由美子様		
事業内容	電気通信小売業として 30 年以上の歴史があり、AV 機器や映像機器を取り扱っている。同様の機器類を取り扱っている会社は滋賀県には 2 社しかない。また、防犯カメラも取り扱っており、滋賀県の環境推進部等、行政向けに防犯カメラの販売も行っている。防犯カメラは一眼レフで 1 分に 7 回写真撮影ができるもので不法投棄防止等の用途に使われる。アケボノ特機の社屋にもカメラが設置されており、HP から彦根城の映像を見る事ができる。		
環境の取組 全般について	滋賀県の登録制度「GP プラン滋賀」STEP1 に登録。 現代表取締役の安井氏がソニー厚木工場で ISO の話を聞いた事をきっかけにグリーン購入の考え方を知り、環境の取組をする事になった。 官庁からの発注が多い事もあり、現場でのごみ分別を徹底している。 省エネの取組として、蛍光灯を通常 2 本使用するところを同じ明るさを保つつ 1 本にして使用。業者になるべく環境配慮で省エネになるものをと話し、LED を使用した場合等と比較検討し導入を決めた。 びわこ環境ビジネスメッセに出展している。		
グリーン購入の取組について	取組方法	グリーン購入法適合品やエコマーク等の環境ラベルの有無をグリーン購入の判断基準としている。最近は事務機屋さんから環境配慮型商品を勧められる事もある。最近変わったばかりの制服もエコマーク付きのものを選んだ。環境配慮で見た目も良いし、涼しい素材でできていて社員にも好評。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 なし</li> <li>・取組の範囲 全社的</li> <li>・判断基準 あり</li> <li>・実績把握 なし</li> <li>・対象品目 紙類、トイレットペーパー、ティッシュペーパー、紙製事務用品、文具類</li> </ul>	
	外部公表	滋賀 GPN 会員である事を名刺に記載。営業の会話の中でグリーン購入について触れる事もある。 (販売品を) 単体で入札に入れるとには環境配慮型商品であるほうが有利な場合もある。メーカーのように物を作っていると自社商品を出して説明できるので分かりやすいが、そうではないので、自社がグリーン購入をしているというアピールをするのが難しいと感じている。	
	取引先等への啓発等	営業する際に環境配慮型商品を勧めるようにしている。次回県立高校へも環境配慮型の機器を提案する予定。	
	従業員への研修・啓発等	滋賀 GPN の講座 (GP プラン滋賀支援プログラム) に参加している。講習の内容は会社に持ち帰って回覧し、その後の実践に生かすようにしている。また、朝礼等でグリーン購入情報を探信する。	

	<p><b>効果と負担 今後の展望</b></p> <p>他の企業のグリーン購入の取組事例を聞きたい。事業所見学会等に参加し、他社の事例を知る事で自社の取組に生かせる事も多く、情報収集が大切だと考えている。</p> <p>また、商品を販売する際、相手にグリーン購入に関する意識がないと環境配慮の意義を理解してもらえない場合があるので、社会全体の認知度が上がるようさらなるグリーン購入の推進が必要だと考えている。</p> <p>また、環境配慮型商品でもラベル等の表示が無いものもあり、勧める際に困る事がある。</p>
<b>滋賀GPNについて</b>	<p>滋賀 GPN 会員（1999 年より・設立発起団体）</p> <p>滋賀 GPN 設立発起人でもあるので、設立当初から関わっている。</p>



外観



外観



ヒアリング風景



制服  
(エコマーク商品)



3	<h1>旭化成住工株式会社</h1>		
所在地	滋賀県東近江市湯屋町1番地（滋賀工場）	従業員数	422人
業種	製造（金属製品）	取材日	2011年6月28日
対応者	管理部 管理一課 担当課長 松宮秀典様		
事業内容	<p>ヘーベルハウス用の鉄骨部材とプレハブ屋根部材等を製造する住宅部材製造会社である。滋賀工場は一工場での鉄骨部材生産量では日本でトップクラスの規模である。</p>		
環境の取組全般について	<p>滋賀工場は第二種エネルギー管理指定工場であり、毎年原単位（売上高比）1%以上削減の省エネに取り組んでいる。</p> <p>また、環境負荷の低減を図るために、原料・資材（鋼材・梱包材）の工場受け入れの無駄を省き、発生量を抑制するとともに発生した廃棄物（排水汚泥、鉄、プラスチックくず等）は、再使用、再生利用している。</p>		
グリーン購入の取組について	<p>取組方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 グリーン購入に関する方針・グリーン購入ガイドライン</li> <li>・取組の範囲 全社的</li> <li>・判断基準 あり</li> <li>・実績把握 あり</li> <li>・対象品目 紙類、トイレットペーパー、紙製事務用品、文具類、コピー機、エアコン、など</li> </ul> <p>外部公表</p> <p>取組の一部はHPにて公表している。</p> <p>取引先等への啓発等</p> <p>社内改善提案制度で、毎年10月のグリーン購入キャンペーン月間に合わせて、グリーン購入に関する改善を「強調月間テーマ」に設定し、工場内協力会社の従業員にも、社員同様に提案提出を推進している。</p> <p>また、「取引基本契約」の中でグリーン購入への協力を謳い、購買先にもグリーン購入の推進を呼びかけている。</p> <p>従業員への研修・啓発等</p> <p>社内改善提案制度の中で、グリーン購入などの環境に良い改善を評価する「社内エコポイント制度」を実施している。これは、従業員が環境に良い改善を実施して提案書を提出すると、環境担当者の採点により2~30点のエコポイントがもらえ、これを貯めると千円~10万円の褒賞金がもらえる仕組みである。個人が獲得した点数は社内のインターネットに掲示され、提案者が意欲的に環境保全に取り組む事ができる。「社内エコポイント制度」は「環境ビジネス（日本ビジネス出版）」誌の2011年6月号に「省エネを評価する仕組みづくり」として掲載された。</p> <p>社員食堂で地産地消フェアを定期的に実施し、マイバック持参や簡易包装等についてもインターネットや掲示板への掲示などで適宜呼びかけを行っている。</p> <p>効果と負担 今後の展望</p> <p>グリーン購入した事でCO<sub>2</sub>削減・廃棄物削減の効果がわかると良い。また、カーボンフットプリントが商品ごとに設定されれば明確に効果を示す事ができ、年間目標に取り上げているCO<sub>2</sub>削減に計上できると考えている。従業員が取組結果を見て、個々が行った小さな活動がプラスされる事で、大きな活動と合わせた全体の効果を確認できるようになり、更なる取組の活性化が図れるよう思う。効果の「見える化」ができると良い。</p>		

滋賀GPNについて	<p><b>滋賀 GPN 会員（2003 年より）</b></p> <p>滋賀 GPN の活動は入会当時と比べて徐々に形が変わってきてている。今ではグリーン購入だけでなく、広い意味の環境活動や社会貢献活動を行うようになってきており、そこに社会的・世の目的にも意味があると考えている。そうした方向に変わられた滋賀 GPN は魅力的な組織だと思う。もし滋賀 GPN が単純なグリーン購入活動のみをテーマとする団体であれば、活動への参画継続は難しかったと思う。企業の人間は商売もあり環境もあり社会貢献的な事もあり、色々なニーズがある事から総合的に取り組んでいる滋賀 GPN は魅力的だ。また、参加する事で営業ルートが新規開拓できた事や、通常ならつながるはずのないところとつながる場が持てるところも魅力的である。</p>
その他	<p>グリーン購入についてガイドラインはあるが、個々の認識度を把握しているものは無いので、今後は外部のグリーン購入の研修や社内での集合教育に担当者だけでなく、職制もぜひ参加させたい。</p>



外觀



## ヒアリング風景

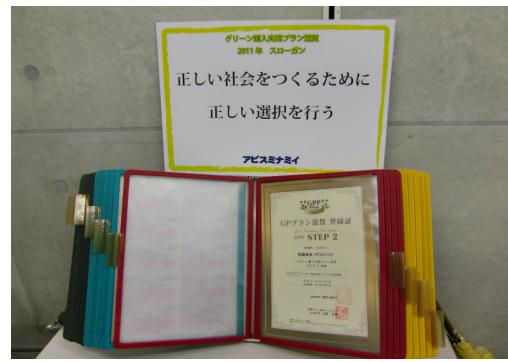
2011年6月号環境ビジネスに社内エコポイント制度について掲載  
((株)日本ビジネス出版)



4	有限会社アビスマミマイ				
所在地	滋賀県東近江市栄町 7-12	従業員数	5 人		
業 種	小売業	取材日	2011 年 9 月 20 日		
対応者	代表取締役 南井秀樹様				
事業内容	文具・事務用品の販売、事務機器・複合機の販売。				
環境の取組 全般について	<p>滋賀県の登録制度「GP プラン滋賀」STEP2 に登録。</p> <p>商品の梱包材は、お客様に送る際に再利用するなどして、できる限り廃棄しないようにしている。</p> <p>名刺作成の際には琵琶湖のヨシを使った名刺を使用している。</p> <p>店舗では販売時に簡易包装を呼びかける等、小売店ならではの取組を行っている。</p>				
グリーン購入の取組について	取組方法	<p>全社的にグリーン購入法適合品を購入し、GP プラン滋賀の様式を使って購入記録をつけている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 グリーン購入に関する方針</li> <li>・取組の範囲 全社的</li> <li>・判断基準 あり</li> <li>・実績把握 あり</li> <li>・対象品目 紙類、トイレットペーパー、紙製事務用品、文具類、オフィス家具、ファクシミリ、プリンタ、コピー機、パソコン、冷蔵庫、テレビ、洗濯機、エアコン、自動車、照明</li> </ul>			
	外部公表	店舗の商談フロアに GP プラン滋賀の登録証を掲示している。			
	取引先等への啓発等	<p>以前は「グリーン購入コーナー」を店舗の一角に作って PR していたが、近年文房具の環境配慮型商品が増加。ほとんどが環境配慮型商品になってしまったため、現在は作っていない。</p> <p>環境配慮事業者かどうかで全て決めるわけではないが、ISO14001 認証取得の有無やその他環境の取組をしている業者を優先的に選定している。</p> <p>販売先から一時期は環境配慮型商品の要望があったが、最近は不景気のあおりもあってかコスト重視の傾向にある。</p>			
	従業員への研修・啓発等	従業員研修として、GP プラン滋賀の支援プログラムに 2 名が参加している。個人の生活でできる活動に関する啓発については今後行っていきたいと考えている。			
	効果と負担 今後の展望	グリーン購入に取り組む効果と、取り組む事による外部の評価がわかると良い。			
滋賀GPNについて	<p>グリーン入札への参加資格として必要だったため、GP プラン滋賀に登録した。GPN は企業が環境の取組をアピールする場として使われる機会が多いのではないかと感じている。大企業はお金を投資できるため大きな取組ができる目立つが、零細企業は PR しにくい。零細企業でも PR できるような仕組みがあると良いと考えている。</p> <p>最終的には、全てが環境配慮型商品で、みんながグリーン購入をする事が当たり前になり、「グリーン購入」という言葉も無くなる事が理想だと思う。</p>				
その他	東日本大震災の影響で色上質紙が、手に入りにくくなっている。				



外観



グリーン購入のスローガンと GP プラン滋賀認定証

5	<b>株式会社アヤハ環境開発</b>		
所在地	滋賀県草津市野村一丁目 26 番 8 号	従業員数	90 人
業 種	サービス	取材日	2011 年 8 月 26 日
対応者	施設管理部 環境責任者 北村康彦様		
事業内容	<p>建設工事業（電気・機械設備工事、塗装工事、CC「Cedar（杉）Cypress（桧）」クレイ工事、CC 緑化工事、CC 屋上緑化工事、土壌固化材（マグネシウム系））</p> <p>総合ビル管理業務（建設・設備保全、警備業務）</p> <p>電気保安業務（点検、工事の監理、電気事故対応、官庁手続）</p> <p>合理化提案業務（省エネ機器の提案、エコライフ工事、太陽光発電システムの販売）</p> <p>水質調査（家庭の飲料水、井戸水、会社やマンションの貯水槽、公共プール、浴場）</p>		
環境の取組 全般について	<p>ISO14001 を認証取得しており、ISO14001 の取組の中で自社の環境配慮型商品の販売を目標に掲げている。目標達成のために、LED 電球・エコキュート等の省エネ機器の拡販をしている。また水質検査の売上げを伸ばす等も目標に掲げている。</p> <p>社内では、パフォーマンス活動として「社有車燃料費コンテスト」「改善提案活動」を、報奨金制度を用いて行っている。社有車燃料費コンテストでは、全社（12 台）を対象とし年に一回燃費の良い車のドライバーに対して行っている。改善提案活動は、全社員対象とし毎月一回各部署に提案を提出し採用された案を皆で実行している。また、事務所付近にあるガソリンスタンドのガソリン価格を社内に提示する事により社員が省エネを意識できる状況にしている。</p>		
グリーン購入の取組について	取組方法	<p>事務用品、机、椅子、作業服（ペットボトル利用）はエコ商品を使用している。自社で販売している環境配慮型商品の売り上げの実績をつけている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 ISO 等グリーン購入手順書</li> <li>・取組の範囲 全社的</li> <li>・判断基準 なし</li> <li>・実績把握 なし</li> <li>・対象品目 紙類、外注印刷物、紙製事務用品、文具類、ファクシミリ、プリンタ、コピー機、作業服</li> </ul>	
	外部公表	特になし	
	取引先等への啓発等	事務用品等の購入時に、グリーン購入法適合品、エコマークの表示を判断基準としている事を伝えている。	
	従業員への研修・啓発等	<p>グリーン購入推進手順書があり、各部ごとに誰でも見られるように保管している。また新入社員教育で新入社員へグリーン購入推進手順書の説明を行っている。ISO14001 認証取得時には全社員を対象としてグリーン購入に関する説明を行った。毎年 1 回環境一般教育を行っており、ISO や環境に関して変更内容を説明している。</p> <p>ISO14001 ニュースを毎月発行しており、給料袋に入れて全社員に配布している。ニュースの内容は主に環境に関する情報で、例えばビジネスメッセで得た情報などを掲載している。</p>	
	効果と負担 今後の展望	グリーン購入情報を提供してくれる販売業者のリスト・環境配慮型商品のみを掲載したカタログがあれば、グリーン購入に取り組みやすくなる。	
滋賀GPNについて	ビジネスメッセで出展していたため、滋賀 GPN の名前を知っていた。		

その他

ISO14001 ニュースに他社の環境の取組について資料があれば掲載しているが、情報に限界があるので他にも事例を知りたい。



外観



ISO14001 ニュース  
(毎月発行)



自社製品  
(環境配慮型商品)



6	<b>居川電機商会</b>				
所在地	滋賀県彦根市小野町 56	従業員数	3 人		
業 種	電気	取材日	2011 年 9 月 16 日		
対応者	代表 居川佳弘様				
事業内容	電化製品の販売、電気・水道工事、リフォーム工事。				
環境の取組 全般について	<p>工事で使う電線はエコ電線を使用している。          発泡スチロール・PP バンド・ペットボトルのフタ等、不要になったものは資源としてリサイクルにまわす事を徹底している。業務で出た廃材（テレビや冷蔵庫等）や段ボール類のリサイクル処理も徹底している。ダンボール類は、リサイクルに出す前に工事の際の養生材として再利用する事も心がけている。また、地域の学校や障害者施設の作品作りの材料として、ダンボールやアルミ缶のタップ等を提供し、役立てていただいている。</p> <p>店舗裏自宅の屋根に太陽光発電（5.5kwh）を設置（県内松下グループで最初の設置）し、節電目標値を決めて、毎日の発電量・使用量をチェックしている。          この取組により、毎月の電気代が約 4,000 円減った。</p> <p>広告紙の裏面を活用するなど、紙の再利用に努めている。</p>				
グリーン購入の取組について	取組方法	<p>滋賀県の登録制度「GP プラン滋賀」STEP2 に登録。          判断基準は、エコマークやグリーン購入法適合の表示が有る事としている。作業服は夏用・冬用ともリサイクル素材のものを使用している。コピー用紙等紙類は古紙配合率の高いものを選んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 なし</li> <li>・取組の範囲 全社的</li> <li>・判断基準 あり</li> <li>・実績把握 あり</li> <li>・地産地消の推進 工事で使う木材は滋賀県産を優先的に利用している。</li> <li>・対象品目 紙類、トイレットペーパー、ティッシュペーパー、洗濯機、作業服、壁材</li> </ul>			
外部公表	主として工事関係者等に対して、口頭で行っている。				
取引先等への啓発等	<p>工事に関わる大工や取引会社に、環境配慮型部材を使用するよう口頭にて説明している。現場に出向き、環境配慮型部材の使用状況の確認にも努めている。          環境配慮部材の新たな情報を得たときは、必ず取引先へ使用を薦めている。          メーカー（パナソニック）から提供されたマイバッグ・保冷バッグを啓発目的でお客様へ配布した。</p> <p>コピー用紙はメーカーから支給されるため、リサイクルペーパーの支給を依頼している。</p>				
従業員への研修・啓発等	家族で経営しているため、日常の会話の中に環境に関する事が含まれている。 事務用品等の購入には通信販売を利用しておらず、購入時の伝票に環境配慮型商品についてはエコの印がついているので、再確認するようにしている。				
効果と負担 今後の展望	<p>他社の環境の取組について知りたい。工事で使う部材を県内の業者から仕入れたいので、企業の詳細な取組情報が欲しい。</p> <p>大工が使用する部材は、環境配慮された物は価格が高い傾向にあるので、安くなると良いと思う。また、工事関係の備品はリサイクル製品自体が少ない。あっても流通量が少なく、使いにくいのが課題。</p> <p>取引先やお客様に、たとえば裏紙使用など、環境の取組を進める事について理解してもらいたい。</p>				

滋賀GPNについて	GP プラン滋賀の STEP2 に加入している事で、県の入札に参加でき「エコ電線」について知る事ができた。
その他	エコキュートの取扱店は県内 600 社あるが、昨年販売台数第 2 位を獲得している。震災時に利用できるコンパクトソーラーライトを販売している。



外観



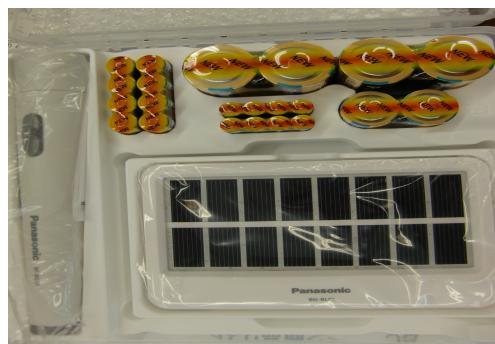
ヒアリング風景



代表者自宅屋根の太陽光発電



太陽光発電状況表示液晶



ライト・電池常備キット  
(太陽電池と電池、懐中電灯がセットになっている)



7	<b>株式会社イケダ光音堂</b>		
所在地	滋賀県長浜市八幡中山町 477	従業員数	20 人
業 種	小売業	取材日	2011 年 7 月 29 日
対応者	管理課 課長 吉田茂成様		
事業内容	<p>楽器小売、音楽教室・英語教室の運営、託児所の運営を主な業務としていて、全般的に子供に関係するものが多い。教室は長浜・米原で 10 か所。イベント関係の子会社は具体的には音楽関係、納涼祭等の企画・運営・音響・照明等を行っている。現在は託児所に力を入れており、土日も受入可能。</p>		
環境の取組 全般について	<p>滋賀県の登録制度「GP プラン滋賀」STEP1 に登録。DM 等の裏紙をメモ用紙として活用し、ごみの分別、人のいない場所の消灯等、できる事から取組を進めている。消し忘れがちなトイレの照明も張り紙をして消灯を促すなど工夫している。両面コピーを徹底するために手作りの POP を作ってコピー機に表示している。</p> <p>製造工場ではないため、環境に配慮した製品開発ができるわけではないので、イケダ光音堂でできる環境の取組は何だろうと考えていた。そのときに、ちょうど音楽教室に通ってきていた澤俊太郎君（当時小学 5 年生）がヤマハで主催しているコンクール、ジュニアオリジナルコンサート出場のために「エコの人生～未来の地球のために～」を作曲していた。そこで（滋賀 GPN）総会の際に事務局にアピールしたところ、滋賀 GPN の CM への起用が決まった。彼が自主的に「エコ」をテーマに作曲した事から、子供たちが「地球を守りたい」という意識を持っているのだという事を、メディアを通して伝える事にもなり良かったと思う。</p>		
グリーン購入の取組について	取組方法	<p>GP プラン滋賀の様式に基づいてグリーン購入基本方針を作成し、オフィス用品のグリーン購入に取り組んでいる。文房具や備品はカタログを使って、グリーン購入法適合品やエコマーク表示商品を優先的に購入している。現在は、「エコマーク商品カタログ」を参考に購入する事が多い。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 あり</li> <li>・取組の範囲 全社的</li> <li>・判断基準 あり</li> <li>・実績把握 あり</li> <li>・対象品目 紙類、紙製事務用品、文具類</li> </ul>	
	外部公表	特に公表する機会を設けているわけではないが、GP プラン滋賀に登録している事もあり、聞かれた場合はグリーン購入の取組を説明できるようにしてある。	
	取引先等 への啓発等	備品の購入の際は環境配慮型商品を取り扱っている業者を優先的に選んでいる。	
	従業員への 研修・啓発等	月に一度、社員全員が集まる機会があるので、その際に環境に関する情報を出すようにしている。また、購入の窓口が一つなので、担当者に環境ラベルの表示があるものを選ぶように説明している。また、従業員に対して、普段の生活の中でもマイバッグ持参を心がけるよう話をしている。最近は一般的にマイバッグ持参が浸透してきたと感じている。	
	効果と負担 今後の展望	環境配慮型商品のみを掲載したカタログがさらに充実すると良いと考えている。また、グリーン購入をした事による効果が見えるようになると、より取組が進むと考えている。	

滋賀GPNについて	<p>滋賀 GPN 会員（2008 年より） 滋賀 GPN に入会した事で、環境に対する意識が変わったと思う。不要な照明の消灯に努めるなど、環境への影響について考えるようになった。</p>
-----------	--



入口



ヒアリング風景



## エコマーク商品掲載カタログ



節電啓発ポスター  
(各トイレ設置)



コピー用紙削減 POP



8	伊藤工機株式会社 滋賀工場		
所在地	滋賀県米原市村木 930	従業員数	59 人
業 種	製造（機械）	取材日	2011 年 10 月 25 日
対応者	管理課リーダー 重盛育美様		
事業内容	<p>本社は東大阪にあり、滋賀工場は昭和 48 年に設立された。</p> <p>ガスに関する製品、都市ガスや LP ガスを家庭等に送るための「自動切替調整器」また、水の圧力を調整する「温水便座用水用減圧複合弁」の製造・販売を行っている。</p>		
環境の取組 全般について	<p>ISO14001 認証取得。電気・ガス・水道・ガソリン・紙の使用量、一般廃棄物・産業廃棄物の排出量について全社共通の年度計画を立て、記録をつけている。3つの課に、それぞれに環境保全推進者がおり、月 1 回本社で行われる（環境に関する）会議に交代で参加し、得た情報を各部署に持ち帰って伝えている。</p> <p>年度計画の中にコミュニケーションという項目があり、本社と滋賀工場とで互いの環境取組に関する情報を交換している。本社の取組で可能なものは滋賀工場でも取り入れるようにしている。たとえば、会議時のプロジェクトを使用する事で配布資料を無くし、紙の削減をする事等を取り入れた。</p> <p>また、滋賀工場独自にも環境取組目標を掲げており、今年度は電気・ガス・水道・ガソリン・灯油の削減対策を行っている。今年は生産量が増えたにもかかわらず、CO<sub>2</sub> の削減目標を 112% 達成している。</p> <p>不要な照明の消灯に努めている。</p>		
グリーン購入の取組について	取組方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 ISO 等のグリーン購入手順書</li> <li>・取組の範囲 全社的</li> <li>・判断基準 なし</li> <li>・実績把握 なし</li> <li>・対象品目 紙類、紙製事務用品、文具類</li> </ul>	
	外部公表	HP に環境方針を掲載して公表している。	
	取引先等への啓発等	協力工場要請管理要領を社内で作成しており、環境配慮型製品の使用への協力文書を協力会社へ 3 年に 1 度定期的に送付している。	
	従業員への研修・啓発等	<p>全社員の名札の裏に環境方針を携帯させ、環境に関する研修時に確認を行っている。車通勤者が多いため、エコドライブの研修会を行い、空気圧の点検等も促している。</p> <p>また、工場内に環境に関するポスター等を掲示している。</p>	
	効果と負担 今後の展望	長続きできる環境配慮の取組について情報を得たい。環境配慮した成果が目に見える仕組みになると良い。成果が見える事で取り組み方も解り易くなる。	
滋賀 GPN について	滋賀 GPN で 9 月に開催されたセミナーに参加し、グリーン購入について学べてよかったです。また、グリーン購入の基礎講座の様な話を聞きたい。地産地消もグリーン購入の 1 つの分野として当てはまる事を初めて知った。		
その他	2011 年 3 月発生の東日本大震災により都市ガスの使用ができなくなった家庭等に、都市ガスからプロパンガスの供給に切替できる装置をつくり、設置に努めた。		



外観



ヒアリング風景



啓発ポスター



補充インク



節電風景



9	株式会社イワタ 滋賀工場		
所在地	滋賀県愛知郡愛荘町島川 1045	従業員数	30 人
業 種	製造（繊維製品）	取材日	2011 年 9 月 30 日
対応者	事業部 部長 米沢拓也様		
事業内容	<p>寝具の製造・卸・小売。創業は天保元年（1830 年）で昨年、創業 180 年を迎えた。従来からの「自然と純」に加えて、昨年より「サステイナブル」な製品提供を会社コンセプトに加えた。主に天然素材を使用した寝具の販売を通じて、良質の睡眠環境を提供する事により人々の健康増進を目指している。</p>		
環境の取組 全般について	<p>ISO14001 認証取得はしていないが、取引上 ISO14001 の要求事項に準じた取組が求められるためほぼ同等の取組をしている。</p> <p>無駄なものを買わない、ロス率を減らす、人体や環境に有害な物質を使わない等、環境に配慮した調達・製造に取り組む。繊維製品の人体に与える安全性を示す事を目的として作られた規格「エコテックス・スタンダード 100」の「クラス 2」を認証取得しており、縫製に使用する糸や付属品等全ての部材は認証を受けた製品を使用している。</p> <p>森林保全団体である一般社団法人モア・トゥリーズとの提携を通じて、カーボンオフセットに取り組んでいる。</p> <p>何年か使用した布団を打ち直して新品同様にリニューアルするサービスも行っている。</p> <p>不要となった段ボール箱は在庫ストック用などとして活用し、廃棄物量の削減に努めている。</p> <p>グリーン購入という言葉は使っていないが、エコテックスの認証取得やモア・トゥリーズに参加している事をパンフレット等で公表している。</p>		
グリーン購入の取組について	取組方法	<p>基本的に事務用品は環境配慮型商品を選ぶようにしている。製品部材等を購入する際は、エコテックス認証取得を判断基準としている。</p> <p>また、環境方針を策定しており、その中で資源の有効利用や環境に配慮した商品開発を行う旨を記載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 環境方針</li> <li>・取組の範囲 全社的</li> <li>・判断基準 あり</li> <li>・地産地消の推進 資材は基本的に国産を選ぶ</li> <li>・実績把握 あり</li> <li>・対象品目 紙類、外注印刷物、紙製事務用品、文具類、ファクシミリ、プリンタ、パソコン、テレビ、作業服、資材（寝具材料）</li> </ul>	
	外部公表	特になし	
	取引先等への啓発等	<p>取引先にはエコテックスを取得していないければ取得するよう必要と要請。工場に出入りする運送業者にはアイドリングストップの要請を文書にて行っている。</p> <p>業界として ISO14001 を認証取得しているところが少ないので、エコテックス取得の有無を判断基準とする事が多い。</p>	
	従業員への研修・啓発等	<p>従業員研修として、取引先が開催する研修会に購買の実務を行う従業員を参加させている。そのほか年一回の環境教育を行っている。</p> <p>従業員に対して、個人の生活の中でも環境の取組を進めるように話をしている。担当者の印象としては、従業員はこうした自主的な取組を既に行っていると考えられるという。</p>	
	効果と負担 今後の展望	製品に関わるもの（生地・羽毛・副資材）で環境配慮型商品を取り扱っている業者のリストがあればグリーン購入が進むと考えている。	

滋賀GPNについて

滋賀 GPN については取組アンケートが来た際に HP を見て詳しく調べた。



外観



コーポレートカラー「もみ色」を基調とした  
会社・製品パンフレット



10	株式会社 SAK 滋賀工場		
所在地	滋賀県高島市今津町上弘部 438 番地	従業員数	20 人
業種	製造（電気機器）	取材日	2011年8月30日(FAX)
対応者	有波勉様		
事業内容	家庭用電気製品・産業用機械向内部配線加工（ハーネス）の図面を得意先より受領し、材料調達（自達・支給）後、社内設備により加工、その後出荷検査し得意様へ納入を行っている。		
環境の取組 全般について	照明器具について必要箇所のみ点灯させるキャノピースイッチを利用。エアコンの設定温度厳守（夏季28℃、冬季20℃）、作業スペース毎に温度計の設置。コピー用紙の両面使用、資料配布部数及び配布回数の削減。一部の業務で使用していたダンボール箱をやめ、通い箱を導入している。		
グリーン購入の取組について	取組方法	<p>2年に1回の制服切替えに際し、グリーン購入法適合・エコマーク表示のあるものを選定し購入している。制服は使用済み纖維再利用品・ペットボトル再生纖維のものを購入している。トイレットペーパーについてはリサイクル品を購入している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 なし</li> <li>・取組の範囲 一部の部署・営業所</li> <li>・判断基準 なし</li> <li>・実績把握 なし</li> <li>・対象品目 紙類、トイレットペーパー、外注印刷物、紙製事務用品、作業服、事務服、制服</li> </ul>	
	外部公表	特になし	
	取引先等への啓発等	主に取引先に対して、グリーン購入の選定・指示を行った事がある。また、取引先の選定として、同業他社から情報を得て専門業者へ依頼している。（紙製品に関しては黒田紙業様へ依頼している）	
	従業員への研修・啓発等	制服の切替更新時に、何故グリーン購入が必要かを考えた上でグリーン購入法適合品の制服を選んだ。また、「グリーン購入とは」と題して簡単な説明を朝礼時に行った。	
	効果と負担 今後の展望	グリーン購入情報や環境配慮型商品の予備知識資料として販売業者リストや環境配慮型商品のカタログが必要と考えている。	

11	枝電機株式会社		
所在地	滋賀県高島市安曇川町川島 255-2	従業員数	9人
業種	電気機器	取材日	2011年9月13日
対応者	取締役 枝幸雄様		
事業内容	<p>非常電源装置の受け入れ検査。(中国や台湾等の生産国にて検査済だが、輸入後に国内で再度動作確認を行う) 仕様変更がある場合に、手を加えて出荷する事もある。</p> <p>交換用のバッテリーパックの組立。</p>		
環境の取組 全般について	<p>KES を 2001 年に認証取得 (きっかけは取引先からの要請)。</p> <p>社用車のガソリン・軽油の削減、ごみの分別による廃棄物の削減、節電に取り組んでいる。月単位で、軽油・電気・廃棄物の量、清掃活動の回数を記録。</p> <p>段ボールや包装用の箱は分別して業者回収に出している。</p> <p>サマータイム制を導入し、早朝 6 時から業務開始、早い時間に仕事を終える事で電力の削減を図っている。また、道路が混む時間をさけて車を使う事でガソリン・軽油の削減に取り組んでいる。</p>		
グリーン購入の取組について	取組方法	<p>海外との取引となるため、全ての製品・備品（文房具も含め）に対して RoHS 指令対応を徹底している。対応品以外のものは誤って使用しないよう全て廃棄した。</p> <p>備品も間違いなく RoHS 指令対応品を使用している。その旨の説明資料を取引先に提示し、徹底して取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 KES 文書（グリーン購入のみで文書化したものはない）</li> <li>・取組の範囲 全社的</li> <li>・判断基準 あり</li> <li>・地産地消の推進 なし</li> <li>・実績把握 なし</li> <li>・対象品目 紙類、紙製事務用品、文具類</li> </ul>	
	外部公表	特になし	
	取引先等への啓発等	<p>取引先に対しては RoHS 指令対応を要請し、ボンドや印刷なども含めて徹底。</p> <p>RoHS 指令対応可能な業者を選定。対応しているが、RoHS 指令に適合した商品を扱っていると記載された書類の提出がなかったところは別の取扱業者に変更した。納品先の環境対応に関する要求が厳しいのでそれに倣って対応している。</p>	
	従業員への研修・啓発等	<p>年に何度か環境についての会議を行うので、その際に従業員研修を行っている。その方法は社員が交代で気になる記事を見つけ、報告する形式をとっている。</p> <p>また、従業員の勤務開始時間に合わせて 8:30 と 9:00 に朝礼を行っており、月一回環境に関するテーマを取り上げる。その他、環境関連で気付いた事があれば、その都度集まって話し合う。</p> <p>取引先を講師に迎えて環境の勉強会をした際に、グリーン購入に関する話も出了。会社内だけでなく、個人の生活でグリーン購入に取り組む意義についても触れた。</p>	
	効果と負担 今後の展望	普通の文房具ではない、特殊紙等を使用する場合に RoHS 指令対応をはじめ、環境配慮型商品かどうかがわかりやすいカタログがあると良い。現在は地元の文房具屋さんに調べてもらっている。	
滋賀GPNについて		KES を取得しているので、HP 等で見て名前を知っていた。	

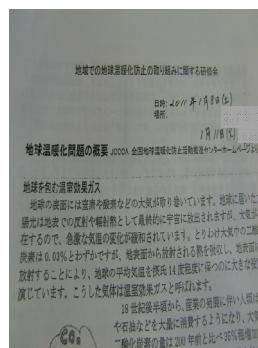
<b>その他</b>	<p>会社として地産地消の原料を買う事は難しい。しかし、一個人として日常生活の中で食べ物はなるべく国産を選び、米は必ず滋賀県産を買うように心がけている。</p> <p>外部で行う研修については、環境以外に人権の催し等も含め、なるべく参加したいと思っている。ただ、平日はなかなか参加できず、予定していても仕事の都合で直前にキャンセルする事になったりで、なかなか参加できないのが現状である。</p>
------------	---



外観



KES 登録証



環境教育テキスト



12	NTT西日本 滋賀支店			
所在地	滋賀県大津市浜大津 1-1-26	従業員数	一	
業種	電気通信事業	取材日	2011年7月22日	
対応者	西日本電信電話株式会社 滋賀支店 企画総務部 総務担当 山崎公嗣様 西日本電信電話株式会社 滋賀支店 法人営業部 担当課長 岡本昇様			
事業内容	<p>電気通信業務。</p> <p>具体的には電気通信業務として、加入電話、公衆電話等の電話音声サービスや、ADSL や光ブロードバンドサービス等のデータ転送サービスをはじめ、専用線サービス、電報サービス等。</p>			
環境の取組全般について	<p>ISO14001 を認証取得している。</p> <p>NTT 西日本における普段の業務の中では、紙の使用量削減・廃棄物の削減およびリサイクルの推進・省エネルギーを推進しており、今年については東日本大震災等の影響もあり、オフィスでの節電に対して特に意識して取り組んでいる。このほか滋賀支店では「環境ボランティア」の取組として清掃活動を行っている。大津市が行っている「大津市民ヨシ刈り」、滋賀県が行っている「県下一斎清掃（びわ湖の日、環境美化の日等）」、「淡海エコフォスター活動」「びわこクリーンキャンペーン」に参加。「淡海エコフォスター活動」は毎月一回の清掃となっているところを、滋賀支店では部署ごとに交代で毎週水曜日に清掃活動を行っている。この清掃活動には滋賀支店長をはじめ経営層が率先して参加し、全社員で取り組んでいる。この取組によって街がきれいになるだけでなく、自分たちもごみを出さないようにしようという意識につながる考えている。</p>			
グリーン購入の取組について	取組方法	<p>環境方針の中でグリーン購入について記載している。取組の文書、取組の範囲、判断基準については NTT 西日本 HP 「地球環境保護活動」に掲載。また、地産地消の取組に関しての実績把握の内容は滋賀県 HP 「おいしがうれしが」 キャンペーン推進店（飲食店）に掲載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 あり</li> <li>・取組の範囲 全社的</li> <li>・判断基準 あり</li> <li>・地産地消の推進 滋賀支店ビルの社員食堂（合資会社宝山亭）が自主的に地産地消の取組を始め、「おいしがうれしがキャンペーン」推進店に登録している。米は毎日近江米で、野菜は毎日滋賀県産のものを1品以上使っている。この夏は滋賀県産のトマトやきゅうりが並び、完熟トマトが絶品だったという。</li> <li>・実績把握 あり</li> <li>・対象品目 紙類、トイレットペーパー、文具類、紙製事務用品、パソコン</li> </ul>		
	外部公表	NTT 西日本としては HP で「NTT 西日本グループ環境報告書」を公表しており、滋賀支店としては大津市の環境保全協定にてグリーン購入に取り組んでいる事を公表している。		
	従業員への研修・啓発等	<p>ISO14001 の取組で全社員研修を行い、その中でグリーン購入について説明しており、現在では環境に関する研修の WEB 化を図り、全社員が必ず研修できる環境を構築している。</p> <p>また、WEB 研修に切り替えた事により、紙使用量の削減を図る事ができた。</p>		

	<b>効果と負担 今後の展望</b>	物品購入方法は NTT グループでシステム化されており、事務用品は主としてグリーン購入法適合品がシステムに登録されている。ただし、環境配慮型商品はコスト高な場合もあるので、たとえば OA 用紙であれば古紙配合率の高いもの・低いものによって利用用途を変えている。今後もさらにグリーン購入の対象分野を広げていきたいと考えている。
	<b>滋賀GPNについて</b>	滋賀 GPN 会員（1999 年より・設立発起団体）滋賀 GPN 会員企業の節電対策の紹介やフリーディスカッションによる意見交換会等、交流の場を提供していただきたいと思っている。
	<b>その他</b>	大津祭やびわ湖大津夏まつり等に参加するなど、一人ひとりが何か 1 つボランティアに携わる仕組みを構築しており、環境保全活動に限らず、地域社会に貢献する活動に社員全員で取り組んでいる。



外観



ヒアリング風景



淡海エコフォスター活動



1 3	近江鉄道株式会社		
所在地	滋賀県彦根市古沢町 181	従業員数	562 人
業 種	輸送・倉庫	取材日	2011 年 7 月 19 日
対応者	管理部 総務課 課長 梅原猛様		
事業内容	湖国滋賀を中心に鉄道・バス・タクシーをはじめ観光、不動産など各種事業を行っている。		
環境の取組 全般について	<p>平成 11 年に県内で初めて「アイドリングストップ」活動を開始。停車中にエンジンをふかしてクーラーを効かせている事がサービスと考えるのが当たり前だった時代にタクシーやバスのドライバーの理解を得るために、環境に関する研修を行っていた。開始当初はお客様からの苦情もあったようだが、今では当たり前になり、お客様の意識もだいぶ変わってきたという。燃費向上に関する研修を地道に行ってきましたでドライバーの意識も徐々に変わってきた。また、実際に、使用する燃料が減った。</p> <p>自転車と共に近江鉄道に乗車できる「サイクルトレイン」を運行（平日 9 時～16 時。土日祝日は終日利用可能）しており、温室効果ガス削減に寄与する自転車利用促進に一役買っている。</p>		
グリーン購入の取組について	取組方法	<p>運輸事業者の認証制度「グリーン経営認証」を取得。2 年毎に更新している。判断基準は「グリーン経営認証」により定めたガイドラインのとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 グリーン経営認証</li> <li>・取組の範囲 全社的</li> <li>・判断基準 あり</li> <li>・実績把握 あり</li> <li>・対象品目 紙類、紙製事務用品、文具類</li> </ul>	
	外部公表	HP にて公表している。	
	取引先等への啓発等	マイカー・バイク通勤からバス・鉄道による通勤に切り替える事で CO <sub>2</sub> 削減につなげていただこうと、毎週金曜日に限り 100 円（ワンコイン）で乗車できるワンコインエコパスを実施している。	
	従業員への研修・啓発等	ドライバーに対してエコドライブの取組や環境についての研修を年に 1～2 回行っている。何年か前の全国 GPN の一斉行動キャンペーンに参加し、サービスエリアにてレジ袋削減のポスターをレジ付近に貼り付け啓発を行った。	
	効果と負担 今後の展望	<p>今年から「アフター 6（シックス）研修」と称して、労働時間内ではなく 18 時以降に自由参加で勉強できる場を提供している。その内容は従業員にテーマを募集して行っており、第 1 回目は「健康」について取り上げた。全従業員にグリーン購入の基礎を理解させたいので、「グリーン購入」もテーマにしたいと考えている。その際には、滋賀 GPN の辻事務局次長を講師に呼びたいと考えている。</p> <p>他企業の環境への取組に関する情報を知りたいので、メール等で配信してほしい。</p>	
滋賀 GPN について	<p>滋賀 GPN 会員（2003 年より）</p> <p>メルマガを部署内で回覧しており、業種に関わらず色々な方が書かれるコラムを楽しみにされている。メルマガの回数を増やすことで機会が増えると良いと考えている。また、メルマガ等で自社の取組等が紹介されるとやりがいにつながるという事であった。</p>		



外観



ヒアリング風景



ワンコインエコバスチケット



14	近江ニスコ工業株式会社		
所在地	滋賀県野洲市六条 1018 番地 1	従業員数	113 人
業種	製造(金属製品)	取材日	2011年9月15日
対応者	総務部 次長兼経理課 課長 東善彦様 総務部 総務課 顧問 吉川佐都美様		
事業内容	自動車、家電用の締結部品について設計から生産まで行っている。商品構成としては、組込用ワッシャー、ケプス(座金組込ナット)、スペック(波形ばね座金)、特殊ねじ、歯付座金、金型・治工具などがある。		
環境の取組全般について	エネルギーの削減・5Rの推進活動を行っている。 部門ごとに業務改善に取り組み、効率を上げる事で節電等にもつなげている。 クロムめっきをやめて環境負荷の少ないものを使用している。超硬工具は消耗が少なく長持ちするので環境に良いと考えられるが、逆に生産が難しくなるため、技術を上げる事で環境負荷低減に努めていこうと考えている。 社有車を燃費性能の良いハイブリッドカーに買い替え、効果算出も行っている。 また、エコドライブにも取り組んでいる。 社員の提案により、ゴーヤやアサガオを使用したグリーンカーテンの取組を実施している。		
グリーン購入の取組について	取組方法	事務用品はほぼグリーン購入法適合品を購入している。 購入する際に環境配慮型商品が見つからなかった場合は、できるだけ長く使えるものやリサイクル・分別できる商品を選ぶようにしている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 なし</li> <li>・取組の範囲 なし</li> <li>・判断基準 なし</li> <li>・地産地消の推進 材料の品質を重視し、国産を使用している。</li> <li>・実績把握 なし</li> <li>・対象品目 紙類、紙製事務用品、文具類、自動車</li> </ul>	
	外部公表	特になし	
	取引先等への啓発等	RoHS 対応である部材を取り扱うように顧客から依頼されている事を、部材の取引業者へ伝えている。 年に1回、取引先に対して製品等の説明会を行う際に環境配慮型商品の取り扱いに関して伝えるようにしている。 顧客から部材のメーカー指定や、部材取引先の環境配慮状況について調査を依頼される事もあり、速やかな対応と調査結果の報告に努めている。 部材の仕入れ取引を初めて行う場合には、その業者のISO14001認証取得等を確認し、取引選定の決め手の一つとしている。	
	従業員への研修・啓発等	地元工業会等の研修、野洲市が実施するエコドライブの講習等を営業担当者の代表が受講し、受講後に他の営業社員や社有車を使用する従業員に対して伝達研修を実施している。 5年前から地域貢献活動として地元の環境活動に参加する取組をしており、部署ごとに年間目標を掲げ、毎月集計している。目標が未達成の部署は、自主活動で周辺地域を清掃する事で、全部署が取組目標を達成するようにしている。 その一環としてびわ湖一斎清掃にも参加している。	
効果と負担 今後の展望	価格が高いと、環境に良いと認識していても購入しにくいので、価格が安くなると良いと考える。		

**滋賀GPNについて**

以前は、環境配慮型商品の数が少なかったため、なかなか見つけられなかつた。インターネットで商品を探していた際に、滋賀 GPN の環境配慮型商品リストを見つけ、それで知っていた。



外観



ヒアリング風景



15	株式会社近江ミネラルウォーターサービス		
所在地	滋賀県大津市南郷3丁目1-12	従業員数	20人
業種	製造(食料品)	取材日	2011年9月8日
対応者	取締役 浅野裕史様		
事業内容	<p>ミネラルウォーターの製造、販売。</p> <p>滋賀県石山近郊、音羽山系岩間山の地中600mの所より、花崗岩層の岩の間にくぐったマイナスイオンたっぷりの天然鉱泉水を汲み上げている。汲み上げた水は工場でフィルター処理除菌(非加熱)し、自然に近い状態でペットボトルやウォーターディスペンサーに充填、「いわまの甜水」として販売している。</p>		
環境の取組全般について	<p>28年間販売に使用している10ℓタンクボトルを洗浄・殺菌処理後再利用している(自社のミネラルウォーターの宅配サービスの広告にも記載)。ペットボトルの発送時に使用する外被の梱包材は、ペットボトル購入時のダンボールを適度に切断して利用している。2ℓペットボトルは使用後に回収業者が引き取り、粉碎後、繊維製品にリサイクルされている。</p> <p>配送車の洗車に使う水、雑巾を洗う水は、近くの川の水を利用している。</p> <p>節電、節水、裏紙使用は日常的に行っている。また、社内の清掃では掃除機を使用せず箒で掃く、トイレの温熱便座の電源を切る等、「もったいない精神を大切にして贅沢をしない」地道な活動を徹底して行っている。</p>		
グリーン購入の取組について	取組方法	<p>文房具はエコマークがついている物を積極的に購入している。その他の対象品目についても、環境ラベルの表示があるものを購入している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 なし</li> <li>・取組の範囲 全社的</li> <li>・判断基準 なし</li> <li>・地産地消の推進 食料品は県産を積極的に購入するようにし、他府県へ行く際は滋賀県産の物をお土産にしている。</li> <li>・実績把握 なし</li> <li>・対象品目 紙類、トイレットペーパー、ティッシュペーパー、紙製事務用品、文具類</li> </ul>	
	外部公表	特になし	
	取引先等への啓発等	<p>ペットボトル配送時に使用する箱の再利用(2~3回)について説明し、理解を示して頂けるお客様には協力してもらっている。ペットボトルのキャップは島根県の環境活動をしている団体に送り、公園のベンチ等に再生している。</p> <p>商品の案内チラシに環境保護の取組について掲載している。</p> <p>環境配慮の取組を知ってもらうために、得意先にエコバックを配布してPRした事がある。</p>	
	従業員への研修・啓発等	社内に節電等の情報を掲示し、朝礼等で整理整頓や無駄を省く事が環境配慮につながる事等を伝えている。	
	効果と負担 今後の展望	様々な企業の環境活動を知りたい。個人の生活の中でも、どのような環境保全の取組ができるのか、簡単に誰でも取り組める事は何があるのか等の事例を聞きたい。	
滋賀GPNについて		<p>滋賀GPN会員(2011年より)</p> <p>以前お客様から滋賀GPNの名前は聞いていたが、活動内容の詳細は知らなかった。活動内容を知りたいと思い、今年から入会した。</p>	
その他		環境配慮型商品全てに環境ラベルがついているとわかりやすい。より良い環境づくりを進めてほしい。	



外観



梱包材に使用済みダンボールを利用



使用済みタンクボトルの再利用

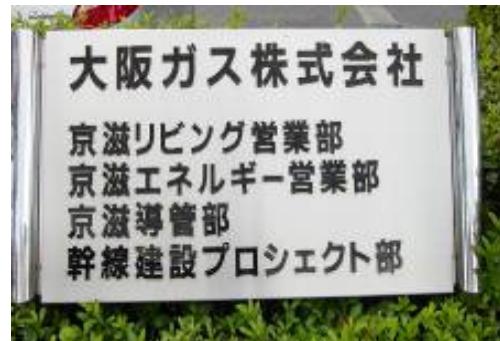


16	<b>大阪ガス株式会社 滋賀事業所</b>		
所在地	滋賀県草津市西大路 5-35	従業員数	約 100 人
業 種	電気・ガス	取材日	2011 年 8 月 24 日
対応者	京滋リビング営業部滋賀コミュニティ室室長 吉田聰様 京滋リビング営業部滋賀コミュニティ室 柳瀬典枝様		
事業内容	<p>都市ガスの製造、供給及び販売（天然ガスを輸入し、工場や一般家庭に送っている）。</p> <p>電力の発電及び販売（大阪府堺市・高石市に 110 万 kw の発電所がある）。</p> <p>ガス機器の販売。ガス工事。</p> <p>また、会社設立後間もなくから料理教室を開催している。設立当初は都市ガスが一般的でなかったため、都市ガスの利便性を PR して一般家庭の台所に都市ガスを普及させる目的で実施し、現在も継続している。</p> <p>事業としては、ガス灯（街灯）から始まり、台所、浴室、暖房、さらに空調（ガス冷房）、工場のエネルギーへと範囲を広めてきた。</p>		
環境の取組全般について	<p>大阪ガスグループの環境行動基準に基づいて取り組んでいる。ISO14001 認証取得。特にエネルギーを必要な場所で発電する「分散型」のエネルギー供給を推進している。例えばマイホーム発電をして、できたお湯をお風呂、暖房、台所用に使う事で、エネルギー効率を 80～85% にする事ができる。</p> <p>また、天然ガスは石油・石炭に比べて CO<sub>2</sub> の排出量が少ない燃料である事から天然ガスの利用をすすめている。今後、期待される発電システムとして燃料電池（エネファーム）の販売にも力を入れている。</p>		
グリーン購入の取組について	取組方法	<p>設備等、大きなものは資材部で購入し、細かい物品等は各営業所で購入する。</p> <p>グリーン購入ガイドライン（グリーン購入の判断基準）を策定しており、それについて資材部から各部署へ回覧で知らせている。購買に関わる社員には研修を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 グリーン購入に関する方針</li> <li>・取組の範囲 全社的</li> <li>・判断基準 あり</li> <li>・実績把握 あり</li> <li>・対象品目 紙類、トイレットペーパー、ティッシュペーパー、外注印刷物、紙製事務用品、文具類、オフィス家具、ファクシミリ、プリンタ、コピー機、パソコン、冷蔵庫、テレビ、洗濯機、エアコン、自動車、照明、作業服、資材、事務服、制服</li> </ul>	
	外部公表	HP、大阪ガスグループ CSR レポートにて公表している。	
	取引先等への啓発等	物品の発注仕様書内にグリーン購買の指針を掲載して、大阪ガスの指針にのっとった商品を提案していただけるよう依頼している。頻繁に取引のある企業に対しては毎年グリーン購入についてのヒアリングを行い、同時に大阪ガスのグリーン購入の取組について説明している。	
	従業員への研修・啓発等	購買担当者が異動となった際には、新担当者に向けて、価格だけで決めるのではなく環境負荷の少ない商品を選ぶよう研修を行っている。研修会の中で、普段の生活の中でも環境配慮型商品を購入するよう呼びかけている。	
また、社内にグリーン購入やマイバッグ持参のポスターを掲示している。			

	<b>効果と負担 今後の展望</b>	滋賀 GPN の交流会等で他社の環境に関する考え方、取組方法や工夫した点等、具体的な情報を聞きたい。そうした点で、今年の滋賀 GPN 総会の会員交流会の場は良かったと思う。会員が集う場で、会員同士が話をしやすいきっかけをつくる役割を、事務局が担う事が好ましいと感じている。今後もあのような場の提供を事務局にお願いしたい。 また、環境配慮型商品が今以上に増えると良いと考えている。
	<b>滋賀GPNについて</b>	滋賀 GPN 会員（2000 年より） 会員交流会を行ったときのような、全員が話す事ができるきっかけを滋賀 GPN 事務局側がつくってほしい。
	<b>その他</b>	小学生（5、6 年生）や中学生を対象に、エネルギーを中心とした環境教育の出張授業を行っている。地球にやさしいラーメンづくりセミナー等では、実際にラーメンを調理した結果を発表し、省エネルギーや廃棄物について考えてもらっている。



外観



看板



ヒアリング風景



料理教室



啓発ポスター、旗



明治時代に日本初  
設置されたガスの街灯



17	株式会社大阪電子科学技術研究所		
所在地	滋賀県草津市青地町 344 番地	従業員数	5人
業種	電気機器	取材日	2011年9月12日
対応者	総括 大内康範様		
事業内容	<p>LED 照明の製造・販売。パネル型・蛍光灯型・ダウンライト型 LED の開発・製造・販売を行っている。パネル型の場合、照度が高く点灯時の温度も 40°C 前後に抑えられる等の特徴があり、食品スーパー等で採用されている。</p> <p>液晶による精密測長器の開発・製造・販売。搬送用ロボット位置決め装置・DVD 傷位置認識システム・半導体製造装置等への用途がある。</p>		
環境の取組 全般について	<p>はんだ付けの作業が発生するので部材購入の際には鉛フリーの製品を選んで使用している。</p> <p>部材購入の際には環境配慮型商品がある場合は優先的に購入している。</p> <p>創業時から車通勤を禁止し、電車やバスを利用するエコ通勤を推奨しており、全社員がエコ通勤を実践している。</p> <p>夏場もできるだけ午前中はエアコンを使わずに、風通しを良くして過ごしている。窓にすだれをつける、外側からゴーヤーカーテンを設置して熱を遮る等の工夫をして、可能な限り省エネに取り組んでいる。</p>		
グリーン購入の取組について	取組方法	<p>事務用品・製品の部品とも、意識して環境配慮型商品の購入に努めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の範囲 全社的</li> <li>・判断基準 なし</li> <li>・地産地消の推進 製品の製造自体は韓国で行っているが、使用する部品は業者を指定して全て国産のものを選定</li> <li>・実績把握 なし</li> <li>・対象品目 紙類、トイレットペーパー、ティッシュペーパー、紙製事務用品、文具類、照明（照明は自社の LED 照明を使用）</li> </ul>	
	外部公表	特になし	
	取引先等への啓発等	環境問題に積極的に取り組んでいる業者を優先的に選んで取引をしている。	
	従業員への研修・啓発等	個人への啓発としては、エコ通勤を進めている。今後、他の事もやっていきたいと考えている。	
	効果と負担 今後の展望	<p>環境ラベルの付いている製品や、環境配慮型商品だけが掲載されているカタログがあると選びやすいと考えている。</p> <p>グリーン購入を進めるにあたり何から始めれば良いか、他社の取組事例を知りたい。</p> <p>各製品について（生産時・使用時・廃棄時に排出される）「CO<sub>2</sub>が○kg」という表示があると、環境負荷が分かりやすいし、説得力がある。</p>	
	滋賀GPNについて	前職で環境担当をしていた。その際に滋賀 GPN を知り、名前も取り組んでいた内容も大体知っていた。	



外観



ゴーヤーカーテン



LED 照明



LED 照明使用事例



18	有限会社オービット		
所在地	滋賀県長浜市八幡中山 1085 番地	従業員数	2人
業種	小売業	取材日	2011年9月5日(FAX)
対応者	堀とも江様		
事業内容	パソコン、周辺機器の販売、修理・サポート等を行っている。		
環境の取組 全般について	滋賀県の登録制度「GP プラン滋賀」STEP1 に登録。 節電、裏紙、リサイクルトナー、リサイクルペーパーの使用。 営業に出るときはマイポットを持参しており、社内で使用する洗剤等は詰め替え用を選んで購入している。		
グリーン購入の取組について	取組方法	<p>環境や省エネに関するラベルやマークが記載されている事を選定基準の1つとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 グリーン購入に関する方針</li> <li>・取組の範囲 全社的</li> <li>・判断基準 あり</li> <li>・地産地消の推進 国産のコンピュータ周辺機器、メディア等の消耗品の購入</li> <li>・実績把握 なし</li> <li>・対象品目 紙類、トイレットペーパー、紙製事務用品、文具類、 パソコン、照明</li> </ul>	
	外部公表	滋賀県及びGP プラン滋賀のHPにて、GP プラン滋賀の登録事業者である事が公開されている。	
	取引先等への啓発等	店舗がなく事務所のみで経営している。日常的に営業で外出しているため事務所での啓発活動は行えない状況だが、今後は何か事務所での啓発活動に取り組みたいと考えている。滋賀 GPN 事務局から、啓発用ののぼり旗やはり紙等の見本を見せてもらいたい。	
	従業員への研修・啓発等	滋賀 GPN が実施するグリーン購入の研修に年に1度参加している。年度ごとに提出する GP プラン滋賀の報告書作成時に、従業員が取組内容を確認している。	
	効果と負担 今後の展望	購入時には環境ラベル表示がある事を基準として選んでいるが、滋賀県産の商品で購入できそうなものがあれば紹介してほしい。	

19	株式会社北中工務店		
所在地	滋賀県栗東市靈仙寺四丁目 6 番 13 号	従業員数	9 人
業種	建設	取材日	2011 年 8 月 29 日
対応者	代表取締役社長 北中孝徳様		
事業内容	建築一式工事、土木一式工事。コンサルティングから設計・施工・アフターサービスまで一貫して行う。法人関係からの仕事が多く、県や市からの仕事も行う。栗東芸術文化会館さきらを始め、児童館、図書館等の施工実績がある。また、改修工事や、アスベスト除去等の工事も行っている。		
環境の取組 全般について	EA21 の認証取得の準備を昨年から始めており、まもなく認証取得予定。栗東市商工会で行っている「栗東きょうどう夢の森プロジェクト」に参加している。これは、栗東市商工会と金勝生産森林組合の連携で行っているもので、栗東市商工会からの協賛金を間伐・枝打ち・新植等に当てているプロジェクトである。1 万円で 107.14kg の CO <sub>2</sub> を吸収する事になり、参加企業にはその旨の証明書が発行される。 また、滋賀県の行う「美知メセナ」制度に参加しており、会社前の植栽整備や道路の清掃を行っている。		
グリーン購入の取組について	取組方法	EA21 の中でグリーン購入も取組内容の一つとして挙げているため、これから少しずつ取組を進める予定。実績についても毎年レポートを出していく。全社員が EA21 の書類を閲覧できるようにしており、社員に周知徹底している。 オフィスの用品を買う際にはカタログから環境配慮型商品を選んで購入している。判断基準は、エコマークが付いている事としている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 EA21 のグリーン購入手順書</li> <li>・取組の範囲 全社的</li> <li>・判断基準 あり</li> <li>・実績把握 あり</li> <li>・対象品目 工事用資材、事務用品</li> </ul>	
	外部公表	EA21 の年間レポートを EA21 事務局 HP で公表している。	
	従業員への研修・啓発等	滋賀 GPN のグリーン購入セミナーに参加を予定している。セミナーの資料を社内で回覧し周知するなど、今後、外部のセミナーも活用しながら進めていると考えている。	
	効果と負担 今後の展望	EA21 に取り組むようになってから、ごみの分別について、さらに細かく分けるようになった。 環境活動に取り組む事で会社の格付けが上がるような社会になってきており、会社のイメージアップにもつながると考えている。	



外観



看板



栗東きょうどう夢の森プロジェクト  
認定証



美知メセナ看板と取組場所



20	木村電工株式会社				
所在地	滋賀県大津市あかね町 1-3	従業員数	15 人		
業 種	建設	取材日	2011 年 7 月 25 日		
対応者	代表取締役 木村禎様				
事業内容	<p>水力発電所等から電気を変電所に送り、そこから家庭に届く電柱用の電気を上げるまでの工事や電力の流通設備等、発送電分離の送電の分野の仕事をしている。水力発電所ではメンテナンス中心の業務を行い、鉄塔・変電所では設備の改修・修理業務を行っている。</p> <p>鉄塔では、電線の張り替えや絶縁体の取り換えも行っている。特殊な職種であり、滋賀県内で鉄塔・変電のトータルサポートができるオーナー会社は当社のみ。</p> <p>営業範囲は関電エリアで、富山（黒部ダム）、名古屋（木曽）から西は姫路までである。</p>				
環境の取組 全般について	<p>滋賀県の登録制度「GP プラン滋賀」STEP1 に登録。</p> <p>マイクロ小水力発電設備の販売・施工をしている。一般家庭の一日平均の電力 1kw を発電できる。1 日中発電をしているので、夜間に発電した電気をバッテリーに溜める。余分な電気はお湯に変える等して有効活用する方法は色々ある。水の量と落差があれば発電できる。メンテナンスは年 1 回必要。しかし、水量と落差があり、その傍に家がある場所が少なくななかなマッチングができない。今後も情報発信を続け、普及に努めたい。</p> <p>業務で出た油の回収に使う製品等の環境配慮型商品を扱っており販売も行っている。</p>				
グリーン購入の取組について	取組方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 グリーン購入に関する方針</li> <li>・取組の範囲 全社的</li> <li>・判断基準 なし</li> <li>・地産地消の推進 県産にはこだわらないが、国産を積極的に購入している</li> <li>・実績把握 あり</li> <li>・対象品目 紙類、トイレットペーパー、ティッシュペーパー、紙製事務用品、文具類、自動車、照明、作業服、資材、事務服、制服</li> </ul>			
	外部公表	特になし			
	取引先等への啓発等	自社が業務で使用する商品を購入する際に頼んでいる商社に環境配慮型商品を知ってもらい商品として置いてもらいたいので、商社への呼びかけがあればグリーン購入が進むのではないかと考えている。			
	効果と負担 今後の展望	グリーン購入情報を提供してくれる企業のリストがあると良い。			
滋賀GPNについて	<p>滋賀 GPN 会員（2008 年より）</p> <p>会員同士の信頼関係が築ける環境を増やしてもらえると購入しやすい。会員の交流の場を増やしてほしい。</p> <p>滋賀 GPN が様々な商社関係者へ環境配慮型商品を薦めていってほしい。</p>				
その他	今後、森林組合と協力し、バイオマスエネルギーと自然エネルギーを組み合わせる事によって、発電できるを高められる設備を開発したいと考えている。ただ、木材等のバイオマスエネルギーは、搬出コストがかかりすぎるので、何か良い方策はないか研究できる連携を模索している。				



外観



ヒアリング風景



マイクロ小水力発電



21	京セラ株式会社 滋賀蒲生・八日市工場		
所在地	蒲生工場：滋賀県東近江市川合町 10-1 八日市工場：滋賀県東近江市蛇溝町 1166-1	従業員数	蒲生工場:820 人 八日市工場:1,716 人
業種	製造（電気機器）	取材日	2011年11月15日
対応者	滋賀蒲生工場 環境本部 環境安全部 副責任者 澤田昇様 滋賀八日市工場 環境本部 環境安全部 環境課責任者 山口祐史様 滋賀八日市工場 環境本部 環境安全部 環境課副責任者 田中正浩様 滋賀蒲生工場 環境安全部 環境課 環境管理係責任者 小西弘晃様		
事業内容	電気機器、セラミックス部品、切削工具の製造（蒲生工場） ソーラーパネルの原料調達からパネル製造（八日市工場）		
環境の取組全般について	<p>1997年に ISO14001を認証取得。</p> <p>2004年には省エネ推進課を創設し、空調設備の効率化、節電、環境配慮型商品の選択等、省エネの取組を推進している。目的・目標を決め、その目標の達成のための活動を行い、環境負荷の低減に努めている。</p> <p>並行して「環境配慮型商品を製造する会社である以上は従業員も環境の意識が必須。製品と同時に人を作っていく必要がある」という考え方に基づき、従業員の環境教育にも力を入れている。</p> <p>また、滋賀県に立地する企業の責任として、地元での夏祭りの開催等、地域や近隣企業との連携、コミュニケーションにも力を入れている。</p> <p>食堂で出た廃食油を東近江市内のプラントで精製し、作られたBDFを買い取ってフォークリフトの燃料として使用している。</p>		
グリーン購入の取組について	取組方法	<p>2000年のグリーン購入法制定と同時に、順法性の確保のためグリーン購入の取組を開始。2010年まではISOの目標として挙げていたが、社内で十分浸透し、購入する物品もほぼ環境配慮型商品になったので目標から外した。</p> <p>グリーン購入手順書は社内のイントラネットから誰でも見られる。カタログに環境ラベルがある事が購入の判断基準であり、環境ラベルがないものを購入する場合は理由が必要となっている。</p> <p>社員には年1回、グリーン購入についての教育を繰り返し行っている。昨年はグリーン購入率が98.5%であったので、より100%に近づくために、滋賀GPN事務局の辻次長に研修会を依頼した。グリーン購入の実績は毎月集計をしているが、研修会後は購入率が上がった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 ISO等のグリーン購入手順書</li> <li>・取組の範囲 全社的</li> <li>・判断基準 あり</li> <li>・地産地消の推進 食堂で使用する食材は滋賀県産のものを使用するように依頼。</li> <li>・実績把握 あり</li> <li>・対象品目 紙類、トイレットペーパー、ティッシュペーパー、紙製事務用品、文具類、オフィス家具、ファクシミリ、プリンタ、コピー機、パソコン、冷蔵庫、テレビ、洗濯機、エアコン、自動車、照明、作業服、事務服、制服</li> </ul>	
	外部公表	HPにて環境方針をはじめ、環境の取組を公表している。	

	取引先等への啓発等	グリーン調達規定を定めており、取引先には規定を渡している。取引先の ISO14001 取得の有無やグリーン購入を実施しているかどうかなどの状況を調べ、場合によっては監査も行っている。取引先選定の際は環境の取組を積極に行っていところを優先的に選んでいる。
	従業員への研修・啓発等	ISO の目的・目標に挙げている項目は食堂や各部署の掲示板に掲示、パート従業員も含めて全従業員に周知している。担当者が変わる事も考慮し、年に 1 度グリーン購入の従業員研修を行っている。テーマをグリーン購入に絞った研修をする事でグリーン購入の基礎や滋賀県で推進している「おいしがうれしが」の話等も含め、細かいところまで踏み込んだ研修会ができている。 従業員の個人の生活の中でできる取組についても啓発を行っており、大きく分けると二つの取組をしている。1 つ目は従業員による環境家計簿の記入で、電気代や光熱費等を付けていく事で省エネにより CO <sub>2</sub> がどれだけ削減できるかがわかるようになっている。現在は約 20% の従業員が参加しており、さらに多くの従業員に参加を呼びかけるために昼休みに講習会を行っている。 また、2 つ目として、年に一度行う CSR 報告会に外部講師を呼んで従業員とその家族に向けて環境の取組の話をしてもらう場を設けている。今年度は大阪ガス株式会社に講師を頼み、冬の節電についての話をしてもらった。
	効果と負担 今後の展望	グリーン購入をした効果が目に見えてわかると良いと考えている。例えば、CO <sub>2</sub> の定量評価システムがあり、商品を買い替え、CO <sub>2</sub> が削減できたらその削減量を GPN が認定して低炭素社会条例の中で求められる用件の中に数値を書き込めるような仕組み等があればよりグリーン購入が進むと思う。 具体的にどれだけ CO <sub>2</sub> が減るか見えるのが大事。
滋賀GPNについて		滋賀 GPN 会員（2009 年より） 滋賀 GPN に入会した事によるメリットは、行政機関・近隣企業とのつながりができた事である。特に、滋賀県や市町とのつながりができた事が大きく、行政機関の情報が入りやすくなったりで、東近江市と連携した取組等に繋がった。 また、滋賀県の企業は前向きに環境に取り組んでいるところが多く、入会する事で、滋賀 GPN の事務局や会員企業にグリーン購入や環境関連の事で相談がしやすくなったり。
その他		2011 年に第 13 回のグリーン購入大賞経済産業大臣賞を受賞。受賞後、メディアからの取材が増えた。 グリーン購入の取組の理由は、企業として順法性を守るために当たり前である事と、環境意識向上のためのツールの一つとして考えている。



外観



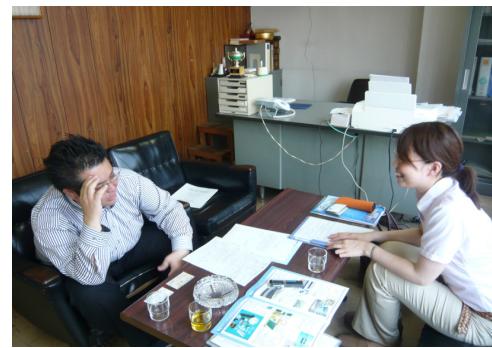
ヒアリング風景



22	ケイシン株式会社				
所在地	滋賀県大津市湖城が丘 1-8	従業員数	5人		
業種	製造（石油・ゴム製品）	取材日	2011年8月9日		
対応者	営業取締役 山元智寛様				
事業内容	パッキンやOリング等製造過程の治具に使う歯車類等のプラスチック、工業用ゴム・合成樹脂（高圧ホース等）の販売・加工。住宅設備用の配管の組立及び販売。				
環境の取組全般について	ISO14001やEA21に準拠した自己認証システムを定め、環境への取組を実施している。取引先の企業から環境配慮について依頼された場合は必ず環境配慮型商品を使用している。 裏紙使用（100%）や冷暖房の温度調節、蛍光灯の間引きや未使用場所の消灯、夏場のノーネクタイでのクールビズ等を実践している。 グリーン購入法適合品の一覧を部材の購入時に活用し、取引先にエコホース等環境配慮型商品を提供している。 名刺は再生ペットで作られたものを使用している。				
グリーン購入の取組について	取組方法	環境ラベル・グリーン購入法適合の表示の有無を判断基準としている。 滋賀県で作られた商品を購入する事が県内の企業の発展や、運搬で排出されるCO <sub>2</sub> 削減につながるため、滋賀県産品を積極的に購入している。それがコスト削減につながる事もあると考えている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 環境方針</li> <li>・取組の範囲 一部の部署・営業所</li> <li>・判断基準 あり</li> <li>・地産地消の推進 滋賀県産を積極的に購入している。</li> <li>・実績把握 なし</li> <li>・対象品目 紙類、トイレットペーパー、ティッシュペーパー</li> </ul>			
	外部公表	特になし			
	取引先等への啓発等	備品は環境配慮型商品を取り扱っている業者から購入している。			
	従業員への研修・啓発等	朝礼で週に一度、どのような環境の取組を行ったか、社員が交代で発表している。発表する事でグリーン購入についても何かしら考えられる状況をつくっている。たまに、なるほどと思う取組方法がでてきておもしろい。担当者自身も3年程前からマイバッグを自ら率先して持ち歩いている。			
	効果と負担 今後の展望	生まれ育った地元を大切にし、地元の企業との関わりを今以上に大切にしていく事で滋賀県の発展につながると良い。 グリーン購入を進めるにあたって、環境配慮型商品が購入しやすい価格になると良い。企業の規模によってはボールペン1つでも価格の差があると購入が難しい。			
滋賀GPNについて	名前は知っているが、取り組んでいる内容は知らなかった。今回のアンケート・ヒアリングをきっかけに知った。				
その他	ホテルのグリーン購入がある事を今回のアンケートで初めて知った。				



外観



ヒアリング風景



再生パルプ使用の名刺



環境配慮型のエコホース



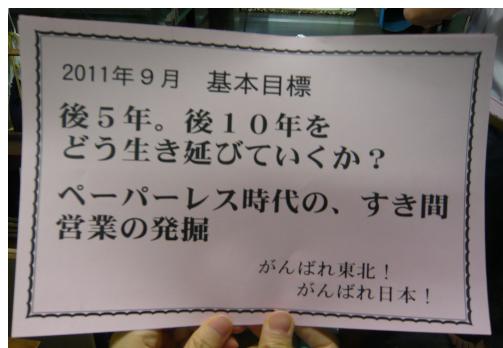
23	コダマ印刷														
所在地	滋賀県長浜市平方町 798-1	従業員数	2人												
業種	印刷・印刷関連	取材日	2011年9月26日												
対応者	代表 原田敏夫様														
事業内容	主に紙類への印刷業。長浜から彦根を中心に地元に根ざした経営。														
環境の取組 全般について	滋賀県の登録制度「GP プラン滋賀」STEP1 に登録。 印刷で使用する「のり」は劇薬品の混入されてないものを積極的に購入。 「インク」は環境に良くない物質を含まないものや、大豆インクを使用している。洗浄液を入れている容器は、以前は一斗缶だったが、現在はリターナブル容器のものに買い替えている。														
グリーン購入の取組について	取組方法	<p>文具等はグリーン購入法適合品を積極的に購入している。名刺は環境配慮型商品を使用している。</p> <p>仕事の半分が下請け(原料支給)、半分がエンドユーザー向けなので、指定のないエンドユーザー向けの仕事はできる限り環境配慮になるように心掛けている。</p> <table> <tbody> <tr> <td>・取組の文書化</td><td>なし</td></tr> <tr> <td>・取組の範囲</td><td>全社的</td></tr> <tr> <td>・判断基準</td><td>あり</td></tr> <tr> <td>・地産地消の推進</td><td>地元の企業を優先的に印刷の依頼を受けている。文具の購入は地元の文具屋で購入している。</td></tr> <tr> <td>・実績把握</td><td>なし</td></tr> <tr> <td>・対象品目</td><td>紙類、トイレットペーパー、紙製事務用品、資材</td></tr> </tbody> </table>		・取組の文書化	なし	・取組の範囲	全社的	・判断基準	あり	・地産地消の推進	地元の企業を優先的に印刷の依頼を受けている。文具の購入は地元の文具屋で購入している。	・実績把握	なし	・対象品目	紙類、トイレットペーパー、紙製事務用品、資材
・取組の文書化	なし														
・取組の範囲	全社的														
・判断基準	あり														
・地産地消の推進	地元の企業を優先的に印刷の依頼を受けている。文具の購入は地元の文具屋で購入している。														
・実績把握	なし														
・対象品目	紙類、トイレットペーパー、紙製事務用品、資材														
外部公表	取引先へグリーン購入の取組をしている事を伝えている。														
取引先等への啓発等	お客様へは環境配慮の印刷を提案し薦めている。商品を購入する際も環境配慮の取組をされている業者を優先的に選んでいる。														
従業員への研修・啓発等	環境についての取組目標を、毎月設定し社内に掲げている。マイバッグ持参や簡易包装について社内に掲示している。ビジネスメッセや研修会へ行き、収集した情報を社内に提供している。														
効果と負担 今後の展望	<p>企業の取組について、中小企業や個人事業主の取組を聞きたい。また、同じような規模の企業とざっくばらんに情報交換できる場が欲しい。</p> <p>環境配慮型商品は、未だ価格の差があるので、さらに安くなると他社へも薦めやすい。環境配慮型商品だけが掲載してあるリストがあると今後購入するときの目安になり、勉強になる。</p>														
滋賀GPNについて			GP プラン滋賀に登録しているので、名前も取り組んでいる内容も知っている。GP プラン滋賀への登録のきっかけは、取引先が滋賀 GPN 会員でプランにも登録していたため興味を持った事だった。												
その他			地域に貢献していくないので、地域が喜ぶ印刷会社として今後も経営していく。												



外観



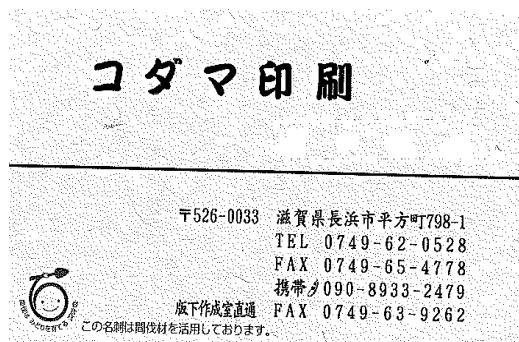
ヒアリング風景



毎月発行の環境方針



リターナル容器



名刺  
間伐材使用



24	紺藤織物株式会社		
所在地	滋賀県高島市新旭町藁園 1498 番地	従業員数	78 人
業種	製造（繊維製品）	取材日	2011年8月31日
対応者	総務管理部 部長 中村宏幸様		
事業内容	<p>Vベルト用布、タイミングベルト用布、ゴムコンベヤベルト用布、樹脂ベルト用布（搬送用）、タイヤ用布（チェーファー）、ホース用布、高機能繊維素材織物など各種産業資材用織物及びブレード用燃糸の製造・販売。</p> <p>樹脂ベルトは、国内の食品工場におけるシェアが70%、エスカレーター手すり用基布は国内シェア95%である。タイヤ用布も大手メーカーで高いシェア率を誇る。</p>		
環境の取組 全般について	<p>省資源の取組として、繊維を織っていく段階で、繊維の耳となる部分（余尺）をできる限り短くしている。</p> <p>また、EA21認証取得しており今期5期目。環境目標設定で3年計画を掲げてグリーン購入は今期から取り組み始めた。全社の冷房は工場地下水を利用した水冷式である。資材で使用しているPPバンドは、芯体をリユースできる物を取り扱う。CO<sub>2</sub>削減のため社用車をハイブリッドカーへ乗り換え、一部のフォークリフトをバッテリー車に切り替えている。</p> <p>商品の搬送時に使用するダンボールをプラスチックダンボールに切り替えた。プラスチックダンボールは、ダンボールよりコストも安く、また30回以上繰り返し使用できる。持ち手のところは、破れない強いビニルを使い、埃などの防止に役立っている。また、フタはマジックテープで留めるので何度も使えごみが出ない。大きな商品の搬送時に使用するプラスチックダンボールは使用しないときは、折りたためるコンパクト型にしている。</p> <p>工場内の照明を、省エネ電気（Wエコ・リライト）に切り替えた。1本で2本分の明るさで、6割コストをカットできた。</p>		
グリーン購入の取組について	取組方法	<p>オフィス用品は環境配慮型商品を購入している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 ISO等のグリーン購入手順書</li> <li>・取組の範囲 あり</li> <li>・判断基準 あり</li> <li>・実績把握 あり</li> <li>・対象品目 紙類、トイレットペーパー、ティッシュペーパー、紙製事務用品、文具類、パソコン、冷蔵庫、テレビ、エアコン、自動車、照明</li> </ul>	
	外部公表	HPにて公表している。	
	取引先等への啓発等	<p>取引先から環境配慮型商品を紹介してもらうようにしている。</p> <p>また、ミシン糸の芯をミシン糸の業者に回収してもらい、再利用している。（女性従業員の提案により実現）</p>	
	従業員への研修・啓発等	<p>毎年、環境教育を全社員3ブロックに分け行っている。</p> <p>滋賀GPNのHPからグリーン購入についてのグリーン購入ポイント質問表やポスターを印刷して教育訓練に使用、社内に提示し、各課にも配布している。</p> <p>5Sの教育・廃棄物の勉強会や3Rの推進などを行っている。</p>	
	効果と負担 今後の展望	<p>環境配慮とコスト削減が両立できるような取組だとすすめやすい。</p> <p>副資材（PPバンド等）の環境配慮型製品のリストがあると、選びやすく購入しやすい。</p>	

滋賀GPNについて	前職でビジネスメッセ立ち上げに関わった事があるので、その際に滋賀 GPN を知った。
その他	夏場の暑さ対策のため、社員が耐熱塗料を使って工場の壁を塗装し、工場内の冷房コスト削減に努めている。



外観



ヒアリング風景



糸芯のリサイクル



プラスチックダンボール



コンパクト型  
プラスチックダンボール  
組み立て後



コンパクト型  
プラスチックダンボール  
組み立て前



25	醒井工業株式会社		
所在地	滋賀県米原市大鹿 1214	従業員数	30 人
業種	製造	取材日	2011年9月26日
対応者	営業部 課長 西堀建一様		
事業内容	<p>粉体の加工、消石灰の製造。農業関係で使用する石灰の製造・土舗装材、表層改良材の販売。</p> <p>主な取扱商品としては土舗装材「まさ do 楽」がある。自然土を粒度調整し乾燥させたものを基材とし、雑草が芽を出さない等の効果がある。</p>		
環境の取組全般について	<p>環境配慮型商品の紹介、販売促進。自社で販売している商品はできる限り環境配慮型商品をお客様に紹介できるように努めている。今後も環境配慮型商品のアイテム数を増やしていきたいと考えている。</p> <p>主な環境配慮型商品として「プラタマパウダー」「シェルグランド」がある。プラタマパウダーは住宅用の廃材と食品加工工場から出た卵の殻をリサイクルして製造したグラウンド用パウダー（主に学校等で白線を引く際に利用される）。また、シェルグランドは天然ホタテの貝殻を使用したグラウンドの表層改良材であり、使用する事で粉塵の巻きあがり防止、雑草を生えにくくする等の効果が期待できる。</p>		
グリーン購入の取組について	取組方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 なし</li> <li>・取組の範囲 一部の部署・営業所で取り組んでいる</li> <li>・判断基準 なし</li> <li>・地産地消の推進 滋賀県産を積極的に購入している。近くの業者、滋賀県内の業者を優先的に選んでいる。</li> <li>・実績把握 なし</li> <li>・対象品目 特に決めていない</li> </ul>	
	外部公表	特になし	
	取引先等への啓発等	<p>グリーン購入法適合品を取り扱っているので、取引先に購入してもらえるように薦めている。</p> <p>取引先選定の際には、実際に工場を見て契約するか判断している。環境問題に取り組んでいるか否かも契約の判断基準の一つになっている。</p>	
	従業員への研修・啓発等	<p>従業員へのグリーン購入についての研修は、今は行っていないが、1人で取り組むより全従業員で取り組む方が効果が大きいので今後取り組んでいきたいと考えている。ただ、従業員が研修に参加するのは時間の制約もあり簡単ではない。</p> <p>自社で環境配慮型商品を取り扱っているので、個人の生活の中でも環境配慮をするように呼びかけている。特に子供のいる家庭には自社で扱っている商品等についても説明して家庭でも取組をするようにと呼びかけている。</p>	
	効果と負担 今後の展望	環境配慮型商品が種類別に分かれている、問合せ先が掲載されているようなリストがあればグリーン購入が進んでいくと考えている。	
滋賀GPNについて	一度、仕事の関連で滋賀 GPN の HP で（いちおしひーん商品リスト）を見ようとした事があり、知っていた。		

その他	<p>土舗装材を扱っているので市や町に商品を紹介できる場がほしいと考えている。</p> <p>昨今、特に東京の方は環境配慮型商品の取り扱いを求められるところが多くなってきており、今後も醒井工業でも環境配慮型商品のアイテムの取り扱いを増やしていきたいと考えている。</p>
-----	---



外観



土舗装材「まさ do 楽」



26	サンテクノス株式会社		
所在地	滋賀県彦根市甲田町 11	従業員数	26 人
業 種	製造	取材日	2011 年 9 月 28 日
対応者	品質保証 G・ISO 管理責任者 野坂正博様		
事業内容	プラスチックの精密射出成形品製造。具体的には産業用電子部品や業務用プリンタ一部品、準医療向け部品等を製造。		
環境の取組 全般について	2007 年 11 月に ISO14001 認証取得。取引業務拡大に伴い、顧客の要請もあり取得した。ISO14001 の取組開始後、プラスチック廃材の分別徹底や再生材への有効活用などを行った結果、大量廃棄していた産廃量が約 2 分の 1 に減少、大きな成果を得られた。		
グリーン購入の取組について	取組方法	<p>事務用品、資材ともグリーン購入を極力心がけている。コピー用紙は再生紙を使用。事務用品は国内メーカー品を優先購入。            製品に使用する資材は取引先より指定される。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 グリーン購入購買リスト</li> <li>・取組の範囲 全社的</li> <li>・判断基準 あり</li> <li>・地産地消の推進 事務用品は地元業者から購入</li> <li>・実績把握 なし</li> <li>・対象品目 紙類、紙製事務用品、文具類</li> </ul>	
	外部公表	名刺・HP で公表している。	
	取引先等への啓発等	外注取引先は外注監査時に、内職は別途教育日時を設けて ISO14001 教育実施。	
	従業員への研修・啓発等	<p>社外の ISO 関連各種講習会に積極的に参加している。内部監査員は現在 4 名で運用している。            朝礼・月例や都度講習会を開催し、全社員に向けて環境教育を行っている。</p>	
	効果と負担 今後の展望	他企業の取組情報を入手し、今後社内のグリーン購入の参考にしたい。 一部製品でバイオ原料を製品化しているが、原料価格が高いため価格低減がネックとなっている。	
	滋賀GPNについて	滋賀 GPN の名前を聞いた事はあったが、活動内容については今回初めて知った。	
その他		日常排出する一般ごみの対応等について、他社の事例を知りたい。当社では弁当は大半が持参でごみは少ないが、弁当が無い人は隣接するコンビニを利用する事が多い。	



外観



ヒアリング風景



27	サンテックオプト株式会社 滋賀工場		
所在地	滋賀県東近江市五箇荘築瀬町 10	従業員数	41 人
業種	製造	取材日	2011年10月4日
対応者	取締役工場長 竹田泰之様		
事業内容	<p>液晶用光学製品では、液晶パネルの高輝度化・表示品位向上に必要不可欠なプリズムレンズシート“サンクリスタ”的生産・販売。液晶に光を伝えるためのパネルで、自社製品はロール状で製造するため色々なメーカーに対応できるのが特徴。</p> <p>消費資材製品では、家庭用クリーナーの汎用紙パックなど一般向け消費材の生産・加工・販売を行っている。</p>		
環境の取組全般について	<p>液晶パネルを加工する際に熱源の使用率が非常に高いので、電気使用率の削減に取り組んでおり、各所に電気使用量のわかるランプを設置している。この機器には予め各部屋の最低限必要な電気使用量が設定しており、その量が近づくと黄色のランプが点灯する。電気の使い過ぎが目で見て分かりやすいようになっている。また、液晶パネルの製造現場では空気中に規定値以上のごみがあると製品に支障が出るため、クリーンルームでの作業となり、24時間空調（空気清浄）を行っている。空調の電気使用量を削減するために大きなクリーンルームを間仕切りによって小部屋とし、不必要的部屋の空調を止めている。結果、今年7月～8月の電気使用量を前年比で16%削減する事ができた。</p> <p>また、自社製品で全機種掃除機対応の汎用紙パックに再生紙を利用している。</p>		
グリーン購入の取組について	取組方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 グリーン購入に関する方針</li> <li>・取組の範囲 全社的</li> <li>・判断基準 あり</li> <li>・実績把握 あり</li> <li>・対象品目 紙類、トイレットペーパー</li> </ul>	
	外部公表	HPに環境方針公表、会社案内に記載している。	
	取引先等への啓発等	お客様と製品の仕様書の取り交わし時には必ず、再生紙の配合率を説明している。また、展示会では自社の製品が環境配慮である事について説明している。当社の環境取組の基準と合致する企業から優先して購入している。	
	従業員への研修・啓発等	年2回 ISO14001の勉強会の中で、各部署の担当者へグリーン購入について研修を行っている。その後、担当者が持ち帰って各部署へ伝えている。	
	効果と負担 今後の展望	<p>事務用品は環境配慮型製品を積極的に選んでいるが、若干まだ割高なので値段が下がると嬉しい。</p> <p>大手企業の取組について知り参考にしたい。</p>	
滋賀GPNについて	だいぶ前に何かの機会で関わりがあったので、グリーン購入の推進をしている団体だという事は知っていた。		

28	サントリー酒類株式会社 近江エージングセラー				
所在地	滋賀県東近江市大森町池谷 863-1	従業員数	6人		
業種	製造（食料品）	取材日	2011年10月3日		
対応者	所長 平田賢一様 西村美恵子様				
事業内容	サントリーウイスキーに使用するモルトウイスキー、グレンウイスキー等の貯蔵を行っている事業所。立地環境がウイスキーの貯蔵に適している。敷地面積は約22万坪。				
環境の取組 全般について	2000年にグリーン購入の基本方針を定めている。消耗品や備品を購入する際は、本社が定めた環境配慮型商品の推奨品リストに従って購入している。3Rに積極的に取り組んでいる。 事業基盤である「水」を育む森を守るため、水源涵養活動に取り組み、また、日野町の綿向山の森林保全活動に協賛し、林道づくりを行っている。日野町森林組合（日野町）より苗木を購入して、会社敷地内に植樹している。				
グリーン購入の取組について	取組方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 ISO等のグリーン購入手順書</li> <li>・取組の範囲 あり</li> <li>・判断基準 あり</li> <li>・実績把握 あり</li> <li>・対象品目 紙類、紙製事務用品、コピー機、パソコン、作業服</li> </ul>			
	外部公表	環境報告（CSRレポート）をHPで公開し冊子を取引先へ配布している。			
	取引先等への啓発等	ISO14001の方針について伝えている。			
	従業員への研修・啓発等	毎年、環境方針を全従業員へ伝えている。作業服はペットボトル再生品を着用している。			
	効果と負担 今後の展望	リサイクル製品は価格が高いが、そうした商品を購入することで循環型社会づくりにつながり、環境配慮型商品が安くなるといいと考えている。			
滋賀GPNについて	名前は聞いたことがあった。				
その他	環境配慮型商品の購入の取組が全従業員に定着しているので、特にPR等は行っていない。 他社との交流会にタイミングが合えば参加したい。本社は全国GPNに加入している。				



外観



ヒアリング風景



29	シーアイ化成株式会社 滋賀工場		
所在地	滋賀県湖南市丸山 3-3-1	従業員数	269 人
業種	製造（化学）	取材日	2011年9月9日
対応者	滋賀工場 事務課長 山本康広様 滋賀工場 事務課 上林武司様		
事業内容	<p>農業用資材・機能フィルム・建装用資材・包装用資材・土木産業資材・電子部品等の製造を手掛けるプラスチックの総合加工メーカー。</p> <p>滋賀工場では、農業用資材（ビニールハウスのフィルム）・インテリアや建装物の内外装に用いられる建装用資材（キッチン扉や家具に関する部材等）や磁性材関連製品（マグネットシート等）を製造している。</p>		
環境の取組全般について	<p>ISO14001・9001の認証取得。ISOの取組の中で、環境方針を掲げており工場の目的・目標としてゼロミッションへの取組み、産廃排出量の削減、VOC規制への対応、CO<sub>2</sub>総排出量の削減、省エネ対策等を掲げている。</p> <p>事務課を中心に、グリーン購入の推進、可燃ごみの削減やリサイクル活動にも積極的に取り組んでいる。本社に環境管理室があり、各工場の取組結果の報告を受け、取り纏めを行っている。全社で「人と地球と未来にやさしいものづくり」をスローガンに掲げ、その実現に向けての活動を展開している。</p>		
グリーン購入の取組について	<p>取組方法</p> <p>グリーン購入法適合品を積極的に購入している。また、購入物品を選択しやすいように環境ラベルの一覧を作成している。</p> <p>購入した商品に関しては、グリーン調達品リストを作成して購入状況を把握している。プリンター、コピー機等は、本社一括で購入品を決定している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 ISO等のグリーン購入手順書</li> <li>・取組の範囲 全社的</li> <li>・判断基準 あり</li> <li>・地産地消の推進 コピー用紙では、琵琶湖のヨシが使われているものを購入梱包資材は、地元業者から仕入れている。</li> <li>・実績把握 あり</li> <li>・対象品目 紙類、トイレットペーパー、紙製事務用品、文具類、オフィス家具</li> </ul> <p>外部公表</p> <p>HPにて公表している。</p> <p>取引先等への啓発等</p> <p>環境配慮型商品の提供を取引業者へ依頼している。</p> <p>取引先に「環境方針」や「環境管理上の要求事項」を送付し、工場で実施する環境管理活動に対し協力要請している。</p> <p>納品時には、アイドリングストップ実践を搬入業者に求めている。</p> <p>従業員への研修・啓発等</p> <p>ISO14001に関する目的、目標のまとめた文章を全社員に携帯させている。</p> <p>効果と負担今後の展望</p> <p>環境配慮型商品だけが掲載されているカタログがあると良い。現在は環境ラベルを参考に選んでいるが、カタログに掲載されている商品がはじめから環境配慮型商品だけだと選びやすい。</p> <p>滋賀GPNについて</p> <p>届出関係で、循環社会推進課との関わりがあったので、その中で知った。</p>		

30	<b>株式会社滋賀銀行</b>		
所在地	滋賀県大津市浜町1番38号	従業員数	4,045人(関連会社含む)
業種	銀行・信用金庫	取材日	2011年12月7日(Mail)
対応者	総合企画部 副部長兼CSR室長 西堀武様		
事業内容	<p>銀行業。設立は1933年10月1日、店舗数139カ店。</p> <p>環境を主軸とするCSR(企業の社会的責任)の追求を「銀行経営の要諦」と位置づけ、「クリーンバンクしがぎん」を合言葉に、経営に環境を取り込んだ「環境経営」と、金融に環境を組み込んだ「環境金融」を実践している。</p> <p>環境省が創設した「エコ・ファースト制度」において、全国で第7号、かつ金融業界初の「エコ・ファースト企業」として2008年7月に認定を受け、地球温暖化防止に向けた取組や、金融機関ならではの環境対応型金融商品・サービスを積極的に推進している。</p>		
環境の取組 全般について	<p>温室効果ガス排出量を、総量で2010年度から2012年度の3年間平均で2006年度対比25%削減に挑戦している。2010年度の実績は55.25%の削減(真水23.8%、排出権購入による削減31.45%)。</p> <p>省資源・省エネルギーの「エコオフィスづくり」に取り組んでいる。</p> <p>また、環境対応型金融商品・サービスの開発、提供など、お金の流れで地球環境を守る「環境金融」の実践を行っている。</p> <p>さらに、環境ビジネスに取り組む企業が自社の商品・サービスを紹介できる「エコビジネスマッチングフェア」を主催しており、2011年6月に4回目を開催した。その中で県内の環境アグリビジネスのサポートも行っている。</p>		
グリーン購入の取組について	取組方法	<p>「紙」「文具・事務用品」等について、環境配慮型商品を優先的に購入している。</p> <p>紙類は100%、文具類75%を環境目的。目標として全店で取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 あり</li> <li>・取組の範囲 全社的</li> <li>・判断基準 あり</li> <li>・地産地消の推進 本店の食堂のお米は滋賀県産の「秋の詩」を使用している。</li> <li>・実績把握 あり</li> <li>・対象品目 紙類、トイレットペーパー、ティッシュペーパー、外注印刷物、紙製事務用品、文具類、プリンタ、コピー機、パソコン、テレビ、自動車、照明、事務服、制服</li> </ul>	
	外部公表	「CSRリポート2011」でグリーン購入の取組を紹介している。	
	取引先等への啓発等	<p>環境対応型金融商品の「琵琶湖原則支援資金(PLB資金)」において、環境格付融資の評価項目にて、「グリーン調達・グリーン購入」の取組を評価している。</p> <p>グリーン購入に取り組めば取り組むほど金利が優遇される制度になっており、お客様の環境経営をサポートしている。格付評価先は7,309先。</p> <p>また、お客さまにも“グリーンコンシューマー”になっていただきたいとの願いを込めて、ノベルティーグッズも「グリーン購入商品」を提供している。</p> <p>取引先選定の際には滋賀銀行の環境基準において仕入れ業者を選定している。</p>	
従業員への研修・啓発等	<p>新入行員、階層別研修等でCSR、ISO14001の研修を年間6回程度実施している。グリーン購入についての研修は、①グリーン購入とは ②グリーン購入の実践 ③グリーン購入の目的と目標 の3つの内容で行っている。</p> <p>個人の生活の中でできる取組の啓発として、「GPN500万人グリーン購入一斉行動キャンペーン」に参加している。今年度は6月の「買うからはじめるエコ～</p>		

	省エネライフを考えて選ぼう～」、10月の環境月間は「買うからはじめるエコ～より良いエコを選ぼう～」に参加。 また、今年7月には滋賀県が実施した「節電クールライフキャンペーン」を推奨。
効果と負担 今後の展望	グリーン購入対象商品のみが掲載されたカタログがあれば便利だと考えている。企業としてグリーン購入比率をアップするのには近道になる。 他企業のグリーン購入取組事例を参考にしたい。 グリーン購入を推進する事により得られる効果が、CO <sub>2</sub> 排出削減量や植樹換算等で表示されると分かりやすい。
滋賀GPNについて	滋賀 GPN 会員（1999年より・設立発起団体） 入会した事で、企業・個人共に環境意識の向上につながっている。 環境配慮型商品はコスト的に不利だと思っていたが、その既成観念が変化し、環境対応型金融商品は短期的な効果を求めるのではなく、長期的な目線でお客様と継続的なリレーション（長期的な関係）を構築し、持続可能な社会を築いていく事に意義があると考えている。 また、参加して良かったと感じた事は「環境保全の“環”が拡がった」事である。



外観



「エコビジネスマッチングフェア 2011」  
各ブースでは、商談や情報交換が活発に行われた



3 1	滋賀県立大学生活協同組合		
所在地	滋賀県彦根市八坂町 2500	従業員数	44 人
業 種	小売業、食堂事業	取材日	2011 年 10 月 14 日
対応者	専務理事 木下高志様 以下は、滋賀県立大学生 環境マネジメント事務所（EMO） 木村昌敬様 グリーンコンシューマーサークル 浅井結衣様 グリーンコンシューマーサークル会計・Web 管理 北山尊之様		
事業内容	滋賀県立大学内で学生や教職員をはじめとする組合員に対して食堂・購買の運営を行っている。食堂 3ヶ所、購買 1ヶ所を運営。		
環境の取組全般について	2002 年に ISO14001 を自己宣言。学生サークル環境マネジメント事務所（EMO）と協力し ISO14001 の要求事項に沿った取組を行っている。月に 1 回環境管理委員会を開催。また、目的、目標を達成するために省資源・地産地消・環境啓発・エコ文具の 4 つのプロジェクトを組んで活動を行っている。食堂に設置している環境掲示版に環境情報を掲載し、組合員向けに定期的に発信している。		
グリーン購入の取組について	取組方法	環境配慮型商品を買うよう努めているが、備品の購入自体がほとんどない。 ・取組の文書化 環境方針 ・取組の範囲 一部の部署・営業所 ・判断基準 なし ・地産地消の推進 地元で獲れた米・季節の野菜・卵や県内で加工された味噌の購入（食堂に出すメニューの一部として使用）。 ・実績把握 なし ・対象品目 紙類、トイレットペーパー、紙製事務用品、コピー機、パソコン	
	外部公表	HP にて環境方針を公表している。	
	取引先等への啓発等	(学生に対する啓発として回答) 食堂にて地場産食材の利用を PR する「地産地消フェア」を定期的に行っている。購買では環境配慮型商品に販促ポップ等を表示して購入を促す事で、環境配慮の取組を広める役割を果たしている。 全新入生に対して 2010 年・2011 年にエコ文具リストの配布を実施した。	
	従業員への研修・啓発等	従業員への環境教育の中にグリーン購入が入っていないので、今後行う予定で考えている。全体朝礼などで従業員への個人の生活でできる環境の取組について呼びかけを行った事がある。	
	効果と負担 今後の展望	2011 年 10 月に全国の環境活動に取り組む大学生が一同に集まる環境セミナーを滋賀県立大学で開催した。そこで全国の学生との情報交換により得た情報を活かしていきたい。	
滋賀GPNについて	グリーンコンシューマーサークルが滋賀 GPN の幹事団体なので、名前も取組内容も知っている。		

その他	<p>滋賀県立大学内にある生協の購買に置いてある文房具は、グリーンコンシャーマーサークルが学生にリサーチし、その結果を基に文具の選定を行い販売促進に繋げている。また、環境配慮型製品で、かつデザイン性、機能、価格的に優れている商品を優先的に取り入れている。</p> <p>2007年に、文具メーカー、生協と協力して学生のニーズを満たした環境配慮型文具の開発を行った。現在、学生に対してどのような仕様が使いやすいか、環境配慮型商品についての意見をリサーチしている。結果を分析しながら、次の文具開発につなげたいと考えている。</p> <p>また、エネルギー・マネジメントシステム ISO50001 を運用するため、準備中である。</p>
-----	---



ヒアリング風景



購買の環境配慮型商品宣伝ポップ



文具のリサーチ結果



分別方法の案内ポスター



環境活動紹介ポスター



32	<h1>滋賀トヨタ自動車株式会社</h1>				
所在地	滋賀県大津市本宮二丁目 9 番 12 号	従業員数	300 人		
業種	小売業	取材日	2011 年 8 月 8 日		
対応者	CSR 推進室長 人材開発担当責任者 総務部長 中川巖様 経理部経理グループ CSR 推進事務局 課長 磯野昌人様 サービス部技術・保証グループ TECNO 研修センター CSR 推進室 環境管理グループ 課長 北河新市様				
事業内容	<p>自動車の販売及び整備業。</p> <p>トヨタ系の新車販売は 4 系列のチャネル（トヨタ、トヨペット、カローラ、ネッツの 4 つ）があるが、その中のトヨタ店。</p> <p>中古車、保険業務、携帯電話（au の代理店として）の販売も行っている。</p>				
環境の取組 全般について	<p>滋賀県の登録制度「GP プラン滋賀」STEP1 に登録。</p> <p>昨年の 2 月から EA21 に取り組み、2011 年 6 月に認証取得した。今後、環境の取組とともに、アピールも行おうと考えている。</p> <p>節電や節水について何%節約できるかという目標を設定し、各種の取組をしている。具体的には、照明を間引き照明にし、昼休みはフロア全てを消灯している。洗車時に大量の水が必要になるので、同様の効果を保ったまま、2 回の洗車を 1 回にして水使用量を削減している。</p> <p>また、各店舗の緑化整備の推進や、プリウスの売上の一歩をマザーレーク滋賀応援基金に寄付している。</p>				
グリーン購入の取組について	取組方法	<p>滋賀県内にある 17 事業所全てでグリーン購入に取り組んでいる。文具は本社が環境配慮の事業者から一括購入して、他の店舗に配布する形を取っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 なし</li> <li>・取組の範囲 一部の部署・店舗</li> <li>・判断基準 なし</li> <li>・実績把握 なし</li> <li>・対象品目 紙類、トイレットペーパー、ティッシュペーパー、紙製事務用品、文具類、コピー機</li> </ul>			
	外部公表	EA21 取得について、名刺に EA21 のマークを入れて公表している。			
	取引先等への啓発等	備品購入の業者選定の際は、なるべく滋賀県内で環境配慮に取り組む業者から購入するようにしている。			
	従業員への研修・啓発等	<p>トヨタ全体で CSR 活動に取り組んでいる。法令、保険業務や、週に一度実施する美化活動の様子等を半年に 1 回全店舗に聞き取りに行く機会を設けているので、その際に環境に関する研修も行う。</p> <p>EA21 認証登録機関が行う環境についての社内研修を行った事がある。朝礼の際に、公私に関わらず環境ラベルのついた商品を買う事、昼間はフロアの電気を消す事などを実践するようにと話している。他の支店でも同じように取り組んでいる。</p>			
効果と負担 今後の展望	<p>グリーン購入の基礎的な研修会を受講したいと考えている。今は、担当者のみが研修会に参加しているが、今後担当者以外の従業員の参加も検討している。</p> <p>環境の取組をしている販売業者のリストがあれば、よりグリーン購入を進めやすくなると考えている。</p> <p>文具類、リサイクルペーパー等でもまだ環境配慮型商品とそうでない商品の価格差があると感じる。蛍光灯等も価格が高いと導入しにくい。逆に短期的にコスト削減の効果がわかると取り組みやすくなると考える。</p>				

滋賀GPNについて

GP プラン滋賀に登録しているので名前も取り組んでいる内容も知っている。



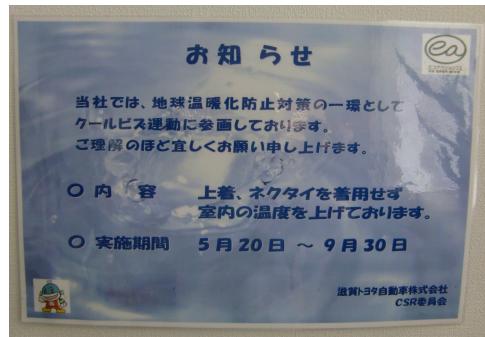
ヒアリング風景



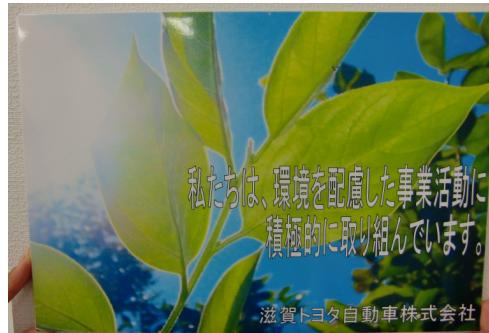
マザーレークへの寄付時の様子



オフィスに掲示している環境方針



ケーブルビズの啓発ポスター



啓発ポスター



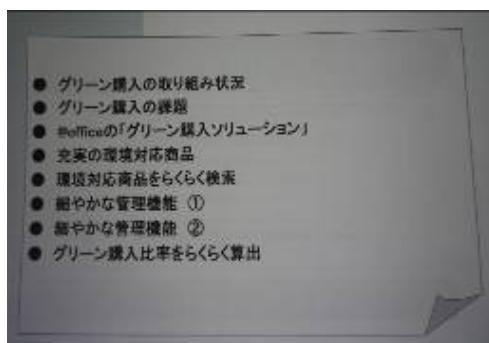
3 3	滋賀日野自動車株式会社		
所在地	滋賀県栗東市小柿三丁目 2 番 30 号	従業員数	97 人
業 種	小売業	取材日	2011 年 8 月 22 日
対応者	総務チーム 課長 八木修様		
事業内容	トラック・バスの本体及び部品の販売、修理。栗東店を本店とし、県内には他に彦根と長浜に支店がある。		
環境の取組 全般について	滋賀県の登録制度「GP プラン滋賀」STEP1 に登録。県内全ての支店の消耗品の購入は栗東店の総務にて発注・管理を行っている。消耗品を購入する際は環境配慮型商品を選ぶ事が総務の全従業員に浸透し徹底されている。購入した消耗品は社内便で支店へ運んでいる。コピー用紙を以前は価格優先で購入していたが、2010 年から古紙パルプ 100% のものを使用している。自社でグリーン購入する分野として目標を掲げているものは多少高くても購入している。目標として掲げていないものでも、社用車やオフィス家具はグリーン購入するように努めている。数値目標を設定してグリーン購入の購入記録を毎月つけ実績を算出している。		
グリーン購入の取組について	取組方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 グリーン購入に関する方針</li> <li>・取組の範囲 全社的</li> <li>・判断基準 あり</li> <li>・実績把握 あり</li> <li>・対象品目 紙類、トイレットペーパー、ティッシュペーパー、文具類、照明</li> </ul>	
	外部公表	特になし	
	取引先等への啓発等	消耗品の発注先に対してグリーン購入に取り組んでいる事を伝え、提案・作成していただいた環境対応商品のリストの中から選んで購入している。ハイブリッドの小型トラックを販売する事で環境への負荷低減を認識してもらっている。事務所入り口にクールビズのポスターを掲示している。	
	従業員への研修・啓発等	朝礼や通達の配布時にグリーン購入の啓発を行う予定をしている。蛍光灯の間引きによる節電や、環境配慮を呼びかけるポスターの掲示に努めている。	
	効果と負担 今後の展望	大企業の事例では参考にしにくいので、中小企業のグリーン購入をはじめとする環境の取組について聞きたい。 環境の担当者以外がグリーン購入をする際に購入基準を把握して実践する事が難しいので、今後は担当者以外の従業員にグリーン購入の理解促進を図りたい。 他社の啓発等の方法を知りたい。	
	滋賀GPNについて	現在は「GP プラン滋賀」に登録しているが、滋賀 GPN へ入会する事で県が行う入札制度で優遇されるのであれば入会したい。	
その他		滋賀 GPN 以外の研修会にも参加してみたい。	



外観



ヒアリング風景



環境対応商品リスト目次



ハイブリッド小型トラック



社内啓発ポスター



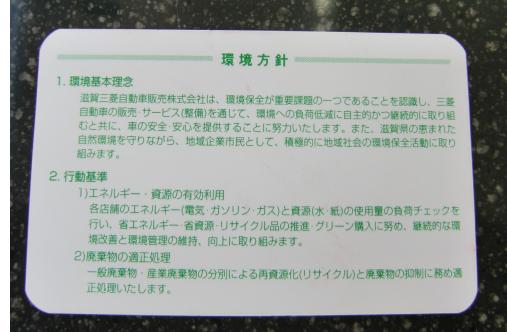
3 4	株式会社滋賀松風		
所在地	滋賀県甲賀市信楽町黄瀬 2296 番地	従業員数	80 人
業 種	製造（精密機械）	取材日	2011年10月31日(FAX)
対応者	総務 山下逸廊様		
事業内容	医療用具製造販売業。アクリル及び硬質 2 種類のレジン歯の製造を行っている。		
環境の取組 全般について	ISO14001 の認証取得にあたり、グリーン購入の取組を始めた。ここ数年、品質（ISO13485）と関連した取組を行っている。良品率を向上する事で、原料使用量の削減による資源保護や生産数が減少する事による電気使用量の削減。また、入荷及び出荷便の削減による CO <sub>2</sub> 削減、電子申告及び電子納税による紙の削減および CO <sub>2</sub> 削減等に取り組んでいる。		
グリーン購入の取組について	取組方法	<p>事務用品については、グリーン購入法適合の表示があるものや再生利用できるもの、分別できるもの、使い捨てでないものを積極的に購入している。また、包装資材に関しては再生紙又は大豆インクを使用しているものを選び購入している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 環境方針</li> <li>・取組の範囲 全社的</li> <li>・判断基準 なし</li> <li>・実績把握 なし</li> <li>・対象品目 紙類、トイレットペーパー、ティッシュペーパー、紙製事務用品、文具類</li> </ul>	
	外部公表	環境方針に記載して、外部に公表している。	
	取引先等への啓発等	取引先選定の際、事務用品についてはカタログで選定できるが、生産部材等の購入においては取引業者が決まっているため環境の取組の有無で選ぶのは難しい。また、既に大半の企業が環境の取組をされていると感じている。	
	従業員への研修・啓発等	<p>全従業員に文書あるいは掲示物で環境方針の周知徹底を行っている。また、EMS 委員会で自社の取り組みについて説明した内容を、朝礼にて全社員へ報告している。</p> <p>社内で昼食時に以前は割箸を使用していたが、現在は全社員がマイ箸を持参しており 100%切り替えができている。</p>	
	効果と負担 今後の展望	金額等の（グリーン購入をした）効果が分かれば良いと思う。また、事務用品等の環境配慮型商品が今以上に安価になると良い。	
	滋賀GPNについて	DM 等案内物で滋賀 GPN の名前は知っていた。	

35	滋賀三菱自動車販売株式会社			
所在地	滋賀県大津市相模町2番48号	従業員数	148人	
業種	小売業	取材日	2011年10月7日	
対応者	管理部 課長 梅垣恵一様 管理部 本部達也様			
事業内容	自動車の販売・修理業務と、自動車保険代理店としての業務を行っている。 また、レンタカー業務も行っている。			
環境の取組全般について	2011年6月より京都三菱自動車販売株式会社とともにEA21認証取得。EA21取得のきっかけは、社会的に環境の取組が必要になってきた事と、ISOよりも項目が少なく取り組みやすいと考えたため。 電気自動車i-MiEVの販売をしており、商用のバン型の電気自動車販売も行っていく予定。電気自動車はガソリン車と比べると初期投資の額が大きいが、音が静かで燃料コストがガソリンに比べて約3分の1(iと比較)低いというメリットがあり、家のコンセントでも充電可能である。社会的なインフラがまだ整っておらず、急速充電器の整備も充分ではないが、今後、例えば道の駅などでも充電できるようになれば広がっていくのではないかと考えている。 震災時の経験から、三菱自動車では車の電源でお湯を沸かす等、車を電源として使用できるような仕組みを開発中。			
グリーン購入の取組について	取組方法	滋賀県の登録制度「GPプラン滋賀」STEP1に登録。GPプラン滋賀の登録はグリーン入札の参加資格として必要だったため行った。 また、EA21を認証取得しており、名刺にEA21認証取得のマークを載せる等してPRしている。EA21の規格に従って環境方針を策定しており、その中でもグリーン購入について触れている。 購入の判断基準は、GPNのエコ商品ネット掲載がある事としている。また、グリーン購入についての記録を付け、購入率を算出している。GPプラン滋賀の報告時に併せて年間の購入実績を確認し、取組の見直しを行って次年度の目標を決めている。価格を見ながら、環境配慮型商品があるものはできる限り環境配慮型商品を購入するよう努めている。 物品の購入は各支店からの発注情報を本社大津で集約して一括購入し、各支店へ振り分けている。 カタログや注文書等については、全国の三菱自動車共通で使用しているため、本社から送られてくる指定のものを使用している。		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 環境方針</li> <li>・取組の範囲 全社的に取り組んでいる</li> <li>・判断基準 あり</li> <li>・実績把握 あり</li> <li>・対象品目 紙類、トイレットペーパー、紙製事務用品、文具類</li> </ul>		
		外部公表 HPにて環境方針を公表している。		
		取引先等への啓発等 顧客への啓発については、自社で扱う電気自動車を顧客に勧める事が、環境配慮型商品の啓発を行う事になると考えている。		
		従業員への研修・啓発等 従業員への環境教育は今後していく予定。グリーン購入についても各拠点の店長に資料を配布し、従業員を教育するという方法で進める予定で、そのための資料を作成中である。GPプラン滋賀の研修会の際に配布された資料等を参考して作成をする予定。 GPプラン滋賀の基礎研修会・実践講座に参加して情報を得ている。滋賀GPN以外の外部研修会には特に参加していない。		

	<b>効果と負担 今後の展望</b>	今は、事務用品を中心に取り組んでいるため、それを取り扱っている1社から情報を得るだけだが、事務用品以外の分野もどのような環境配慮型商品があるのか知りたい。そのような意味でも、グリーン購入の情報提供事業者のリストがあると買いややすくなると考えている。 以前から比べると環境配慮型商品と普通の商品のコスト差は少なくなっているものの、未だ、本当はリサイクル商品を買いたいが、コスト差がありすぎて買えないという場面がある。
	<b>その他</b>	担当者個人としては、マイバック持参の個人の生活の中での取組を、本人が意識して実践する事が大事だと考えている。また、今はスーパー等で見ているとほとんどの人がマイバックを持参しているような状態なので、かなり浸透していると感じている。以前はよく道路に捨てられたビニール袋が舞っていたりするのを見たが、最近少なくなったように思う。



外観



全員が携帯している環境方針



電気自動車 I-MiEV



メーターでエコドライブのスピードがチェック可能



電気自動車の急速充電器



3 6	株式会社新聞素材				
所在地	滋賀県大津市枝 2-10-27	従業員数	10 人		
業 種	その他	取材日	2011 年 7 月 4 日		
対応者	ゼネラルマネージャー 増田善行様				
事業内容	社名のとおり、「新聞古紙を使って製造された製品」を扱っている。新聞古紙 100%にこだわって作られた紙製品は独特の色合いで、古紙である事がわかりやすい。取扱い商品には名刺、封筒、紙袋等があり、名入れ加工も請け負う。				
環境の取組 全般について	事務用品等を購入する際は積極的に環境配慮型商品を選んでいる。県内で商品を作り、県内のお客様をメインのターゲットにする事で、運搬にかかる CO <sub>2</sub> を削減している。				
グリーン購入の取組について	取組方法	<p>判断基準は環境ラベルが有る事としている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 なし</li> <li>・取組の範囲 全社的</li> <li>・判断基準 あり</li> <li>・地産地消の推進 備品などは、丈夫な国産を選んでいる。</li> <li>・実績把握 なし</li> <li>・対象品目 紙類、特に決めていない</li> </ul>			
	外部公表	会社入口に GPN シンボルマークを掲載している。			
	取引先等への啓発等	新聞古紙商品を購入して利用してもらう事が、グリーン購入につながるとお客様に伝えている。新聞古紙ならではの色合いなので、利用していただく事が環境意識を高めるきっかけになるとを考えている。			
	従業員への研修・啓発等	朝礼等で、個人生活の中でも環境に良いものを選んで購入するように全従業員に伝えている。			
	効果と負担 今後の展望	<p>滋賀 GPN が開催する実践講座や総会で色々な企業のグリーン購入の取組について聞きたい。</p> <p>「環境に良いので高いけど購入する」のでは購入しにくい。「環境に良いので高い」ではお客様の決め手にはならないので、低コストにする努力が必要だと考えている。自社製品は印刷を共同作業所さんと提携し、封筒と印刷を組み合わせる事で安く提供できるよう考えた。障害者雇用の促進という意味もある。また、「この商品を購入する事で、CO<sub>2</sub> をこれだけ削減できた。」という事が分かると良いと考える。たった 1 枚の封筒を使ったところで小さな 1 歩にしかならないので、効果を積み重ねていく事が必要だと思う。ただ、現状では効果を調べる事だけでも大変だという印象だ。</p>			
滋賀GPNについて	<p>滋賀 GPN 会員（2011 年より）</p> <p>入会後、総会に出席して多種多様な企業の取組を聞いた。大企業だけでなく、中小企業も少しづつでも取り組む事で変わることを感じた。</p>				
その他	新聞古紙で作られた封筒や名刺への印刷を「ねっこ共同作業所」に依頼し、障害者の雇用機会創出にも貢献している。滋賀県内で回収した新聞古紙で封筒等の製品を製造し、県内企業に提供する事で、地域における資源循環システムの構築と地産地消の推進に取り組みたい。				



会社看板



ヒアリング風景



自社製品封筒



37	株式会社スズキ自販滋賀		
所在地	滋賀県大津市秋葉台 5-10	従業員数	194 人
業種	卸売業	取材日	2011年11月4日
対応者	管理部 部長 河井好秀様		
事業内容	四輪新車・中古車の販売・修理。自動車部品の販売 福祉車輛（電動車いす：セニアカー）の販売・修理		
環境の取組全般について	<p>滋賀県で行っている「GP プラン滋賀」STEP1に登録。登録のきっかけは入札資格を得るため。</p> <p>顧客に対して、エコドライブやアイドリングストップ等の燃費向上のためのアドバイスを行っている。また、環境負荷の少ない製品を適切に選択するための情報提供や、エコドライブのアドバイス等を行う「環境マイスター」の取得を進めている。今後は環境マイスターを各店舗に2名ずつ配置する予定。</p> <p>オフィスでは不必要的照明をこまめに消す等、節電の取組も行っている。</p>		
グリーン購入の取組について	取組方法	<p>全社的に環境負荷の少ない製品の購入を心がけている。県内に9店舗があるが、事務用品等は各店舗から必要な商品のリストを本社に提出し、本社が一括購入して専属の運送屋にて各店舗へ届けている。すぐに使用する洗剤やごみ袋等の日用品は各店舗で購入するが、その場合も環境負荷の少ない物品の購入をそれぞれの店舗で行っている。</p> <p>判断基準は、事務用品は環境ラベル表示がある事、照明やパソコンなどは省エネ機器である事としている。</p> <p>グリーン購入の取組を始め、実績を付け始めた事でトイレットペーパーの環境配慮型商品の割合が半分から100%になった。洗剤を環境配慮のものに、照明を省エネ機器にと、切り替えが進んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 なし</li> <li>・取組の範囲 全社的</li> <li>・判断基準 あり</li> <li>・地産地消の推進 国産を積極的に購入（主に事務用品）</li> <li>・実績把握 なし</li> <li>・対象品目 紙類、トイレットペーパー、紙製事務用品、文具類、プリンタ、パソコン、照明</li> </ul>	
	外部公表	<p>HP等には特に掲載していないが、機会があるごとにグリーン購入の取組を公表している。</p> <p>親会社にも年1回全体の報告をする中で、グリーン購入の取組についても報告している。グリーン購入の取組は全国的にも珍しいと言われる。</p>	
	取引先等への啓発等	主に事務用品についてだが、取引先にグリーン購入の取組を伝え、環境負荷の少ない商品があれば情報提供するよう求めている。	
	従業員への研修・啓発等	月に一度、各店舗の店長や役職者が集まる会議があり、その際にグリーン購入について説明を行った。会議参加者が各店舗に持って帰り、従業員に伝達研修を行う。	

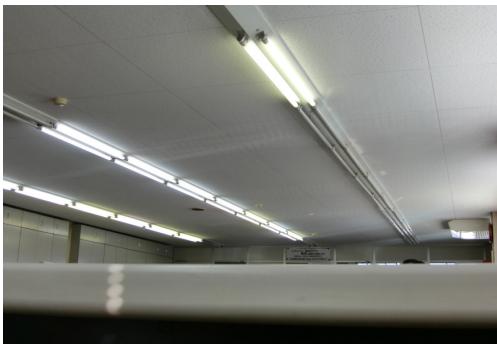
	<b>効果と負担 今後の展望</b>	<p>コピー用紙やFAX等比較的高い価格帯の環境配慮型商品が掲載されているようなカタログがあると良い。          他の会社ではどのように取り組んでいるのか知りたい。また、情報交換ができる場があれば良いと思う。          グリーン購入をした結果の効果（例えばCO<sub>2</sub>を何kg減らせるか等）が目に見えてわかると良い。          特にコピー用紙や照明類を買う際に、環境配慮型商品と通常品の価格差があるように思うので、その差が縮まるとより買いややすくなる。</p>
<b>滋賀GPNについて</b>	<b>GPプラン滋賀に登録しているので滋賀GPNの事は名前も取組内容も知っています。</b>	



外観



ヒアリング風景



オフィスでの節電の様子



38	株式会社スマイ印刷				
所在地	滋賀県栗東市川辺 568-2	従業員数	50 人		
業種	印刷・印刷関連	取材日	2011年8月22日		
対応者	営業部 人事総務担当 川崎寿子様				
事業内容	<p>総合印刷業（デザイン、企画、製作、印刷、製本）。チラシ・ポスター・記念誌・広報誌・ガイドブック・マニュアル・カタログ・パッケージ・POP・名刺・封筒・看板・のぼり・横断幕等、印刷物全般を取り扱う。なかでも顧客の課題を解決する企画提案に力を入れている。</p>				
環境の取組全般について	<p>滋賀県の登録制度「GP プラン滋賀」STEP1 に登録。石灰石から抽出された環境に優しい無機鉱物を主な原料とした紙、ストーンペーパーを取り扱っている。ストーンペーパーは、原料に木材チップやケナフなどを一切使用しないため、製造時に森林を伐採しない。さらに、製造時に水を使用しないので排水を出さず水資源の保護にも大きな役割を果たす。デジタル製版システム CTP (Computer To Plate) を導入している。フィルムを使用しない事から製造の一工程を減らす事ができ、発生する廃棄物の削減につながっている。また現像液の濃度管理を行う事で余分な廃液を出さず、原材料をムダ遣いしない工夫をしている。</p> <p>また、従来のコーティングとは違って分別処理のいらない、そのまま焼却できるエココーティングという技術を利用している。他にも、試し刷りを減らす事で資源の無駄遣いを無くすよう努める等、本業を通じて様々な取組をしている。ISO14001 認証取得へ向けて取組を始めている。夏場もエアコンは使用せず、扇風機の使用と窓を開けて風通しをよくする事で過ごしている。昼休憩時は社内の半分の照明を消灯している。</p>				
グリーン購入の取組について	取組方法	<p>グリーン購入目標を掲げて、毎月グリーン購入実績を集計している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 ISO 等のグリーン購入手順書</li> <li>・取組の範囲 全社的</li> <li>・判断基準 あり</li> <li>・実績把握 あり</li> <li>・対象品目 トイレットペーパー、文具類、プリンタインク</li> </ul>			
	外部公表	HP にて公表している。			
	取引先等への啓発等	吉村印刷様に滋賀 GPN を紹介した。（2011年度総会にて滋賀 GPN より感謝状贈呈。）			
	従業員への研修・啓発等	消耗品等の購入時には環境ラベル表示のあるものを選ぶよう呼びかけている。今後はマイバックやマイ箸の呼びかけを実施する予定。 社内に「スマイ印刷の環境にやさしいエコな取り組み」啓発ポスターを掲示している。			
	効果と負担 今後の展望	滋賀 GPN の担当に就いたばかりなので今後、グリーン購入について、基礎から学び取り組んでいきたい。また、他社でどのようなグリーン購入の取組を行っているか知りたい。			
滋賀GPNについて	<p>滋賀 GPN 会員（2001年より） 滋賀 GPN の会員になった事で、意識して環境配慮型商品を選ぶようになった。また、滋賀 GPN の総会で商品展示に参加した事で、他の企業の方に自社製品を紹介できてよかったです。</p>				
その他	季節感を表現したカレンダーを取引先等へ送付している。				



外観



ヒアリング風景



社内啓発ポスター



ストーンペーパーコースター



←季節のカレンダー→



3 9	株式会社そごう・西武 西武大津店		
所在地	滋賀県大津市におの浜 2-3-1	従業員数	211 人
業 種	小売業	取材日	2011 年 9 月 8 日
対応者	総務部 総務担当 橋本竜二様		
事業内容	百貨店を 27 店舗展開。 (店舗はそごう・西武・ロビンソンの 3 ブランド)		
環境の取組 全般について	<p>ISO14001 を百貨店の中で 1 番初めに認証取得した。</p> <p>環境・社会活動報告書 (A4 三つ折り) を作成、各店舗に設置し、一般の方にも閲覧できるようにしている。</p> <p>紙袋の使用枚数削減をはじめ、簡易包装を進めており、簡易包装をお勧めする場合のマニュアルもある。ギフトを多く取り扱う事から全てを簡易包装にする事はできないが、構わないというお客様には簡易包装に協力いただいている。</p> <p>毎年、地域の方々と一緒に「打ち水大作戦」を行っている。膳所駅からときめき坂を通って西武大津店まで、地域のスポーツ少年団や地球温暖化防止活動推進員と共に実施しており、打ち水によって約 2℃ 温度が下がると言われている。</p> <p>事務所の照明には一つひとつスイッチをつけ、必要ないところは消す事ができるようにしている。</p> <p>ゴーヤカーテンをテラスで栽培している。</p> <p>照明についてはお客様が不便を感じないように、テラスやバックヤード等で間引き照明をしている。夏場の空調は 28℃ 設定にし、試着室等は扇風機を設置するなど場所に合わせた暑さ対策をしている。</p>		
グリーン購入の取組について	取組方法	<p>全社共通の発注システム使用により、環境負荷の低いものを選ぶようになっている。物品の選定は Web のリストから選ぶ形になっていて、例えば自動車には車種の指定があり、バン・乗用車とも 1 種類ずつ指定されているものを購入している。改修時より店舗の一部に LED 照明を使用している。</p> <p>女性従業員の制服は再生ペットを使用したものを支給している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 なし</li> <li>・取組の範囲 全社的</li> <li>・判断基準 なし</li> <li>・地産地消の推進 食品関係で地産地消に取り組んでいる。店舗によっては地元産の食品を使った商品開発や朝市で地元の野菜を並べる等の取組を行っている。</li> <li>・実績把握 なし</li> <li>・対象品目 紙類、トイレットペーパー、外注印刷物、紙製事務用品、文具類、コピー機、自動車、照明、事務服、制服、トナー</li> </ul>	
	外部公表	HP で公表している。	
	取引先等 への啓発等	<p>取引先にはグリーン購入を推進している事を伝え、環境配慮型商品の提案を要請している。</p> <p>お客様に対してはギフト時の簡易包装をお願いし、配送数から簡易包装の数をカウントして、簡易包装 4 千件ごとに 1 本の植樹・育樹を行っている。</p> <p>取引先業者は本部で環境配慮事業者を選定している。</p>	

	<b>従業員への研修・啓発等</b>	正社員にはe-ラーニングで、その他社員にはDVDで、環境に関する研修を行っており、毎週の環境朝礼は「環境テーマ」、「環境ニュース」に基づいて行っている。 個人の生活の中でできる取組については、普段の業務の中でそれぞれが行うようしている。また、セブン&アイグループとして行っている「エコチャレンジ」の取組への個人参加を従業員に促し、各家庭で15%の節電を目指した取組を行った。 マイバッグ持参については担当者自身も持参しているし、従業員もかなり行っているように感じている。 外部研修として、ごみ減量と資源再利用推進大会に参加している。
	<b>効果と負担 今後の展望</b>	グリーン購入の推進のためには、コストと環境のバランスを考える事が大切で、コストパフォーマンスが良くなると良いと考えている。 ギフトを簡易包装にする事で配送が1~2日早くなる等の良い点もあるので、お客様との意思疎通を図りながら進めていく事が大切だ。
	<b>滋賀GPNについて</b>	滋賀GPNについては今回の取組アンケートで知った。



外観



事務所の蛍光灯にはそれぞれスイッチをつけ  
必要な部分のみ使用できる



店舗に設置している環境報告書



40	大日本スクリーン製造株式会社 彦根地区事業所		
所在地	滋賀県彦根市高宮町 480-1	従業員数	約 1,100 人(彦根地区事業所)
業種	製造(精密機械)	取材日	2011年7月15日
対応者	副事業所長 植田光央様 彦根総務課 課長 藤田昌明様 彦根総務課 係長 木戸浩明様		
事業内容	半導体やフラットパネルディスプレイ等の電子業界向け製造装置、印刷・製版関係の画像処理機器等の製造を手掛ける。半導体製造に使用する洗浄装置は世界トップシェアを維持し、テレビや携帯電話の液晶に関する大日本スクリーン製造株式会社の製品で製造されたものが多い。		
環境の取組 全般について	ISO14001は1997年2月に本社から認証取得し始め、全社に展開、2009年にはスクリーングループとして統合認証を取得した。エネルギー・マネジメントシステムのISO/DIS50001は世界で初めて2010年7月に洛西事業所が認証取得し、現在では国内主要事業所に拡大して認証取得済み。 提供する製品は、製造工程で使用するエネルギー・化学薬品、純水等の使用量を削減して、環境負荷を小さくするように商品化している。独自の評価基準をクリアした自社製品を「グリーンプロダクト」と認定し、2011年3月期には全売上高に占める割合50%以上を達成した。工場からの排水は排水処理設備で綺麗にしてから排出する等、多方面で環境保全活動を行っている。 製品を構成する部品や材料に関しては、独自のグリーン調達基準を定めて調達している。文房具等では環境配慮型商品を明示した専用カタログで購入しており、発注書で環境配慮型商品をチェックする仕組みをとっている。また、環境配慮型商品の記載が無い場合は、発注依頼部署へ連絡し環境配慮型商品への交換の可能性について確認を徹底している。		
グリーン購入の取組について	取組方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 スクリーングループ グリーン調達基準</li> <li>・取組の範囲 全社的(スクリーングループ)</li> <li>・判断基準 あり</li> <li>・実績把握 あり</li> <li>・対象品目 製品を構成する部品・材料、事務に使用する紙類・文具類</li> </ul>	
	外部公表	HPや経営レポート(環境を含めた経営状況全般を記載)にて公表している。	
	取引先等への啓発等	自社HPには「スクリーングループ グリーン調達基準(第7版)」を掲載中。また、経営レポートにもグリーンプロダクト拡大を掲載。	
	従業員への研修・啓発等	通勤時の公共交通機関利用を促進するため、2008年に近江鉄道の「スクリーン駅」を構内につくった。また、金曜日だけでもマイカー通勤から公共交通機関利用に切り換えてもらうため、ワンコインエコパス制度を活用している。現在600人以上が公共交通機関利用で通勤している。 従業員が文具の購入をする際に「エコマークの付いているものを購入するように」等の業務通知を出し、社内の会議等で環境情報を提供している。また、グリーン購入に関する規定は、インターネットで全社員が閲覧できるようになっている。	
	効果と負担 今後の展望	環境配慮型商品のバリエーションが増えると良い。	
滋賀GPNについて	滋賀GPN会員(2009年より) 滋賀GPNに加入している事を、他社へアピールしていきたい。		



外観



ヒアリング風景



スクリーン駅



4 1	株式会社大和		
所在地	滋賀県長浜市下坂浜町 98 番地の 1	従業員数	13 人
業 種	建設	取材日	2011 年 9 月 4 日 (Mail)
対応者	総務・経理課 総務部長 大神博子様		
事業内容	工場・倉庫・事務所・一般住宅等新築工事及び改修工事など建築業全般。		
環境の取組全般について	<p>エアコンの設定温度夏季 28°C、冬季 22°C を周知徹底するため、エアコンのスイッチ部分を担当者以外が操作出来ないようガムテープで覆う等工夫している。</p> <p>5 年前に会社内全ての電球を蛍光灯から LED 電球に取り換えた。</p> <p>社内資料等をコピーする場合は、裏紙使用を徹底している。</p>		
グリーン購入の取組について	取組方法	<p>ISO14001 の環境マニュアルの基本方針の中に「グリーン購入の促進」という条文が謳われている。そのため、社内の従業員全員に消耗品等購入するときは必ず環境配慮型商品を選ぶよう総務より指導している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 グリーン購入に関する方針</li> <li>・取組の範囲 全社的</li> <li>・判断基準 なし</li> <li>・地産地消の推進 社長のモットーが「地産地消」なので出来るだけ地場商品（米・野菜・花・肉・衣類・ガラス製品等）を購入している。</li> <li>・実績把握 あり</li> <li>・対象品目 紙類、トイレットペーパー、ティッシュペーパー、紙製事務用品、文具類、プリンタ、パソコン、エアコン、照明、作業服、事務服、制服</li> </ul>	
	外部公表	HP にて公表している。	
	取引先等への啓発等	<p>作業服等を購入する場合、取引先に環境配慮型商品の紹介を求め、用途に対応した商品を選ぶようにしている。</p> <p>取引先選定については、供給者（取引業者）評価記録にて選定している。例えば、ISO14001 の認証取得の有無等の情報を記録している。</p>	
	従業員への研修・啓発等	<p>今後、全従業員が参加する毎月の月初会議の場でグリーン購入の指導を行っていこうと考えている。</p> <p>外部研修会への参加については、メールや郵便物、ポスターの配布により研修会の情報を得て参加している。</p> <p>また、従業員（主に女性）には、買い物をする際にマイバッグや指定のショッピングカゴを持参するよう推奨している。</p> <p>社内ではごみの分別を確実に実践している。</p>	
	効果と負担 今後の展望	今後、社有車の乗り換えの際は、エコカーの購入を検討している。	

42	タカシマ電工株式会社		
所在地	滋賀県高島市安曇川町田中 946	従業員数	21人
業種	製造（電気機器）	取材日	2011年10月6日
対応者	営業部 部長 坂田幸隆様		
事業内容	冷凍機、高速道路表示板、散水ポンプ盤、デジタル表示板等、機械を動かすための制御盤（電気ボックス）の設計・製造。自社製品はないが受注生産している。		
環境の取組全般について	お客様の要望もあり、製造で使用される部品の一部（ブレーカー等）で環境配慮型商品を使用している。また、製造で使用する部品（ビス、取付金具）などは、RoHS 指令に合致した製品にしている。 紙の分別、裏紙使用、節電は日頃から心がけている。		
グリーン購入の取組について	取組方法	製造に使用する部材は、環境配慮型商品を優先して購入している。判断基準は環境ラベル表示が有る事としている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 なし</li> <li>・取組の範囲 全社的</li> <li>・判断基準 なし</li> <li>・地産地消の推進 製品に使われる部品は日本製品を使用</li> <li>・実績把握 なし</li> <li>・対象品目 紙類、トイレットペーパー、紙製事務用品</li> </ul>	
	外部公表	特になし	
	取引先等への啓発等	部材を外注にする際には、環境配慮型部材がある事を伝えて、その部材の使用が可能であれば優先して使用している。逆に、お客様から環境配慮型商品の要望があれば対応している。 代理店を通じて部材の購入をしているが、環境の取組を行っている代理店を選んでいる。	
	従業員への研修・啓発等	将来的に、受注元からの環境配慮型商品使用の要望や環境配慮型部材が増えると思われる所以、全従業員が対応できるような仕組みにしていきたい。 自宅で不要になった紙も会社に持ち込んでリサイクルに出している。従業員に自宅でも裏紙を使用するように指導している。	
	効果と負担 今後の展望	製造に使用する部材について、全ての環境配慮型商品の情報を得て利用したい。また、お客様に環境配慮型商品を提供した場合、環境負荷低減がもたらす効果について詳しく知りたい。今後、お客様に対してグリーン購入について説明する機会が増えてくると考えられるので、グリーン購入に関する情報を得たいと考えている。	
滋賀GPNについて	名前も、取り組んでいる内容も知らなかつたが、今回の調査で知る事ができた。		



外観



ヒアリング風景



4 3	<b>たち建設株式会社</b>		
所在地	滋賀県栗東市六地蔵 1103 番地の 2	従業員数	56 人
業 種	建設	取材日	2011 年 10 月 27 日
対応者	工事部 次長 東出康彦様 営業部 主任 三木武男様 営業部 三浦文子様		
事業内容	<p>総合建設業（土木、建築、舗装）。兼業で、採石業、倉庫業を営んでおり、その中で、土木業の割合が一番高い。採石業では、道路の基礎材となる碎石や山土砂の販売を行っている。</p> <p>また、産業廃棄物の中間処理業にて製品化した、リサイクル製品（再生コンクリート碎石）も販売している。</p>		
環境の取組 全般について	<p>2011 年に EA21 を認証取得。EA21 の規格に沿って目標を立て、電気や燃料の使用量削減等の取組を行っている。大型の重機を使用する必要があるため、どうしても油の使用が多くなってしまうが、無駄な暖機や空ぶかしをやめて効率よく燃料を使用するよう気を配っている。</p> <p>採石業を営む上で、山を崩して環境破壊する反面、植栽をして元通りにすることで、環境保全に取り組んでいる。建設業界では CSR 活動が重視されており、県の入札要件の一つとしても環境の取組が挙げられているため、逆に取り組まなければ取り残されてしまうと考えている。EA21 認証取得のきっかけの一つにそういった建設業界の流れがある。</p> <p>EA21 に取り組み始めた結果、使用するエネルギーの削減ができた。特に水道や現場で使用する燃料の削減に効果があった。</p>		
グリーン購入の取組について	取組方法	<p>まだ EA21 を認証取得したばかりなので、グリーン購入については実績の把握を始めたところ。文具等備品の注文は通信販売等を利用するが多く、エコマーク等の環境ラベルを参考して購入している。木材は基本的に滋賀県産の物を使うようにしている。逆に、入札の際にも滋賀県産の材料を指定される場合がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 EA21 環境方針・目標設定</li> <li>・取組の範囲 全社的</li> <li>・判断基準 なし</li> <li>・地産地消の推進 滋賀県産を積極的に購入している</li> <li>・実績把握 あり</li> <li>・対象品目 紙類、紙製事務用品、文具類、ファクシミリ、プリンタ、コピー機、パソコン、テレビ、作業服、資材</li> </ul>	
	外部公表	環境活動レポートを EA21 の HP で公開し、環境方針等を公表している。	
	従業員への研修・啓発等	<p>従業員への研修として、EA21 認証取得時に各部署でグリーン購入に取り組むよう呼びかけを行った。</p> <p>月に一度朝礼を行っているが、朝礼の場所に電気・水道・燃料等の使用実績（削減実績）のグラフを掲示し、従業員が結果を把握できるようにしている。</p> <p>外部研修会としては EA21 の勉強会を何度か受講した。また、9 月に滋賀 GPN のグリーン購入セミナーを受講した。</p>	
	効果と負担 今後の展望	<p>今は取り組み始めたばかりなのでグリーン購入実績の把握と、グリーン購入率を出しているだけだが、取組で減らせる CO<sub>2</sub> の量が目で見てわかるようになれば、さらに取り組みやすくなると考えている。</p> <p>現場で使う材料をコンクリートの二次製品やリサイクル製品を使用すると価格が高くなってしまう傾向があるので、価格の差がなくなれば、より取組を進めやすくなり効果が出ると考えている。</p>	

滋賀GPNについて

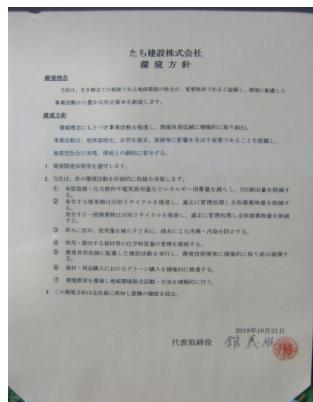
取組アンケートが送られてきた際にパンフレットを見て滋賀 GPN を知った。



外観



ヒアリング風景



環境方針

44	田中建材株式会社				
所在地	滋賀県高島市今津町今津 1677 番地 14	従業員数	13人		
業種	建設	取材日	2011年9月13日		
対応者	代表取締役 田中稔様				
事業内容	建設業（土木一式）、解体業。				
環境の取組 全般について	<p>EA21を認証取得している。建設物を解体してできた廃材を木材チップにし、木質加熱アスファルトとして再利用している。木質加熱アスファルトは、弾力性・保水性・断熱性・軽量化等の効果があり、公園の歩道、屋上緑化の舗装等に使われる。</p> <p>数十年前から節電を行っている。事務用品、作業服は環境配慮型商品（エコマーク、グリーン購入法適合等）を選んで購入している。エコフォスター制度にも始まった当初より取り組んでおり、朝の始業前にごみ拾い・草取りを行っている。</p>				
グリーン購入の取組について	取組方法	<p>判断基準は環境ラベルが有る事としている。インターネットで発注するが多い。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 環境方針</li> <li>・取組の範囲 全社的</li> <li>・判断基準 あり</li> <li>・地産地消の推進 名刺の素材を琵琶湖のヨシを利用した「レイクパピルス」を使用している。</li> <li>・実績把握 あり</li> <li>・対象品目 紙類、トイレットペーパー、ティッシュペーパー、外注印刷物、紙製事務用品、文具類、作業服、資材、事務服、制服</li> </ul>			
	外部公表	HPにて掲載している。			
	取引先等への啓発等	取引先への支払時に滋賀GPNへの入会案内を配布している。また、エコマークを取得した自社製品の販売営業活動がグリーン購入の啓発活動につながると考え、取り組んでいる。			
	従業員への研修・啓発等	従業員研修としては毎月給料日に全体会議を行い、社長から環境配慮に関する話をしている。年に1回定期的に行う安全講習の後にグリーン購入に関する研修も行っている。また、滋賀GPNから発行されるニュースレターを社内で回覧している。			
	効果と負担 今後の展望	グリーン購入を実践する「習慣」が必要である。習慣がつくまでは、社内での声掛けと行動、教育を繰り返す以外方法はないと思われる。喉が乾けば水を飲むように当たり前でありながら、無ければ死んでしまうその水がグリーン購入であり環境に関する活動と考えている。			
滋賀GPNについて	<p>滋賀GPN会員（2001年より）</p> <p>GPNの目指しているものと、自社の環境への意識が一致した事、また、自社のさらなるレベルアップのために滋賀GPNの入会を決めた。以前は事務用品等の購入に際して価格だけで選んでいたが、現在では環境配慮型商品であるか確認し購入するようになった。</p>				
その他	<p>代表取締役社長と営業担当者の名刺には、点字が記載してある。</p> <p>「高島・森林（もり）と住まいのネットワーク」に参加しており、市内の小学生を対象に森林の勉強会として、伐採見学、間伐体験、地球温暖化防止の講習会や、森林の中に建つ夢の家づくりの絵画の教室、作品発表会などを行っている。</p>				



外観



木質加熱アスファルト施工路



廃材チップ



木炭



森林の勉強会



作業服  
(エコマーク商品)



4 5	<b>東レ株式会社 滋賀事業場</b>		
所在地	滋賀県大津市園山一丁目1番1号	従業員数	約1,800人
業種	製造(化学)	取材日	2011年8月4日
対応者	環境保安課 環境保安課長 近池知子様 業務部 業務課長 北西耕一様		
事業内容	ナイロン、プラスチック等の繊維製品、プラスチック製品、フィルム、情報機器に使われる素材等の製造。家庭用浄水器「トレビーノ」の製造。		
環境の取組全般について	<p>1969年に、滋賀事業場では安全衛生環境委員会を立ち上げて、環境の取組を進めている。部署ごとに目的・目標を決め、技術部門では「技術開発を進める」等、部門に合わせたものとして取り組んでいる。</p> <p>取組の主な項目としては、大気汚染防止、省エネの推進、水質汚濁防止、廃棄物削減等がある。省エネの取組としてはガスコジェネレーション設備を設置しCO<sub>2</sub>排出量を大幅に削減した。また、少なくとも20年前から、夏季のエアコン設定温度を28℃にし、使わない照明の消灯に取り組んでいる。</p> <p>水質汚濁防止の取組としては、2009年に微生物の働きを利用したMBRという仕組みの排水処理設備を設置した。これは省スペースである事と、濾過と有機物分解を同時にやって水質を浄化する点が特徴である。東レでは、滋賀事業場以外の工場でも同じものが設置されている。</p> <p>環境の取組は企業として当然の事という意識で行っている。大正15年から市街地および琵琶湖に隣接した場所で操業している事もあり、周囲に迷惑をかけてはいけないという思いがベースにある。特に水質に関しては、規制値よりも厳しい値を設定して水質改善に取り組んでいる。そのほか、7月1日の琵琶湖一斉清掃に参加する等、地域の活動にも積極的に参加している。</p>		
グリーン購入の取組について	取組方法	<p>1999年にISO14001を認証取得。水質等の点から敷地内全てを適用範囲としているので、敷地内の関連会社全てでISO14001の取得している。</p> <p>購買に関しては、本社資材部が一括で購入している。資材部で選定した備品のカタログがあり、そこから選ぶと優先的にグリーン購入になるような仕組みになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 ISO等のグリーン購入手順書</li> <li>・取組の範囲 全社的</li> <li>・判断基準 あり</li> <li>・実績把握 あり</li> <li>・対象品目 紙類、トイレットペーパー、紙製事務用品、文具類</li> </ul>	
	外部公表	<p>HPにて公表している。東レの購買基本方針にグリーン購入をするという事を明記している。また、CSR調達方針でも記載している。</p> <p>サプライヤーへの調達アンケートを年に一回行っている。</p>	
	取引先等への啓発等	<p>本社一括で調達して、グリーン購入できる仕組みができているので敢えて啓発という事はしていない。年に一回、主だったサプライヤーを集めてグリーン購入を要請する説明会を行っている。基本的に、基準にあったところ、環境の取組をしているところと優先的に取引をしたいと考えている。</p>	
	従業員への研修・啓発等	<p>滋賀県環境保全協会の会員であり、協会より定期的に案内がくるので、見学会や研修会に参加している。滋賀事業場で見学会を行った事もある。</p> <p>月に一度、従業員全員が集まるときに情報を出すようにしている。また、購入の窓口が一つなので、選ぶときは環境ラベル表示があるものを選ぶように話をしている。また、従業員に対して、マイバックを持ち歩く事等を呼びかけていたが、最近は主婦の間でだいぶ浸透するようになったと感じている。</p>	

	<b>効果と負担 今後の展望</b>	グリーン購入を推進した場合に、CO <sub>2</sub> がこれだけ削減できる等の情報が提供できることで、従業員や一般の方にもわかりやすくなり、グリーン購入の取組が進むのではないかと考えている。
	<b>滋賀GPNについて</b>	以前から名前も取組内容も知っていた。

46	東レテクノ株式会社				
所在地	滋賀県大津市園山1丁目1番1号	従業員数	約45人		
業種	サービス	取材日	2011年8月5日		
対応者	総務部 総務課 課長 寺戸茂弥様				
事業内容	<p>東レ事業場の研究開発部門から独立して発足。水質の検査、水圏環境での課題に対しての企画、提案、調査分析、解析・報告。</p> <p>生活圏環境に関しては大気・臭気・排ガス分析。</p> <p>土壤汚染に関しては調査、騒音・振動測定、作業環境測定、バイオマス利活用・支援業務、グリーン調達およびリサイクルに関する微量成分分析。</p>				
環境の取組 全般について	<p>滋賀県と共同で、琵琶湖の COD（化学的酸素要求量）の上昇原因追究と、その対策のための調査を行った。</p> <p>1999年に東レ事業場全体で ISO14001 認証取得。滋賀事業場全体で廃棄物の削減、日常使用する文房具は環境配慮型商品の購入をしている。</p> <p>毎月、節電・節水を心がけ、使用量を記録し集計している。</p>				
グリーン購入の取組について	取組方法	<p>商品を購入する際は、東レが購入している商品（環境配慮型商品）を調べて、同じ商品を購入する事で自動的にグリーン購入ができる仕組みになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 なし</li> <li>・取組の範囲 全社的</li> <li>・判断基準 なし</li> <li>・実績把握 なし</li> <li>・対象品目 ティッシュペーパー、紙製事務用品、文具類</li> </ul>			
	外部公表	特になし			
	取引先への啓発等	今後、グリーン購入に取り組んでいる業者に積極的に発注していきたいと考えている。			
	従業員への研修・啓発等	<p>昼食時の消灯、毎週火曜日・金曜日の20時以降は社内消灯し、仕事を行う場合は手元のスタンドの照明を使用する事になっている。</p> <p>夏場は、外気温が30℃以上になってからエアコンを使用するようにしている。</p>			
	効果と負担 今後の展望	<p>環境に関して積極的に取り組まれている企業と取引をしたいので、今まで知らなかった業者を知りたい。環境に取り組んでいる企業の一覧があると良い。</p> <p>毎年長浜で行っているビジネスメッセのような場が増えると良い。</p>			
滋賀GPNについて	国の関係の仕事をしていたときに提出するレポートの中で、グリーン購入について記載する必要があり、そのときに滋賀 GPNについて詳しく知った。滋賀 GPNに加入している等を HP で公表している事で、発注や仕事の依頼を出しやすい。				
その他	2010年12月に開催された「グリーン購入シンポジウム in 滋賀」に参加した。今年もシンポジウム等があれば参加したいので情報が欲しい。				

47	トクデン株式会社 マキノ工場		
所在地	滋賀県高島市マキノ町寺久保 87	従業員数	120 人
業種	製造	取材日	2011年10月4日
対応者	資材部 部長 松本雄三様 資材部 購買係 係長 橋口喜丈様		
事業内容	様々な産業用途に使用される「誘導発熱ジャケットロール」の製造。繊維、紙、不織布、光学系フィルム、鉄、非鉄金属などの製造工程における熱加工用として広く採用されている。		
環境の取組全般について	ISO14001認証取得。ISO14001の規格要求事項に基づいて実施計画を立て、環境の取組を行っている。資材部では、環境配慮型商品の優先購入、不具合・不適合を少なくし、環境教育と併せて本格的にグリーン購入の分野に取り組んでいく計画を立てている。 主力製品である「ジャケットロール」はロール本体に電流が流れ、ロール自体が発熱する構造であるため、熱効率が良く、ジャケットロールを使う事で省エネ対策にも利用できる。		
グリーン購入の取組について	取組方法	物品の調達方法は、総務部門（管理部）で事務用品等を購入、製品に使用するものは資材部で購入する仕組みをとっている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 なし</li> <li>・取組の範囲 なし</li> <li>・判断基準 なし</li> <li>・地産地消の推進 製品に使用する原材料については、国産の方が品質が良い。その意味で国産のものを積極的に購入している。</li> <li>・実績把握 なし</li> <li>・対象品目 なし</li> </ul>	
	外部公表	特になし	
	取引先等への啓発等	原料等購入やその他取引は、あらかじめ決められた業者と取引を行うが、その中でどの業者と取引するかの選定は、基本的に不具合が少ないかどうかで決めている。	
	従業員への研修・啓発等	製品の原材料は資材部、事務用品の購入は管理部で行っているので、今後は合同で進めていきたい。 社外研修会としては滋賀GPNが2010年に高島で行ったセミナーに参加した。	
	効果と負担 今後の展望	今後の自社の取組につなげるために、グリーン購入の実践方法を学べる講座の受講やグリーン購入に取り組んでいる他企業の事例を聞く等していきたいと考えている。	
その他	CO <sub>2</sub> の排出量の算出方法を知りたい。また、輸送の際に排出するCO <sub>2</sub> の簡便な算出方法の資料があれば、ほしいと考えている。		



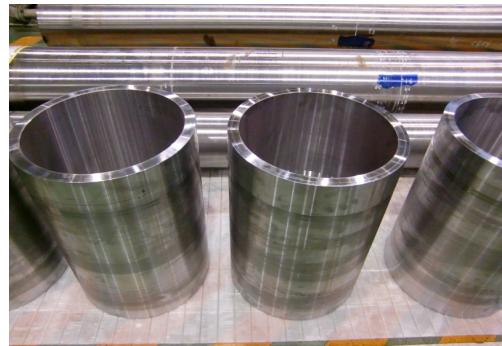
外観



工場内



主力製品 「ジャケットロール」



加工前の部品



48	トライヤ商事株式会社		
所在地	滋賀県彦根市銀座町5番4号	従業員数	14人
業種	卸売業	取材日	2011年7月19日
対応者	専務取締役 安居輝人様		
事業内容	制服、旗、カップ、ギフト関係、イベント関係の備品（テント、スタッフジャングル等）の小売・卸売。ひこにやんグッズ等の取扱や、veryカード（電報をあらかじめ登録する事により安く使える制度）の取扱いもしている。		
環境の取組全般について	2000年に、当時としては珍しい再生ペットボトルを利用した制服を米原高校に販売し、第3回グリーン購入大賞優秀賞を受賞した。当時より米原高校では、女子は100%再生ペットボトルの制服を着用している。（男子の制服は中学から継続して使う場合があるため100%ではない）今は再生素材の衣服も当たり前になってきているが、子供達に環境の事を学んでもらう良いきっかけになった。作業服に関しては、以前はエコマークが腕の外側の部分についていてわかりやすかったが、最近はマークを外側に表示しないものが多く、わかりにくくなつた事を残念に思っている。		
取組方法	<p>商品を販売する際には環境配慮型商品を薦めるようにしている。購入する場合も、事務用品、自動車、プリンタ、FAX等は環境配慮型商品を選ぶようにしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 なし</li> <li>・取組の範囲 全社的</li> <li>・判断基準 なし</li> <li>・地産地消の推進 購入時はなるべく国産を選ぶようにし、地元産がある場合は地元産を優先して購入している。</li> <li>・実績把握 なし</li> <li>・対象品目 紙類、トイレットペーパー、紙製事務用品、文具類、ファクシミリ、プリンタ、コピー機、自動車、作業服、事務服、制服</li> </ul>		
グリーン購入の取組について	外部公表	HPにて公表している。	
	取引先への啓発等	営業の際に、環境配慮型商品を紹介して販売するようにしている。営業車にも「グリーン購入をひろげよう」というステッカーを貼っている。また、彦根青年会議所が開催する研修会に参加したり、1年に1回エコをテーマにしたイベントを開催している。前回は彦根で環境への取組をしている方をパネリストに迎えてパネルディスカッションを開催した。	
	従業員への研修・啓発等	従業員を滋賀GPNや青年会議所等で開催されている勉強会に参加させている。朝礼で話をしたり、営業の教育の一環としてもグリーン購入について教えている。ごみの分別もきちんとるように指導している。特に研修をするわけではないが、普段の生活の中でもマイ箸・マイバック持参、いろいろなもの長く使う等、環境に配慮するよう従業員に呼び掛けている。また、お土産も地元・彦根産のものを購入し、持って行くようにしている。	
	効果と負担 今後の展望	<p>（グリーン購入についての）研修会を従業員に受けさせたい。また、他の企業の取組事例を聞きたいと考えている。</p> <p>以前の方がエコ商品に関心を持って、選んで購入していた。今はエコ商品が当たり前になってしまったので、逆に興味が薄れてしまったように感じる。また、「エコ商品」という表示だけを見て、どういう風に環境配慮なのかわからないまま購入している場合もあるので、関心を持ってもらえるような仕掛けが必要だと思う。</p>	

滋賀GPNについて	滋賀 GPN 会員（1999 年より・設立発起団体） 滋賀 GPN に入って社員が意識的に環境情報を手に入れるようになった。 入会のきっかけは滋賀県庁のエコオフィスから勧められたため。
その他	お客様に対してなるべく資源が循環するような提案を心がけており、納品した商品、例えば学生服であれば、卒業後使わなくなった学生服を回収してモップにする等、リサイクルを提案するようにしている。



外観



ヒアリング風景



リサイクル素材とリサイクル製品



リサイクル素材の制服



店頭に掲示している啓発ポスター



営業車後部の啓発シール



49	中村印刷株式会社		
所在地	滋賀県高島市勝野 197-1	従業員数	7人
業種	印刷・印刷関連	取材日	2011年10月6日
対応者	代表取締役 中村平次郎様		
事業内容	<p>紙への印刷業務。主に名刺・チラシ・はがき・伝票類。</p> <p>基本的に近隣からの注文が多く、地元に根差した経営をしている。</p>		
環境の取組 全般について	<p>業務内容が印刷なので、紙に関する取組が多い。印刷に使用する紙や封筒は、再生紙や環境配慮の素材を使用したものを利用を心がけている。昨今は企業イメージアップのために再生紙や間伐材を利用した紙を求められる事もある。</p> <p>高島市は他の市町村と比較して基準が厳しく、再生紙100%の利用を求められる。基本的には印刷に使用する紙は再生紙のものしか入れていない。</p> <p>印刷時にどうしても出てしまう紙の端材があるので、それらはリサイクル専門の業者に依頼してリサイクルしている。</p>		
取組方法	<p>滋賀県の登録制度「GPプラン滋賀」STEP1に登録。</p> <p>紙・封筒は再生紙を仕入れるようにしており、インクも大豆をはじめとした植物由来のインクを積極的に取り入れている。印刷に使用する機械も省エネタイプを選ぶようにしており、今後は廃液が出ないような機械を取り入れる計画を進めている。購入の際には、紙・封筒ともカタログに再生紙の配合率や環境ラベルが記載されているものがあるので、表示があるものから選んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 なし</li> <li>・取組の範囲 一部の部署</li> <li>・判断基準 あり</li> <li>・実績把握 なし</li> <li>・対象品目 紙類、紙製事務用品</li> </ul>		
グリーン購入の取組について	外部公表	特になし	
	取引先等への啓発等	<p>印刷を依頼された際には、再生紙を使用するよう勧めている。</p> <p>メーカーから直接買うのではなく、代理店を通して買う事が多い。環境問題に積極的に取り組む代理店を選ぶようにしているが、実際には業者よりも製品同士の比較になる場合がほとんどである。リサイクル製品でもメーカーによって価格が変わってくるのでその中で選ぶ事が多い。</p>	
	従業員への研修・啓発等	<p>節電の取組として使っていない機械のスイッチをこまめに切る。ごみの分別をしてリサイクルに回せるものはリサイクルに回す等、従業員に対して指導している。現在は行っていないが、従業員の個人の生活への呼びかけを今後行っていきたいと考えている。対応者個人としては、なるべくレジ袋をもらわないようしている。</p>	
	効果と負担 今後の展望	<p>グリーン購入を進めるために必要な事として、グリーン購入できる製品を簡単に知る事ができると良いと考えている。自社の場合ならば、印刷で使用するもの以外にどんな環境配慮型製品があるか知りたい。さらに、こうした情報が携帯電話等で簡単に検索できれば便利だと思う。</p> <p>また、他企業の取組事例も参考にしたいので知りたい。</p> <p>環境配慮型商品とそうでない商品の価格差は以前より縮まってきており、高くて環境ラベルが入る事で企業のイメージアップになると想え、購入していただけのお客様はいるが、価格差が更に縮まれば、より環境配慮型商品を薦めやすくなる。</p>	

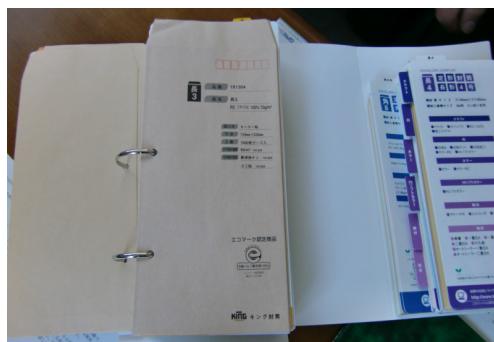
滋賀GPNについて	<p>昔は、琵琶湖にアオコが発生したり、公害が起こる等、環境問題はその地域の個々の問題である事が多かった。しかし、今では世界的に二酸化炭素の排出を削減する事が目標とされるなど、環境問題は地域だけの問題では無くなっている。生活と環境が対峙し、環境に良いものを選ぶ事が求められる状況になっている。今後も環境への取組を進めるうえで、一般の人にグリーン購入の取組を広げる必要があると思うので、GPNにはその道しるべとして存在して置いてほしい。</p>
その他	<p>家電エコポイントのように、環境配慮型商品を買えばポイントが付いて、サービスが受けられる、税金が安くなる等、自分も得をするようになる仕組みを作つていけば環境配慮の取組が広がるのではないかと思う。例えば、ポイントを貯めていけば、将来福祉・介護サービスが受けられるようになる等が考えられる。</p>



外観



紙の選定の際に参照しているカタログ



封筒の選定の際に参照しているカタログ



50	日本ソフト開発株式会社		
所在地	滋賀県米原市原西 23	従業員数	124 人
業 種	情報サービス	取材日	2011 年 7 月 29 日
対応者	社長室 室長 丸岡靖典様		
事業内容	<p>コンピューター関連全般の情報サービス。ソフト開発・機器販売。官庁・民間・学校関係のネットワークの整備。東京スカイツリーの中でも日本ソフト開発のシステムが使われているという。また、eco ケータイシリーズという携帯電話用のソフトを販売。「ポトリケータイ」は、携帯で CO<sub>2</sub> 排出量を見る事ができるシステムで、効果の「見える化」をする事でエコ意識向上につながるものである。</p>		
環境の取組 全般について	<p>農村下水道の無人排水処理施設の監視システムを当時の湖東町と協力して開発した。それ以降、全国各地で監視システムの導入を行っている。エネルギーの見える化システムを開発し、販売している。</p> <p>社内全館の蛍光灯を取り替えて、CCFL を使用している。CCFL 管は発熱量が少なく部屋が暖かくならない事から、夏場のエアコン使用率を減らせた。また、照明電気代が以前の 70% に減った。パソコンは 3 分間、印刷機は 5 分間使用しない場合はスリープ状態になるよう設定している。</p> <p>滋賀エコ・エコノミープロジェクトに参加している。</p>		
グリーン購入の取組について	取組方法	<p>消耗品は環境配慮型商品を優先して購入している。コピー用紙等は古紙 100% を使用している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 なし</li> <li>・取組の範囲 全社的</li> <li>・判断基準 なし</li> <li>・実績把握 なし</li> <li>・対象品目 紙類、トイレットペーパー、ティッシュペーパー、外注印刷物、紙製事務用品、文具類、オフィス家具、ファクシミリ、プリンタ、コピー機、パソコン、テレビ、自動車、照明、作業服、事務服</li> </ul>	
	外部公表	特になし	
	取引先等への啓発等	今後やっていきたい取組として説明する場合、コストだけを求めるのではなく、割高な場合でも環境配慮の度合いが高い事を説明して薦めてはどうか、と営業部署に提案している。取引先から EA21、ISO14001 認証取得の有無を聞かれる事が多く、滋賀県は特にそれが求められる場合が多いと感じている。	
	従業員への研修・啓発等	朝礼時にグリーン購入も含め環境等について話をし、喫煙所への行き帰りはエレベーターを使わず階段を利用するようにしている。マイバック持参・節電のポスターを社内に掲示している。GPN からの情報や日経エコロジー等の環境情報をインターネットで回観する事で、社員への啓発を行っている。	
	効果と負担 今後の展望	滋賀 GPN に入会してから 7~8 年経つが、入会当時は環境配慮型商品を使用するにあたり環境配慮型商品でない物とのコストの差が大きい事、コピー用紙は白色度の低いものは見栄えが悪いという事から、世間的にも社員にも受け入れにくいという意見があったが、今ではコストの差や白色度についても違和感無く使用できる状況になった。環境配慮型商品への既成概念が変わったように思う。	
滋賀 GPN について		滋賀 GPN 会員（1999 年より）	

その他	滋賀県内の企業は環境への取組をされているところが大多数である。社員の普段の生活の中でも、買い物をする際に店側から袋をもらわない等環境配慮への行動が当たり前になってきている。
-----	--



外觀



玄関



ヒアリング風景



社内啓発ポスター



CCFL の管



ポトリケータイ



5 1	日本電気硝子株式会社		
所在地	滋賀県大津市晴嵐 2-7-1	従業員数	1,850 人
業 種	製造（窯業）	取材日	2011年7月4日
対応者	環境管理部 部長 伊藤俊一様 環境管理部 担当課長 下村真司様		
事業内容	<p>液晶とプラズマディスプレイ用薄板ガラスを中心に製造。</p> <p>プラスチックや車の強化材、燃えないカーテンの材料となるガラスファイバーの製造。</p> <p>鍋やティーサーバー・電子レンジの棚板、ガスコンロの天面プレート、断熱効果のある窓、建材に使われる結晶化ガラスの製造。</p> <p>全事業からみた内訳は、テレビ等の薄板ガラスが5割、ファイバーが2割、その他建材等が3割。</p>		
環境の取組 全般について	<p>1999年にISO14001認証取得。</p> <p>製品の製造段階において、ホウ酸、シリカ等の原料、また、エネルギーも大量に使うため、やむを得ず環境に負荷をかける事になる。そこで、原料を100%製品化して廃棄物を極力少なくする事やエネルギーを効率よく使う事を基本方針としている。</p> <p>ものづくりのレベルを上げ、効率を上げる事が環境負荷の削減につながると考えている。トップの方針として埋め立て廃棄物を最終的に0にする事を目指している。具体的には分別を徹底し、社内および社外でリサイクルする事で、当初は廃棄物全体に対する埋め立て廃棄物の割合が1.6%あったものが今では0.035%に激減している。</p> <p>(廃棄物全体に対する埋め立て廃棄物の割合=埋め立て廃棄物重量/販売重量)</p>		
グリーン購入の取組について	取組方法	<p>会社全体で必要なものを買う際に、簡易包装、地場産のものを買う事を基本方針としている。また、以前は原料の運搬には紙袋等使い捨ての袋を使っていたが、現在は原料を買う段階で繰り返し使用できる袋（フレコン）に入れて仕入れ、その袋を繰り返し使う事で梱包レスに取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 グリーン調達ガイドライン</li> <li>・取組の範囲 全社的</li> <li>・判断基準 あり</li> <li>・地産地消の推進 工事の地産地消を実施。溶融炉等の生産設備の工事の全体の3分の2を滋賀県内の業者に発注するよう心がけている。工事の発注金額は大きい。</li> <li>・実績把握 なし</li> <li>・対象品目 紙類、紙製事務用品、自動車、資材</li> </ul>	
	外部公表	HPにて公表している。	
	取引先等への啓発等	取引先選定の際には環境問題に積極的に取り組んでいる業者を選んでいる。	
	従業員への研修・啓発等	グリーン購入についての従業員研修は、現在は行っていないが、社内用の掲示板があるので、A4サイズ1枚ぐらいの分量で良い教材があれば掲示したいと考えている。	
	効果と負担 今後の展望	具体的にどんな効果があるか明示してほしい。例えば「買い替えたらCO <sub>2</sub> がこれだけ減る」という事が定量的に示されるとありがたい。	

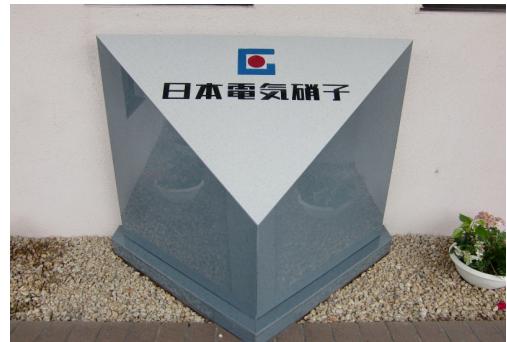
**滋賀GPNについて**

**滋賀 GPN 会員（1999 年より）**

滋賀 GPN に携わる事で、社内で他の部署（環境・総務・購買等）の意見を聞く機会ができ、他部署とのつながりが深まった。幹事会や交流会で他企業の様々な立場の方の意見を聞く事ができるようになり、良かったと思う。入会以前は、イメージとして環境配慮型商品はすごく割高だと思っていたが、入会してからいろいろな情報が入ってくるようになり、実際はそうでもなかつた事が分かった。



外観



硝子素材でできている社名レリーフ



ヒアリング風景



5 2	博善社印刷株式会社				
所在地	守山市播磨田町 38 番 4	従業員数	20 人		
業 種	印刷・印刷関連	取材日	2011 年 9 月 29 日		
対応者	代表取締役 佐々木博様				
事業内容	印刷業務。基本的に紙への印刷で、名刺、チラシ、ポスター、市の広報を中心に行っている。				
環境の取組全般について	滋賀県の登録制度「GP プラン滋賀」STEP1 に登録。 20 年ぐらい前から再生紙を使用しているので、再生紙は当たり前という認識でいる。また、印刷で使用するインクは、生分解されやすく紙のリサイクルがしやすい大豆インクを使用している。 取引先から環境配慮に適した印刷物の依頼があるときは要望に沿った商品を提供している。				
グリーン購入の取組について	取組方法	<p>備品は環境配慮のものを積極的に購入しており、ボールペン本体は繰り返し使い芯のみを購入している。芯のみの購入は環境配慮の取組となるだけでなく、コスト削減にもつながる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 なし</li> <li>・取組の範囲 全社的</li> <li>・判断基準 なし</li> <li>・地産地消の推進 印刷に使用するインク、原材料、クラフトテープは積極的に国産を使用。取引先は県内企業を優先しているので県内に多い。</li> <li>・実績把握 なし</li> <li>・対象品目 紙類、トイレットペーパー、ティッシュペーパー、外注印刷物、紙製事務用品、文具類</li> </ul>			
	外部公表	HP にて公表。営業担当者の名刺や封筒に GP プラン滋賀に登録している事を記載している。			
	取引先等への啓発等	滋賀県印刷工業組合で行われる CSR セミナーに数名の社員が参加した。その中でグリーン購入についての話を聞いた事がある。取引先選定の際には、環境問題に積極的に取り組んでいる県内の業者を選んでいる。			
	従業員への研修・啓発等	一週間に一度行う朝礼と年四回行う全員会議にて、社員にグリーン購入の事を伝えた。個人の生活の取組についても、全員会議を行った際に、マイバック推進について話した事がある。また、守山市の消費者問題研究会の方を招いて、環境に関する消費者問題について研修会を開催した。			
	効果と負担 今後の展望	原材料である紙の価格が下がり、紙の再生率が高くなると良い。 環境配慮型商品のみが掲載された地域別・商品別等のカタログがあると良い。 メーカー、ディーラー、商社含めた勉強会をすると人が集まりやすいのではないかと考えている。			
滋賀GPNIについて	GP プラン滋賀に登録している事もあり、名前も取り組んでいる内容も知っていた。登録のきっかけは、GP プラン滋賀について業界の集まりで聞いた事。				
その他	近隣で環境配慮された印刷に関わる原材料を扱っている企業があれば知りたい。				



外観



ヒアリング風景



5 3	株式会社浜崎銃砲火薬店		
所在地	滋賀県大津市長等 3 丁目 2-24	従業員数	5 人
業 種	小売業	取材日	2011 年 10 月 31 日
対応者	工事部長 浜崎達弥様		
事業内容	<p>銃砲とそれによつわる火薬、弾や獣具一般の販売。固体やオリンピック種目でもあるクレー射撃用の銃や用品の取扱。土木用のダイナマイト、一般土木・コンクリートや岩を割るための薬剤の販売と施行。爆薬工事の設計施工。採石場や道路造成、道路拡張工事の大型の岩に爆薬を仕込んで破壊する作業や、街中の下水工事でコンクリート破碎用の薬剤を使い、不要な部分を破碎する等の作業も行う。</p>		
環境の取組 全般について	<p>店舗の照明を LED に切り替えた。電気をこまめに消す等の省エネの取組や、再生紙の利用等にも取り組んでいる。 長い時間重機を稼働させて工事をするより爆薬で破壊した方が無駄な燃料を使わなくて済む場合もあると考えている。</p>		
グリーン購入の取組について	取組方法	<p>グリーン購入をしているのは事務所で使う文具類等がほとんどである。エコマーク表示の有無を判断基準としている。現場では建材等を使用しないので環境配慮型商品を使う事はほとんどない。爆薬類は、国産の方が品質（燃焼効率）が良いので、国産を選んで買う事が多い。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 なし</li> <li>・取組の範囲 一部の部署・営業所で取組</li> <li>・判断基準 あり</li> <li>・地産地消の推進 国産を購入するようにしている</li> <li>・実績把握 なし</li> <li>・対象品目 紙類、トイレットペーパー、紙製事務用品、エアコン、照明</li> </ul>	
	外部公表	特になし	
	取引先等への啓発等	店舗で購入されたお客様が袋を持っている場合には袋を渡さないようにしている。	
	従業員への研修・啓発等	<p>今後、従業員研修も行っていきたいと考えている。 電気をこまめに消す事等を従業員に伝えており、休憩や仕事の合間などに従業員同士で省エネについて話をするようにしている。</p>	
	効果と負担 今後の展望	<p>グリーン購入を進めるためには、グリーン購入情報を提供してくれる販売業者のリストがあり、その中から選べるようになっていれば取り組みやすくなると考えている。</p> <p>また、他の企業でどのように物品を購入しているのか知りたい。例えば、環境配慮型商品はひと手間かかっているために購入の費用がかさむ場合がある。そのような場合に他の企業ではどうしているのか等、他企業の事例を参考にしたいと考えている。</p>	
滋賀GPNについて		商工会の集まりに参加したり、商工会から発信される情報を得たりしているのでグリーン購入や滋賀 GPN の事は知っていた。	



外観



店舗内



店舗の LED 照明



5 4	株式会社ビジネスセンター太陽堂		
所在地	滋賀県守山市一丁目 2-2-101	従業員数	5人
業種	小売業	取材日	2011年9月22日(FAX)
対応者	今井啓貴様		
事業内容	文房具の販売。印鑑・ゴム印の作成と販売。名刺・はがき等の印刷。		
環境の取組 全般について	滋賀県登録制度「GP プラン滋賀」STEP1に登録。 節電に取り組む他、裏紙をメモ用紙として活用したり、ビニール袋の使用削減に努めるなど、身近な事から積極的に行ってている。また、リサイクル可能な商品を販売するように努めている。		
グリーン購入の取組について	取組方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 なし</li> <li>・取組の範囲 全社的</li> <li>・判断基準 なし</li> <li>・地産地消の推進 コピー用紙は国産を選んで購入している。</li> <li>・実績把握 なし</li> <li>・対象品目 紙類、トイレットペーパー、文具類</li> </ul>	
	外部公表	特になし	
	取引先等への啓発等	リサイクル可能な商品の認知を積極的に促している。 取引先として、ISO14001取得企業を優先的に選んでいる。	
	従業員への研修・啓発等	全社員に対してリサイクル商品の販売に関する研修を行った事がある。 マイバッグ等を持参しビニール袋の使用を減らす取組を行っている。	
	効果と負担 今後の展望	環境配慮型商品を手軽に購入する事ができ、グリーン購入の取組や環境配慮型商品の情報が簡単に得られれば、グリーン購入を周知できると考えている。	

5 5	平田機工株式会社				
所在地	滋賀県野洲市小堤 500	従業員数	82 人		
業 種	製造（一般機械器具）	取材日	2011 年 9 月 15 日		
対応者	関西事業部 工場管理課 マネジャー 角田光治様				
事業内容	各種生産システムの設計、製作（弱電・自動車部品の自動組立装置、搬送機器等）。 産業用ロボット及び物流関連機器の製造、販売。				
環境の取組全般について	ISO14001 認証取得済で、環境方針のマネジメントプログラムに従って PDCA サイクルを実施している。海外との取引が多いため、既に取り組んでいる RoHS 指令に加え、今後、REACH 規制対応に向けて準備を始めている。 省エネ推進委員会を設立し、省エネ教育や省エネパトロールを全社で展開している。最近では省エネ型照明「W エコ」を事務所に採用して節電に努めている。				
取組方法	<p>事務用品の手配は各部門にて行い、総務部門で発注・チェックをしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 ISO14001Web で『グリーン調達』を掲載し全社員に閲覧可能にした。今後顧客グリーン調達基準・ガイドラインデータを掲載予定。</li> <li>・取組の範囲 全社的</li> <li>・判断基準 あり（有害物質を含まないもの、マークがついているもの）</li> <li>・実績把握 なし</li> <li>・対象品目 トイレットペーパー、紙製事務用品、文具類、オフィス家具</li> </ul>				
外部公表	特になし				
グリーン購入の取組について	取引先等への啓発等	仕入先に対して環境に配慮したもの採用するよう指導中で、ISO14001 認証取得の有無も含め 2 年に一度書面で確認を行っている。顧客からはエコシンナーなど環境に配慮した材料を使用する旨の指導が多く、海外の顧客からも環境に配慮した材料の使用を要請される事がある。 加工業者選定においてはコストとデリバリー、品質が最優先になる。環境配慮で高額な場合は要交渉となり、コストが同じならば当然、環境配慮業者を選ぶ。			
従業員への研修・啓発等	従業員への研修会という特別に機会を設けての研修は行っていない。来年の 3 月までにグリーン購入の規定を作成する予定なので、それまでに 1 度説明会を行うつもりである。それ以降の実施についても考えていきたいが、グリーン調達については社内である程度定着しており、変更があった場合には部門長から従業員へ伝達している。 担当者個人としてはマイバックの持参等を実践しており、今後は従業員に対しても普段の生活の中でできる事について、啓発していきたいと考えている。 外部研修会として、年に数回（7 月で第 7 回目）野洲市が開催する環境研修会に参加している。テーマは騒音、振動、環境防災、産廃処理等多岐に亘る。				
効果と負担 今後の展望	他企業で行っている取組事例が知りたい。 環境配慮型商品の定番は、カウネット（コクヨ系列のオフィス用品通販会社）や地元の販売業者に取り扱ってもらうようにすると買いやすくなるのではないかと考えている。 費用対効果の見方が大切で、システム設備や改造工事が必要になるとコストがかかってくる点も考慮しなければならない。 従来品と比較してコストが乖離しているとつらい。少し（5%）ぐらいだったら許容できるが、2 ケタ（10%）以上差があると購入は難しい。				

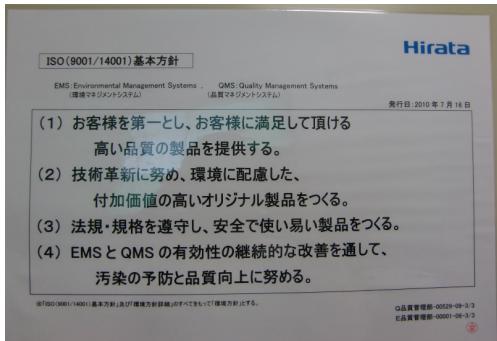
<b>滋賀GPNIについて</b>	<p>他社がうまくいっている事例を学び、必要なものは自社で取り入れたい。社員にも幅広く環境意識を高めてほしいと考えているので、個人の生活も含めた啓発を今後行いたいと考えている。ちょっとしたアイディアや事例を紹介して頂けるとありがたい。</p>
-------------------	---



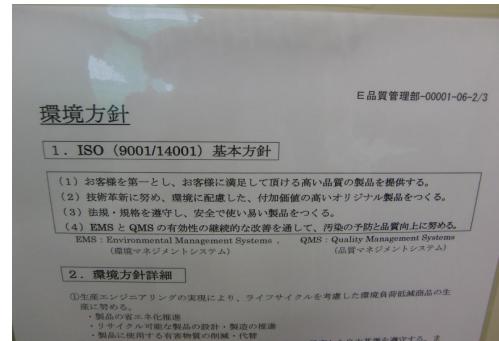
外観



ヒアリング風景



品質方針



環境方針



5 6	株式会社平和堂		
所在地	滋賀県彦根市小泉町 31	従業員数	10,749 人
業 種	小売業	取材日	2011 年 12 月 1 日 (Mail)
対応者	環境推進室 室長 西塚哲夫様		
事業内容	<p>食料品・衣料品・住居関連品などの総合小売業。その他これに付帯する業務として店舗賃貸（テナント）なども行っている。近畿・北陸・東海地域の 2 府 7 県に 133 店舗（2011 年 12 月 1 日現在）を展開。</p> <p>地域の総合小売業として、楽しく豊かな暮らしをお届けする複合型総合ショッピングセンターから毎日の暮らしに必要なものを取り揃えた小型のスーパーマーケットまでを組み合わせて出店することで、より地域のお客様に密着した店舗展開を進めている。</p>		
環境の取組 全般について	<p>全店舗で ISO14001 を認証取得。この環境マネジメントシステムを基軸とした環境保全活動を推進している。</p> <p>取組内容としては、環境に配慮した商品の販売拡大、エネルギー使用量や温室効果ガス排出量の削減、マイバッグ持参率の向上、容器包装使用量の削減、食品リサイクル率の向上、廃棄物の削減と適正処理、子ども環境学習（エコピースクラブ）の推進、森林保全活動の平和の森づくりの推進等を行っている。</p> <p>その他、全社員への環境教育（ビデオ研修等）の徹底や CSR 報告書の発行による情報公開を進める取組なども行っている。</p>		
グリーン購入の取組について	取組方法	<p>社内の物品については「グリーン購入基準書」を基に本部の消耗品等の各担当部署で、環境配慮基準に基づいて物品を選定したり、購入先へ基準に対応するように備品を作っていたりしている。それぞれの物品を Web 発注のマスターに登録し、各店舗から発注できるようにしている。また、これらの物品は用度品センターで一括管理することで全店分を集約されるため、大量購入につながりコストダウン効果もある。</p> <p>主な購入物品としては、帳票類、コピー用紙、トナー、紙製販促物、POP 用紙、シール、ラベル、POP ケース、仕切り板、包装紙、紙袋、のし紙、テープ類、レシート、蛍光灯、掃除用具、トイレットペーパー、制服、マネキン、玄関マットなどがある。</p> <p>一方で、環境負荷が小さく循環型社会に適した商品を「環境セレクト商品」として推奨販売している。食品廃棄物の発生を抑制し循環資源として有効利用した「循環エコ野菜」や「マザーレーク滋賀応援基金」へ販売額の一部を寄附する環境寄附金付商品など、従来のエコマーク商品などと合わせて積極的に販売を進めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 ISO 等のグリーン購入手順書</li> <li>・取組の範囲 全社的</li> <li>・判断基準 あり</li> <li>・地産地消の推進 地場産の野菜を始めとした商品多数。</li> <li>・実績把握 なし</li> <li>・対象品目 紙類、トイレットペーパー、紙製事務用品、プリンタ、コピー機、パソコン、作業服、事務服、制服</li> </ul>	
	外部公表	<p>物品の調達という狭義のグリーン購入の面では、日常管理化しているため、あまり外部公表していないが、環境配慮型商品の販売や購入（買物）スタイルを含めた広義のグリーン購入では、HP や CSR 報告書等の随所に活動内容を公表している。</p>	

取引先等への啓発等	<p>取引先に対しては啓発活動というより、商品や調達物品に関して要望を出していくことが多い。例えば、より容器包装の少ない商品はないか、リサイクル素材を使ったもの、その含有量の多いものはないかなどと価格とを交渉しながら要望することが、取引先への啓発につながると考えている。</p> <p>また、お客様には、行政や市民団体と協働でグリーン購入キャンペーンを開催するなど、特に6月の環境月間、10月の3R推進月間、2月の省エネ月間を強化月間として、啓発活動を推進している。当該月には、チラシや店内放送によるマイバッグの持参や店頭の資源回収の呼び掛け、ポスター掲示や店頭での声掛け、アンケートなどを実施している。</p> <p>また、小学生向けに子ども環境学習「エコピースクラブ」を開催し、店舗でエコショッピングの疑似体験をクイズ形式で進める方法を通じて、エコな買物=グリーン購入の大切さを子どもたちに伝えている。2011年度は45団体、約2,600名に参加していただいた。</p>
従業員への研修・啓発等	<p>年1回、全社員（アルバイト含む、約2万名）に環境教育ビデオ研修を実施しており、その中で環境商品やお買い物袋持参運動に関わることは毎回、紹介している。物品調達面でのグリーン購入については過去に用度品センターの紹介等を合わせて、その意義を伝えている。</p> <p>また、個人の生活の中でできる取組についても、先に述べた年1回の環境教育ビデオ研修の中に含まれている。さらに10月には「エコスタイルチャレンジシート」というエコ生活を推進するチェックシートを全社員に実施しており、その中にも同様の内容も含まれている。</p>
効果と負担 今後の展望	<p>グリーン購入ネットワークに参加しており、その参加団体等の交流による情報交換が、自社への参考や刺激にもなると思っている。ただ、グリーン購入の取組効果は何かと聞かれると、直接、目に見える数値や基準となる水準が分かりづらいのが課題で見える化が難しいと考えている。</p> <p>環境配慮型商品（グリーン商品）がもっと売れる、購入されるようになるには、価格が安くなると良いと考えている。これは、他の商品よりも安ければ、もっと簡単に普及するため。高くて環境に良いからということが多いが、それでは中々、進まないので環境に良くてなおかつ安ければ、問題なく普及すると考えている。</p>
滋賀GPNについて	<p>滋賀GPN会員（1999年より・設立発起団体）</p> <p>設立当時から入会している。設立時の1999年当時からすると、当社内で2000年に設置した「環境対策室」から2004年に「環境推進室」へ名称が変わったのも、環境問題への対策ということから、自ら積極的に環境保全活動を推進していくという姿勢に変わっていったと思う。これも他の参加団体の積極的な活動に刺激を受け、当社ももっと頑張ろうということにつながっていったからとも言える。</p> <p>「グリーン購入自己診断システム」を滋賀GPN会員メンバー向けに作成するプロジェクトに関わった。その中で自社のグリーン購入基準の考え方にも影響を受け、うまく進められたと感じている。社内でも2002年にISO14001を認証取得するに際して、環境商品の販売とグリーン購入が、売りと買いの両面の環境取組の柱としてスタートした経緯もあり、社内の取組の一環として進められたと感じている。</p>



外観（複合型ショッピングセンター）



エコピースクラブの様子

57	ベティブーフ		
所在地	滋賀県大津市馬場 1-4-18	従業員数	4人
業種	小売業	取材日	2011年8月4日
対応者	経営者 永野博之様		
事業内容	<p>切り花の販売（花屋）・花束のアレンジメント・デザイナーになる方の為の育成教室を行っている。ウィンドウディスプレイからイベント会場やスタジオの飾り付け、ウェディングプロデュース・園芸まで幅広く扱っている。また、花束のアレンジメントは10年以上のキャリアを持ったプロデザイナーのみが担当している。</p> <p>本店の他に、県内スーパーにテナント店が2店舗、セルフサービス店が3店舗ある。また、ネットショップも経営している。</p>		
環境の取組全般について	<p>90%国産花を販売。他店舗では、価格+流通量の違いから外国産の花を仕入れているところが多い。なかなか知られていないが外国産の価格が安い花卉に押され、日本の花卉農家は20年で3分の1になってしまっている。ベティブーフでは、国産の花卉を扱う生産者から仕入れて販売している。</p> <p>店全体を10年以上かけて種から緑のツタを生やして覆っている。ツタで覆うことで店内が5°C涼しくなった。坂道が多い為、以前は外出時に原動機付自転車を使っていたが、現在は電動アシスト自転車を購入し使用している。店にあるトイレは、電気を一切使わない手動式ウォシュレットを使用している。</p> <p>「グリーン購入」という言葉は使っていないが、取組の方向性は同じだと考える。</p>		
グリーン購入の取組について	取組方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 配布用のリーフレット等</li> <li>・取組の範囲 全社的</li> <li>・判断基準 あり</li> <li>・地産地消の推進 日本の農家を支援することにつながるので、国産の花を優先して購入。</li> <li>・実績把握 なし</li> <li>・対象品目 トイレットペーパー、ティッシュペーパー、ファクシミリ、プリンタ</li> </ul>	
	外部公表	特になし	
	取引先等への啓発等	<p>花の生産者が、適した場所・信頼できる状態で花を育てているか現場へ行き、確認した上で購入している。</p> <p>国産花の優先販売や、店舗をツタで覆っていることなどについて、リーフレットの配布等で取組を知らせている。</p>	
	従業員への研修・啓発等	<p>プロのデザイナー育成教室にて、花と環境のつながりについて話している。花束を作る際に、作り置きはせず注文を受けてから作っている。そうすることで花材を無駄にせずに済み、花の状態が良いままで渡すことができる。</p> <p>以前「ガイアネットワーク」として環境についての学習会を開催したことがある。</p>	
	効果と負担 今後の展望	消費者が普段の生活から購入する時に環境への負荷について考え、しっかり見極めて購入することが必要。	
滋賀GPNについて		利益や広告のためではなく、心から環境への取組をしている企業が増えると良い。	

その他	<p>国産と外国産では、花の匂い・葉・茎・開花期間が違う。国産の花の匂いは花そのものの良い匂いがし、切り花でも芽が出て新しい花を咲かせる。例えば、榦は、国産はしっかりと管理すると1年半飾ることができる。このようなことから、国産花にこだわった販売をしている。</p>
-----	--



外観



ヒアリング風景



店内



5 8	<b>有限会社美鈴環境サービス</b>		
所在地	滋賀県大津市坂本7丁目32-30 ロータスビル2-C	従業員数	10人
業種	サービス	取材日	2011年7月25日
対応者	代表取締役 鈴木健司様		
事業内容	主に、害虫駆除と抗菌殺菌に関する業務、またその代理店。今後は、環境経営のコンサルタント及び経営支援を強化していく予定。		
環境の取組全般について	<p>鈴木社長が、社団法人日本経営士会が認定する「環境経営士」の資格を取得している。また、昨年から中小企業向けの環境マネジメントシステム「コンパクトエコシステム」(以下 CES) の認証に向けて取組を始め、6月まで取組を続けてきた。取得できれば、日本初の認証取得事例となる。(ヒアリング後の2011年8月に認証取得。)</p> <p>CESの取組を始めたことで、いろいろな事に気づく事ができた。例えば電気は、CESに取り組む過程で検針票を見直していたところ、電気の基本料金とは別に「動力」として基本料金がかかっていた事が判明し、使用していない動力の分を省くことで電気代が以前より減少した。また、雨水タンクを大津市内の事業所で初めて導入した。テナントの場合は許可が必要で、一つのビルに一事業所しか設置できない事になっているため、他のテナントと管理人に交渉して導入に至った。タンクに溜めた水は、ベランダの水やりと、殺虫剤を薄める水に利用する。毎日30~40リットルの水を使っていたので、水道使用量はかなり減少した。</p>		
グリーン購入の取組について	取組方法	<p>購入の際には、環境配慮型商品や滋賀県内のものを優先的に購入。滋賀GPNの「いちおしグリーン商品リスト」を参考にして選んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 あり</li> <li>・取組の範囲 全社的</li> <li>・判断基準 なし</li> <li>・地産地消の推進 滋賀県産のものを積極的に購入。</li> <li>・実績把握 なし</li> <li>・対象品目 トイレットペーパー、ティッシュペーパー、コピー用紙</li> </ul>	
	外部公表	名刺に滋賀GPN会員である事を記載している。	
	取引先等への啓発等	購入の際には、滋賀県産のもの、滋賀県の業者を積極的に選ぶようにしております、トイレットペーパーとティッシュペーパー、コピー用紙をNPO碧いびわこから購入している。最近始めた取組として、シロアリ駆除などでお客様のご家庭でコンセントを借りた際に、二酸化炭素を排出した代わりとしてNPO碧いびわこのおかえりティッシュ(環境配慮型商品)を1箱渡す事にしている。外部公表する事で、名前を覚えていただく機会づくりやおかえりティッシュの宣伝にもなればと思っている。	
	従業員への研修・啓発等	<p>CES取得前に従業員全員にアンケートを実施し、環境の取組についてのミーティングを1日かけて行った。今後は4半期に1度、ミーティングを実施する予定。</p> <p>CESを始めるときに従業員にマイバックを持っているかどうか聞いたところ、ほぼ全員が持っており、「持っているのが当たり前」と言う声もあった。</p>	
	効果と負担 今後の展望	<p>グリーン購入の効果がわかりにくいで、わかりやすくなると良いと考えている。グリーン購入の取組当初は、環境配慮型商品は高いというイメージしかなかったので、他社もそういう印象を持っているのではないか。「取り組むことで今まで取引のなかった会社との取引が増えた」「コスト削減につながった」「取組を始めたことでこんな意見をもらった」等のプラスイメージの情報交換の場があると良いと考える。</p> <p>これから生まれてくる子供たちの世代には資源の枯渇等、生活する事自体が苦しくなってしまう可能性がある。そうしないためにも、今自分たちの世代が取り組む事が絶対に必要だと思う。</p>	

滋賀GPNについて	<p>滋賀 GPN 会員（2010 年より） 昨年のびわこ環境ビジネスメッセで知った。メッセに知っている会社がいくつも出展していたため、取組が必要な時代になったと感じ、入会を決めた。</p>
その他	<p>大企業、特に製造業は新商品を出したという事でアピールできるが、中小企業は情報発信する機会が少ない。だから、中小企業だからこそできる取組をして、アピールしていきたいと考えている。 CES は他の EMS と比べて費用がかからないので、取り組みやすい。 4月から業務用のごみの分別に取り組んできたが、ほんの少し容器に粘着が付いていたり、ボトルに薬がついていたりするだけで、リサイクルはできない。害虫駆除業務に携わっていると、ゴキブリマットや薬のボトル等やむなく廃棄物として捨てざるを得ないものがたくさんある。例えば害虫駆除のマットもめくる事で繰り返し使えるような仕様にできないのか等、買う側として製造側に意見を言う必要もあると思う。買う側が意見を発信していく事で市場が変わつていけば、さらに世の中の環境配慮が進むと考えている。 先代から「お金をかけずに使えるものを使う、無駄な事にはお金をかけない」という事を厳しく言われてきた。21世紀は環境の世紀といわれるような世の中になってきたので、そういった考え方非常に良かった事だと考えている。現在も窓ガラスに張り付けている広告の文字を裏紙で手作りするなど、使えるものはなるべく使う事を徹底している。 個人の生活の中でできる事として、鈴木社長は 4km を歩いてごみ拾いをしながら通勤されている。以前は車で通っていたので、その分 CO<sub>2</sub> の削減にもなっているという。「自分の足元からできる事をする」事を自ら率先して実行しておられ、最近は「いつも見ています」と地域の人から声をかけられるようになったという事だった。1か月で 20kg ぐらいのごみを拾うそうで、会社でルールがあるから実行するというだけでなく、家に帰ってからも生活の中でできる事を実行すべきだと考えているという事であった。</p>



外観



ヒアリング風景



省エネ対策用すだれ



文字広告  
(裏紙使用)



雨水利用  
(雨水タンク、雨水利用システム)



5 9	満田工業株式会社		
所在地	滋賀県東近江市東沖野三丁目 8 番 17 号	従業員数	30 人
業 種	建設	取材日	2011 年 10 月 4 日
対応者	管理部 中村真末様		
事業内容	<p>土木工事・地下技術工事。</p> <p>主として配管を地中に埋設する工事。（推進工事・開削工事）を請け負う。</p> <p>各種プラント設計・製造・施工・メンテナンスも行っている。</p>		
環境の取組 全般について	<p>2011 年 9 月に ISO14001 認証取得。</p> <p>裏紙使用やごみの分別をチェックし、毎月記録をとって集計している。</p>		
グリーン購入の取組について	取組方法	<p>事務所内ではできる限り環境配慮型商品を購入するようにしている。</p> <p>現在どれだけ環境配慮型商品を使っているのかを調査し、実績把握を始めている。今後、購入率等を算出し、目標を設定して取組を進めていく予定。</p> <p>3 年でグリーン購入率 10%増加を目標に掲げている。</p> <p>判断基準としてはエコマーク表示があるものとしている。現場で使うファイル等の一部は環境配慮型商品を使っているが、資材等についてはまだ取り組めていないので、今後進めていく予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 ISO 文書</li> <li>・取組の範囲 一部の部署で取組（周知しきれていない部署があるため）</li> <li>・判断基準 あり</li> <li>・実績把握 あり</li> <li>・対象品目 紙類、トイレットペーパー、紙製事務用品</li> </ul>	
	外部公表	特になし	
	取引先等への啓発等	<p>ISO14001 を認証取得している事を取引先や顧客に伝えている。</p> <p>事務用品を買う場合はインターネットで環境の取組をしている業者から購入している。</p>	
	従業員への研修・啓発等	<p>ISO14001 の取組の一環として環境教育を行っている。グリーン購入のみの教育・研修を等は、現在は実施していない。</p> <p>事務所内で、個人でできる環境の取組について従業員が頻繁に情報交換をしている。マイ箸はほとんどの従業員が事務所に置いていて昼食時に使用している。</p>	
	効果と負担 今後の展望	<p>まだ手探りの状態で、どういうものが環境配慮型商品なのかわかりにくいため、環境配慮型商品に関する情報がほしい。</p> <p>記録をつけ始めたばかりなので、昨年と今年を比較して効果を検証するというような事まではできていない。グリーン購入の実践による効果について知りたい。</p> <p>一時、アスクルのカタログで「この商品に換えると木何本分が削減できます」という説明が記載されており、効果がわかりやすかったので、その商品を購入した。他の商品にも CO<sub>2</sub> が何 kg 削減できるか等が書いてあるとわかりやすい。</p>	
滋賀GPNについて		今後、自社の製品で環境配慮型製品を提供できるようになれば、紹介する場に出していきたいと考えている。	
その他		担当者としては私生活でも滋賀県産や国産を購入するよう努めている。また、社内で話を聞いていると、近所の JA の朝市を利用するなどして、滋賀県産のものを自然に買っている人が多いようだ。	



外観



ヒアリング風景

60	有限会社山本教育システム		
所在地	滋賀県東近江市野村町 215	従業員数	6人
業種	小売業	取材日	2011年9月27日(FAX)
対応者	営業部長 不破順一様		
事業内容	主に幼稚園・保育園・小中高等学校等教育機関・役場等への消耗品、教材、管理備品、パソコンシステム、施設設備品等の販売を行っている。		
環境の取組全般について	滋賀県が行っている「GP プラン滋賀」STEP1に登録。エアコン温度を調節し、節電を行っている。社内で使用する消耗品等に関しては出来る限り環境配慮型商品を購入している。コピー用紙等は裏紙を使用している。		
グリーン購入の取組について	取組方法	<p>判断基準として、紙類・トイレットペーパーは再生紙100%使用、ボールペンは環境ラベル表示があるものとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 なし</li> <li>・取組の範囲 全社的</li> <li>・判断基準 なし</li> <li>・地産地消の推進 国内メーカーの品を選んでいるが、生産国までは配慮する事は難しい。</li> <li>・実績把握 なし</li> <li>・対象品目 紙類、トイレットペーパー、文具類</li> </ul>	
	外部公表	特になし	
	取引先等への啓発等	顧客に持参してあるカタログ（通信販売）にGPNのエコ商品ねっと掲載・グリーン購入・環境配慮等の表記があるので、その旨の説明をしている。仕入れ先は教育関連メーカーが中心となるため、多くの業者がグリーン購入や環境に配慮していると思われる。	
	従業員への研修・啓発等	<p>GP プラン滋賀の支援プログラムに参加し、そこで得た情報を社内に帰って報告している。また、GP プラン担当者以外の従業員にも支援プログラム等へ参加するよう呼びかけている。</p> <p>従業員に対して、個人の生活の中でエコバッグ持参や節電、ガソリンの節約などに取り組むよう呼び掛けを行った事がある。</p>	
	効果と負担 今後の展望	他の企業の取組事例を知り、出来る事を1つでも多く取り入れたい。	

6 1	リンナイ株式会社 滋賀営業所		
所在地	滋賀県栗東市縦 6-12-9	従業員数	7 人
業 種	製造（金属製品）	取材日	2011 年 8 月 29 日
対応者	京滋支店 滋賀営業所 営業所長 辻輝章様 関西支社 支社長付 内部統制担当課長 平田昌男様		
事業内容	京滋支店では、リンナイ製造事業所で製造されたガス器具（厨房機器・ガス給湯器・空調機器・業務用ガス機器・その他[浴室テレビ等]）の販売、商品の設置・施工・メンテナンス業を行っている。		
環境の取組全般について	<p>環境基本理念の中に環境方針があり、環境負荷の低い環境配慮型商品の普及促進・開発・製造をしている。</p> <p>排熱を利用した高効率給湯器「エコジョーズ」の販売計画を掲げており、販売実績から CO<sub>2</sub> 排出量削減の効果の統計をとっている。</p> <p>地球温暖化対策として CO<sub>2</sub> 排出量を削減するため、ガソリン、電気、ガスの月々の使用料と削減目標、資源の有効利用を進めるため、一般廃棄物や産業廃棄物の排出量の把握と削減目標を掲げており、インターネットにて目標と実績を管理している。</p> <p>グリーン購入では、オフィス家具や文具類の全社的目標として購入率 99%以上の計画を立てており現在関西支社では 95%を達成している。行った環境の取組を環境報告書としてまとめている。</p> <p>物品の購入はアスクルを利用。アスクルから届く毎月の購入リストから環境配慮型商品の購入状況を把握している。購入結果を見て環境配慮型商品でないものを選んでいた場合は、購入者に理由を確かめるようにしている。</p>		
グリーン購入の取組について	取組方法	<p>作業服や女子社員の制服は、本社一括で環境配慮型製品を購入している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 ISO 等のグリーン購入手順書</li> <li>・取組の範囲 全社的</li> <li>・判断基準 あり</li> <li>・地産地消の推進 購入する際に外国産より国産を優先している</li> <li>・実績把握 あり</li> <li>・対象品目 紙類、トイレットペーパー、ティッシュペーパー、外注印刷物、紙製事務用品、文具類、オフィス家具、ファクシミリ、プリンタ、コピー機、パソコン、冷蔵庫、テレビ、洗濯機、エアコン、自動車、照明、作業服</li> </ul>	
	外部公表	HP にて公表している。	
	取引先等への啓発等	今後施工に使用する資材の購入に関して、グリーン購入法適合品を選ぶよう顧客に薦めていきたい。	
	従業員への研修・啓発等	グリーン購入率、電気・ガソリンの使用量、廃棄物排出量等や CO <sub>2</sub> 排出量の情報、グリーン購入手順の変更内容等の情報を掲載した掲示板を、パソコンの立ち上げ時に画面上に出る設定にしており、全社員が見られるようになっている。また、インターネット上に掲載されている環境啓発ポスター等をダウンロードして社内に掲示している。	
	効果と負担 今後の展望	環境配慮型商品専用のカタログがあると良い。また、その中で新製品の紹介等が定期的にあれば購入しやすい。	
滋賀GPNについて	本社が全国の GPN に加入しており、知っている。GPN News をインターネット上にあげ全社員が閲覧できるようになっている。		

その他	<p>従来型の給湯器に比べてエコジョーズ（給湯器）は、使用する事で1台あたり年間CO<sub>2</sub>を145kg、ガスの使用量を12%カットできる環境にも家計にも優しい製品である。また、ガス業界では「2013年全業者エコジョーズ化」を進めており、エコジョーズの販売・設置・製造を推進していく予定。グリーン購入に取り組んでいる事を、他社へPRする方法を知りたい。</p>
-----	--



外観



ヒアリング風景



エコワン



再生ペットの制服



6 2	渡辺圭商店		
所在地	滋賀県彦根市大藪町 1416-1	従業員数	2 人
業 種	卸売業	取材日	2011 年 9 月 9 日 (Mail)
対応者	渡辺作平様		
事業内容	事務用文具卸。官公庁（特に県立高等学校）が主な取引先であり民間では一部取引を行っている。		
環境の取組 全般について	滋賀県の登録制度「GP プラン滋賀」STEP2 に登録。商品梱包のダンボール等を東陽紙業（株）へ搬入し、ダンボール原料に供給。発泡スチロールを（株）HIKONE 化成へ搬入し、EPS リサイクルペレット原料に供給。また、ユーザーにインクジェットプリンターのカートリッジ回収ボックスを設置し、回収・リサイクルに努めている。		
グリーン購入の取組について	取組方法	<p>購入基準を定めておりコピー用紙は「FSC 認証品・グリーン購入法適合品・GPN のエコ商品ねっと掲載」、文具・事務用品は、「エコマーク記載・グリーン購入法適合品・GPN ガイドライン適合品」、トイレットペーパーは「牛乳パックの再生品」を購入している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 グリーン購入に関する方針</li> <li>・取組の範囲 全社的</li> <li>・判断基準 あり</li> <li>・実績把握 あり</li> <li>・対象品目 紙類、トイレットペーパー、文具類</li> </ul>	
	外部公表	「GP プラン滋賀」の HP 掲載により外部公表している他、名刺に「GP プラン滋賀」の登録事業者の表示をする等している。	
	取引先等への啓発等	<p>自社で発行しているカタログに、環境に配慮した商品には環境ラベルを表示し、ユーザーには環境ラベル付の商品を勧めている。</p> <p>事務用文具関連のメーカー及び問屋なので、取引先のはほとんどは ISO14001 等を認証取得している。</p>	
	従業員への研修・啓発等	従業員研修として、年 1~2 回滋賀 GPN 主催のセミナーや研修会に参加している。買物の際にマイバッグを持参する事は数年前から実践済みである。近隣の道の駅等で地場の農産物を購入している。	
	効果と負担 今後の展望	GP プラン滋賀の取組のように、グリーン購入の実績を数字で把握すれば推進しやすい。環境配慮型商品も始めは割高だったが、現在は購入比率も上がり、通常の商品と同等の価格になってきた。また、文具類では、2 系統計有ったものが環境配慮型商品に統一されてきたものが多いと感じている。	
その他		環境配慮型商品を掲載したカタログを年 1 回発刊し、ユーザーに環境配慮型商品の購入を勧めている。	

6 3	A 社				
所在地	—	従業員数	—		
業 種	製造	取材日	2011 年 9 月 14 日		
対応者	総務 ご担当者様				
事業内容	精密機器製造				
環境の取組 全般について	<p>ISO14001 を 2008 年に認証取得して 3 年目である。</p> <p>電気の使用量、ガソリンの燃費向上、社用車のハイブリット車への買い替えに取り組んでいる。今年から産業廃棄物を減らす事も目標に挙げ、取組を始めている。</p>				
グリーン購入の取組について	取組方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 ISO14001 文書中の「グリーン購入手順書」</li> <li>・取組の範囲 全社的</li> <li>・判断基準 なし</li> <li>・実績把握 実績を定期的に集計</li> <li>・対象品目 文具類、オフィス家具、冷蔵庫</li> </ul>			
	外部公表	特になし			
	取引先等 への啓発等	<p>得意先からグリーン購入をするようにとの依頼があるので、仕入れ先に対してもグリーン購入に取り組むよう依頼している。</p> <p>ISO14001 取得の有無は業者選定理由の一つになる。同じ仕様であれば、取得している企業に発注する。</p>			
	従業員への 研修・啓発等	省資源、省エネの取組についての啓発ポスターを社内に掲示している。例えば、昼食時に割り箸ではなくマイ箸を使う、紙コップではなくマイカップを使う等を呼び掛けている。			
	効果と負担 今後の展望	<p>グリーン購入情報を提供してくれる販売業者のリスト、環境配慮型商品だけが載っているカタログ等があると良い。</p> <p>取り扱っている製品は特殊な部品を使ってるので、なかなか環境配慮型商品に切り替える事ができない部分もあるが、一般的な事務用品に関してはリストがあると良いと考えている。</p> <p>業務の中で常にペーパーレスにできるように考えており、チラシや、環境の情報等も紙ではなくデータでもらうようにすれば、かさばらないし環境にも良いのではないかと考えている。</p>			
滋賀GPNに ついて	滋賀 GPN については、ISO14001 の取得のために情報を集めているときに HP を見て知った。（訪問の前から）何度か HP を見ていたため知っていた。				
その他	納品先が装置メーカーなので、全国で営業を行っている。滋賀県から九州にも営業に行っており、東京にも営業所がある。				

6 4	B 社		
所在地	—	従業員数	—
業 種	製造	取材日	2011 年 9 月 28 日
対応者	総務 ご担当者様		
事業内容	ゴム製品の製造		
環境の取組 全般について	<p>ISO14001 認証取得。</p> <p>廃棄物の削減とリサイクル促進では、取引先の古いゴムを自社の新しいゴムに取り換えたときに廃棄するゴムが大量に出るため分別を行い、生ゴム（年間何tか排出されている）はリサイクル業者に買い取ってもらっている。</p> <p>水質汚濁の予防（排水の維持管理）では、ゴム練りで化学薬品を使用するので環境に配慮された薬品を使用している。また、ゴム加工時に出た蒸気を水として排出するので水質検査を行ってチェックしている。</p> <p>大気汚染の予防（有機溶剤の削減）では、ゴムの加工や種類を変える際、こびり付いたゴムを取るために使用する有機溶剤から発生する有害物質の発生を抑制するため、有機溶剤の使用量を減らしている。使用量を管理して、前年度と比較を行い削減に努めている。</p>		
グリーン購入の取組について	取組方法	<p>グリーン購入率は 2 年前 20% だったものが、紙関係を中心に切り替えが進み、上昇傾向にある。今年度は目標を 34% とし取組を進めている。</p> <p>環境ラベル同等品で価格が同じか 1 割の差額なら環境配慮型商品を優先的に購入している。照明類も同じワット数で高照度なものを選ぶようしている。</p> <p>実績把握として、環境配慮型商品購入管理表を毎月記録し、前年度と比較している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 環境方針</li> <li>・取組の範囲 一部の部署・営業所</li> <li>・判断基準 あり</li> <li>・実績把握 あり</li> <li>・対象品目 紙類、トイレットペーパー、紙製事務用品、文具類</li> </ul>	
	外部公表	<p>ISO14001 の取組について問合せがあれば答えている。</p> <p>取引先には ISO14001 を認証取得している事を伝えている。グリーン購入率のパーセンテージが上がってきたら、対外的なアピールにも使おうと考えている。</p>	
	取引先等への啓発等	取引新規契約時に自社の環境方針が明記してある文章を渡している。(特に廃棄物に関するものは考慮してもらえるよう要請)	
	従業員への研修・啓発等	<p>各部の担当者には物品の購入時にカタログ記載の商品に環境ラベルがついているものを選ぶよう伝えている。</p> <p>外部研修として、EMS 法令順守管理体制強化対策研修会主催（滋賀県環境保全協会）へ参加し、得た情報を従業員に伝えている。</p>	
	効果と負担 今後の展望	<p>物品の購入時に選択肢が欲しいので、カタログに環境ラベルがついている商品が増えると良い。</p> <p>環境の取組について、社内だけでは気付かない事もあるので、他社の取組や環境配慮型商品について知りたい。</p> <p>一般に出回っている環境配慮型商品の価格は以前と比べ安価になっているが、特殊な環境配慮型商品については価格が高いので安くなると良い。</p> <p>異業種の企業の方とつながる場が欲しい。</p>	
滋賀GPNについて		名前も、取り組んでいる内容も知らなかつたが、今回のヒアリングで知る事ができた。	

6 5	C 社		
所在地	—	従業員数	—
業 種	製造	取材日	2011 年 8 月 24 日
対応者	環境 ご担当者様		
環境の取組 全般について	<p>親会社が ISO14001 を認証取得している。そのため、ISO14001 の規定に基づいて環境方針を定め、環境の取組を行っている。その一環として、関係する取引先の ISO14001 等の EMS 導入をはじめとする環境の取組について、調査表を作成している。</p> <p>事業所としては、コンプレッサーの使用が電力使用の 4 分の 1 を占めているため、コンプレッサーの圧力を調整して節電を図っているのをはじめ、食堂の間引き照明、夏場のエアコン 28 度設定などの対策を行っている。節電の取組成果として、ピーク時は昨年度と比較して 3 割程度の電気使用量をカットできた。部品搬送時に使用した木箱等の廃材は、業者に出して炭化し、消臭剤等にして利用している。これらの炭を啓発の意味も含めて従業員に配布し、分別後の廃棄物を再度使う事ができると示している。また、事業所で出た紙類はボールペンの素材にリサイクルしている。</p> <p>滋賀県は琵琶湖があるので水質（排水）の管理は特に厳しく行っている。</p> <p>社内用資料には消去可能なコピーを使用し、使用後に消去装置で消す事で紙の再使用に努めている。この装置の導入により紙を 7~8 回繰り返し使う事ができるため、紙の使用量を削減できた。</p>		
グリーン購入の取組について	取組方法	<p>物品の購入は独自で行っているが、親会社がグリーン購入の方針を定め、再生された素材や再使用された部品を数多く利用する等の規定を設けているのでその基準に従って購入している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 グリーン購入に関する方針</li> <li>・取組の範囲 全社的</li> <li>・判断基準 あり</li> <li>・実績把握 なし</li> <li>・対象品目 紙類、トイレットペーパー、紙製事務用品、文具類、オフィス家具、コピー機、照明、作業服</li> </ul>	
	外部公表	親会社が HP で公表している。	
	取引先等 への啓発等	ISO14001 の取組の中で、取引先調査表を作成して環境の取組について調査している他、アンケート等で環境についてヒアリングするため、それが取引先への啓発も兼ねている。	
	従業員への 研修・啓発等	ISO14001 の要求事項に基づいて、環境教育を全職員に行っている。その際に、グリーン購入について触れている。	
	効果と負担 今後の展望	他の会社がどのような取組をしているかを知る機会や、自社の取組の参考にできるような事例を見つける機会があると良いと思っている。	

6 6	D 社		
所在地	—	従業員数	—
業 種	—	取材日	2011 年 10 月 31 日
対応者	環境安全課 ご担当者様		
グリーン購入の取組について	環境の取組全般について	<p>ISO14001・9001認証取得にあたり、省エネ活動や産業廃棄物ゼロミッションに取り組んでいる。環境方針を各部署や食堂に掲示し、方針に基づいて環境の取組を行っている。</p> <p>業務で使用しているパレットは環境配慮型商品を選んでいる。社内の照明を一部LEDに取り換えた。また、業務で使用する原料を入れる袋は再生品袋を使用しており、排出されるごみはサーマルリサイクルしている。</p>	
	取組方法	<p>事務用品等の購入は、人事総務担当者が環境配慮型商品を選ぶようにしている。事業で購入する原材料等は、親会社からの購入、または親会社からの指定を受ける事が多く、独自の取組は難しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 なし</li> <li>・取組の範囲 全社的</li> <li>・判断基準 なし</li> <li>・実績把握 なし</li> <li>・対象品目 紙類、トイレットペーパー、紙製事務用品、文具類</li> </ul>	
	外部公表	特になし	
	従業員への研修・啓発等	ISO14001認証取得時にグリーン購入についての研修を行った。	
	効果と負担 今後の展望	<p>環境配慮型商品は価格が高いイメージがある。環境配慮型商品とそうでない商品が同程度の価格なら、購入しやすい。</p> <p>機会があれば、グリーン購入について学べる研修に参加したい。</p> <p>環境配慮型商品が掲載しているリストがあると良い。</p>	
	滋賀GPNについて	環境の講習会に参加した際に、パンフレットか何かで名前を知った。	
	その他	滋賀県環境保全協会に加入している。	

6 7	E社		
所在地	—	従業員数	—
業 種	製造（化学）	取材日	2011年10月25日
対応者	総務部 ご担当者様		
事業内容	<p>プラスチック製品の製造と販売。中間商品を扱う事が多く、材料メーカー等への納品が多い。</p> <p>今回ヒアリングを行った事業所では、ウレタンなどの産業資材、ラミネート車両資材、断熱ボードの工業用資材の製造と、シューズ製品の流通業務を行っている。</p>		
環境の取組 全般について	<p>ISO14001認証取得。工場排水の水質管理、産業廃棄物の削減等を中心にプログラムを作成し取組を進めている。</p> <p>特に優先課題としているのは廃棄物の削減と3R活動の推進。ゼロエミッションにも取り組んでいる。取組の結果として2010年度の最終処分量は約22tとなり、1999年度比で約99%を削減。2010年度の最終処分率は0.3%で、今後の目標として2020年末までに最終処分率0.1%未満を目指している。</p> <p>環境負荷低減、省エネルギーに努める旨を環境方針にてHPで公表している。</p>		
グリーン購入の取組について	取組方法	<p>物品の購入は工場ごとに行われ、文具類等の備品は総務課で購入。製品に使用するものは調達部門で購入している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 なし</li> <li>・取組の範囲 全社的</li> <li>・判断基準 なし</li> <li>・地産地消の推進 できる限り滋賀県産のものを買う</li> <li>・実績把握 なし</li> <li>・対象品目 紙類、トイレットペーパー、外注印刷物</li> </ul>	
	外部公表	特になし	
	取引先等 への啓発等	原料調達先や顧客に対して環境の取組をしている事を伝え、協力を要請している。業界や製品によって重視するポイントは様々だが、昨今は、環境配慮やCO <sub>2</sub> 排出量削減を重視した製品の製造依頼も多くある。その場合は、材料調達の際にリサイクル原料の使用割合が決められている事が多く、慎重に対応している。取引業者の選定は、契約の際に環境の取組について確認している。産廃処理業者についても環境配慮や処理能力等を確認して選定する。	
	従業員への 研修・啓発等	工場の美化やごみの分別、5Sの取組を通して、従業員への啓発を行っている。	
	効果と負担 今後の展望	<p>グリーン購入という言葉は知っていたが、意味が広いため、具体的な情報を知りたい。基礎的な研修会があれば参加したい。また、他の企業の取組事例を知りたい。</p> <p>ファイル・手帳等身近に使うものに、どのような環境配慮型商品があるのかを知りたい。グリーン購入の情報を提供してくれる販売業者リストがあると便利だと思う。</p> <p>メーカーとしてはグリーン購入の効果が目で見てわかるようなものがあると取り組みやすいと思う。</p>	
滋賀GPNについて	商品・サービスの紹介や交流会は、具体的にどのような媒体や参加の場があるのか、詳細を知るために案内がほしい。内容によっては参加したい。		

6 8	F 社		
所在地	—	従業員数	88 人
業 種	製造（化学）	取材日	2011 年 10 月 28 日
対応者	環境担当 ご担当者様		
事業内容	理容・美容関連化粧品（シャンプー、トリートメント、パーマ液、スタイリング剤等）の製造。原料の受け入れから製造し、包装するまでと、それに伴う製品の品質検査等を行っている。主に美容関係のサロン向けの商品を取り扱っている。		
環境の取組 全般について	<p>ISO14001 認証取得。主な取組としては、生産工程における廃棄物の削減、環境配慮の原料選択、省エネの取組等が挙げられる。</p> <p>廃棄物の削減に向けて、不良品の削減に取り組むほか、物流部門における緩衝材の再利用、本社管理部門との連携による不要在庫を減らす取組や販促品の再利用等を行っている。</p> <p>また、製造上どうしても出てしまう廃棄物については、分別して業者に引き取ってもらい、サーマルリサイクルしている。汚泥は焼却・溶解後、道路の路盤材に使われている。</p> <p>また、製造に使用する熱源の燃料を灯油からガスに切り替える事により、大幅な CO<sub>2</sub> 排出量削減につながった。他にも、自動販売機を省エネタイプに変更、劣化した照明の省エネタイプへの切り替えを検討する等、できる事から地道な取組を積み重ねている。</p>		
グリーン購入の取組について	取組方法	<p>物品の購入については、全社的にウェブ上で発注するシステムを利用している。購入頻度が高いものは環境配慮情報を含めてリスト化され、そのリストの中から選定して購入する仕組みになっている。コストが同じ場合には環境配慮型商品を選ぶ事とされている。判断基準はグリーン購入法適合、エコマーク、GPN 「エコ商品ねっと」掲載、グリーンマーク、非木材紙マークがあるものとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 ISO 等のグリーン購入手順書</li> <li>・取組の範囲 一部の部署・営業所で取組</li> <li>・判断基準 あり</li> <li>・実績把握 なし</li> <li>・対象品目 紙類、トイレットペーパー、ティッシュペーパー、紙製事務用品、文具類、エアコン、照明</li> </ul>	
	外部公表	環境方針を公開し、自社 HP でも公表している。	
	従業員への研修・啓発等	<p>従業員へのグリーン購入についての研修は規定の改定時に行う。また、新入社員や担当者変更、別部署からの異動等の際にも実施している。</p> <p>従業員に対して、個人の生活の中でできる取組も含めた、省エネ・省資源に関する研修を行っている。その中で、「廊下の電気を消す事で月 2,500 円削減できる」等の具体例を示した。企業としては少額だが、家庭として考えると大きい金額になる事で、省エネ効果を実感してもらいたいと考えている。また、今後取り組もうとする内容を一人ひとりに記入してもらい、3 カ月ごとに進捗をチェックしている。そうする事で、従業員に自覚が生まれ、実際の行動につながると考えている。</p> <p>社内電子掲示板などをを利用して外部研修会の情報を提供している。従業員はその中から必要と思うものに参加している。最近であれば、産廃の適切な処理についての研修会に参加した。</p>	
	効果と負担 今後の展望	グリーン購入の取組効果が目に見えてわかると、取組がしやすくなりより進めやすくなると考えている。	

<b>滋賀GPNについて</b>	<p>GPN データベース「エコ商品ねっと」掲載のマークが判断基準になっているので、そのマークが ISO 文書内に記載されている。滋賀 GPN の事は取組アンケートが来て今回ヒアリングを受ける際に HP を見せていただいたので知っていた。</p>
------------------	---

1/2

**節電意識向上教育資料**

**なぜ節電に取り組むのか？**

①東日本大震災の影響で、今後の電力不足が予想されています。電気はためておくことができませんので、一瞬一瞬、需要にあわせて供給されています。しかし、電力を供給するための設備（原発）の一部が停止しているので、供給量が足りません。だから、節電が必要です。

②CO<sub>2</sub>排出量削減のため、省エネ法が改正され、電気をたくさん使う企業において年間 1%の電力使用量の削減を行うことが義務付けられました。また F 社としても経費削減の一環として電気使用料金の削減が必須です。だから、節電が必要です。

**電気の使用量と使用料**

電力需要についてのグラフを記載  
(本書では非公開)

**今、自分が会社でできる節電**

廊下の消灯	真ん中の会議室のエアコン消し忘れる…
40W×10本=400W	エアコンの消費電力 8200W
8：00から22：00まで点灯していたとす	15 時の休憩後、消し忘れていたとすると、
ると 14 時間点灯。	15：00～翌朝 6：00まで、17 時間運転。
電力使用量は、	電力使用量は、
400W×14 時間=5600Wh	○W×17 時間=○Wh
電力料は、100Whあたり約2円なので…	電力料は、100Whあたり約2円なので…
5600Wh÷100Wh×2円=112円	○÷100Wh×2円=○円
月間に直すと、2,240 円の節約	消し忘れ1回につき、○円の無駄遣い。

計算してみよう！

家でお父さんにさせる節電(もしくは自分が取り組む節電)

帰宅してからお風呂に入るまでの4時間だけ	
エアコンを我慢	
1100W×4 時間=4400Wh を我慢	
電力料は、100Whあたり約2円なので…	
4400Wh÷100Wh×2円=88円	
月間に直すと、 <b>2,640 円</b> の節約。	

下のグラフを参考に、他にも節約できることがないか考えてみましょう。

家電製品の電量使用量についての  
グラフを記載  
(本書では非公開)

最終的に自分(達)のためなので、会社でも家同様の節電(節約)意識を持つようにしましょう！

**節電意識向上シート**

2011 年度、私 \_\_\_\_\_ は、特に

に取り組み、節電に努めます。

現在

1 自信を持って取り組んでいると言える。  
2 まあ、取り組んでいると言える。  
3 あまり取り組んでいない。  
4 まったく取り組んでいない。

8 月～9 月

1 自信を持って取り組んだと言える。  
2 まあ、取り組んだと言える。  
3 あまり取り組まなかっただ。  
4 まったく取り組まなかっただ。

10 月～12 月

1 自信を持って取り組んだと言える。  
2 まあ、取り組んだと言える。  
3 あまり取り組まなかっただ。  
4 まったく取り組まなかっただ。

1 月～3 月

1 自信を持って取り組んだと言える。  
2 まあ、取り組んだと言える。  
3 あまり取り組まなかっただ。  
4 まったく取り組まなかっただ。



6 9	G 社		
所在地	—	従業員数	—
業 種	製造	取材日	2011 年 10 月 28 日
対応者	総務部 ご担当者様		
グリーン購入の取組について	<p><b>環境の取組全般について</b></p> <p>事業自体が環境の取組に大きく貢献していると考えている。高いリサイクル率についてを維持しているため、県より産廃税を免除されている。</p> <p>事務用品など全社で使う共通物品は総務で一括購入しており、できるだけ環境配慮型商品を購入している。</p> <p>淡海エコフォスター制度に参加しており、地域の「里づくり会」の皆様と会社付近の川の清掃等を行っている。その川で、夏にはホタルが飛び交っている。</p>		
	取組方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 なし</li> <li>・取組の範囲 一部の部署・営業所（全体が出来るだけ意識をしている。）</li> <li>・判断基準 なし</li> <li>・実績把握 なし</li> <li>・対象品目 紙類、トイレットペーパー、ティッシュペーパー、外注印刷物、紙製事務用品、文具類、特に決めていない（各部署の業務内容によって異なる。）</li> </ul>	
	外部公表	特になし	
	取引先等への啓発等	今後の取組として、機会があれば環境配慮についてお客様や取引先に伝えられると良いと考えている。	
	従業員への研修・啓発等	毎月、従業員に向けて新聞を発行しており、その中にグリーン購入を含む環境関連の情報を今後掲載していきたい。また、各部門管理職の集まる会議において、グリーン購入に関する方針について話す場を持ちたいと考えている。	
効果と負担 今後の展望		<p>どのような選び方をすれば、グリーン購入だと言えるのか、詳しく知りたい。</p> <p>2011 年 9 月 6 日に開催された滋賀 GPN 主催のグリーン購入セミナーで行ったワークショップではノートの選び方を取り上げていたが、その他の分野についても実施していただきたい。</p> <p>グリーン購入と合わせて裏紙の使用など、オフィス業務をトータルで見ながら環境活動を進めていきたい。</p>	
滋賀GPNについて		2011 年 9 月 6 日に行われたセミナーに参加した事で、環境配慮型商品への意識が高くなり、ノート等の購入時に環境ラベルの表示の有無を確認するようになった。	
その他		産廃処理業であるからこそ環境保全について常に意識しており、特に臭気対策には力を入れている。臭気対策として脱臭機を設置するほか、従業員が臭気判定士の資格を取得し、臭気を数値化して記録する事で常に状況把握しながら改善を図る事に努めている。	

70	H社		
所在地	—	従業員数	46人
業種	製造（電気機器）	取材日	2011年8月3日
対応者	管理グループ ご担当者様		
環境の取組 全般について		<p>2011年5月にISO14001認証取得。</p> <p>環境への意識が高い滋賀県に立地する企業として、環境の取組が必要と感じた事でISO14001の認証取得に至った。取得に向けて2011年3月に環境推進委員会（5名）を立ち上げた。</p> <p>現在は、節電、コピー用紙削減等に取り組み、グリーン購入の取りまとめを行っている。</p> <p>今年度（2011年）はグリーン購入について学び、取り組んだ結果を来年の取り組みに活かすための検証期間としている。</p>	
グリーン購入の取組について	取組方法	<p>判断基準は環境ラベル・グリーン購入法適合の表示が有る事としている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 ISO等のグリーン購入手順書</li> <li>・取組の範囲 全社的</li> <li>・判断基準 あり</li> <li>・実績把握 なし（来年に向けて実績把握方法を思案中）</li> <li>・対象品目 紙類、コピー機、作業服</li> </ul>	
	外部公表	特になし	
	取引先等への啓発等	部材の購入先に当社の環境活動について説明を行い、協力を求めていく予定をしている。取引先からアンケートでISO14001の取得の有無について問合せがあり、今年度取得した事を伝えている。	
	従業員への研修・啓発等	<p>従業員への啓発として環境方針を掲示している。事務員の制服は環境配慮型商品へ切り替えた。</p> <p>マイバッグ持参・簡易包装や地場産のものを選ぶ事もグリーン購入につながる事を知ったので今後取り組んでいきたい。</p>	
	効果と負担 今後の展望	<p>環境推進委員の中でエコ検定取得のため勉強中の従業員がおり、社内でも環境の取組への意識が高くなっている。</p> <p>カタログで環境配慮型商品を見たところ、割高に感じた。価格が安くなければ環境配慮型商品へ切り替えやすくなる。</p>	
	滋賀GPNについて	名前も、取り組んでいる内容も知らなかつたが、今回のヒアリングで知る事ができた。	
その他		ISO14001を認証取得したばかりで、グリーン購入についても勉強中であるため、他社の取組について知りたい。経費をかけてセミナー等に参加する事は難しいので、無料参加のセミナーがあれば参加したい。	

7 1	I 社		
所在地	—	従業員数	—
業 種	卸売業	取材日	2011年8月11日(Mail)
対応者	営業所長 ご担当者様		
事業内容	エレクトロニクス関連部材の専門商社。		
環境の取組 全般について	<p>ISO14001 認証取得。</p> <p>資料のデータ化保存によるペーパーレスやコピー時の裏紙使用、エアコン設定温度の厳守等に取り組んでいる。また、都市部への営業活動の際には、公共交通機関の利用に努めている。</p> <p>得意先には大手家電メーカー等があり、RoHS 指令による禁止 6 物質等の使用制限を受けているため、取扱商品は環境対応商品が基本である。</p>		
グリーン購入の取組について	取組方法	<p>グリーン購入する際の判断基準として、仕入れメーカーに外部検査機関の証明書の提出を義務付けている。環境対応品であれば、国内外を問わず購入している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の文書化 ISO 等のグリーン購入手順書</li> <li>・取組の範囲 全社的</li> <li>・判断基準 あり</li> <li>・実績把握 なし</li> </ul>	
	外部公表	環境方針に記載。個別ユーザーには、ユーザー固有の不使用保証書の提出。	
	取引先等 への啓発等	<p>仕入れメーカーに対して外部検査機関の証明書の更新（基本 1 年毎）を依頼。また、ユーザーに関しても更新を行っている。</p> <p>取引先業者選定の際は、環境対応の証明が可能である業者を選んでいる。</p>	
	従業員への 研修・啓発等	ISO9001/14001 に則った、OJT を年間 1~2 回行っている。	
	効果と負担 今後の展望	環境配慮型商品のリスト、カタログがなければ新規の業者選定が出来ないのでそういったカタログ等があると良い。	

## 滋賀県 組織的なグリーン購入の取組アンケート（会員用）

可能な範囲でご記入いただき、2011年7月15日までに事務局あてにEmailまたはFAXで送付してください。

Email送信先 : sgpn@oregano.ocn.ne.jp FAX送信先 : 077-510-3586

貴社名					従業員数	人
所在地						
記入者 所属			記入者 役職			記入者 お名前
T E L		F A X		E-mail		
業種 (主たるもの1つに○)	製造(食料品 繊維製品 パルプ 化学 医薬品 石油・ゴム製品 窯業 鉄鋼・非鉄金属 金属製品 機械 電気機器 輸送用機器 精密機械 文具・事務機器 その他製造) 建設 卸売業 小売業 銀行・信用金庫 証券・保険 その他の金融 輸送・倉庫 通信 電気・ガス 印刷・印刷関連 サービス その他					

**■回答方法■ 特に指定がない限り、もっともあてはまる選択肢1つに○をつけてください。**

問1 グリーン購入に取り組んでいますか？

- ①全般的に取り組んでいる                   ②一部の部署・営業所では取り組んでいる  
③取り組んでいない（以前は取り組んでいた）           ④取り組んでいない（以前も取り組んでいない）

◆問1で、③または④と回答された企業様は問8にお進みください

問2 グリーン購入に取り組むことが明記された文書はありますか？

- ①ある                                   ②ない

※「①ある」の場合、明記されているのは、どのような文書ですか？

- a.ISO等のグリーン購入手順書 b.グリーン購入に関する方針 c.その他（ ）

◆問2で、「ある」と回答された企業様は、次の問3に回答ください

◆問2で、「ない」と回答された企業様は、問4にお進みください

問3 下記の項目のうち、取り組んでいる項目すべてに○をつけてください。

- ①グリーン購入される際に、環境対応製品かどうかの判断基準を設けている  
②「購入率〇〇%」というようにグリーン購入の数値目標を設定している  
③グリーン購入の実績を、定期的に集計している  
④グリーン購入を推進する目標や購入基準の見直しを、定期的に行っている  
⑤グリーン購入を推進する方針、目標等を全従業員が把握している

→問4 グリーン購入の対象とされている品目・サービスは次のうちどれですか？（複数回答可）  
対象とされているものを○で囲んでください。

- ・紙類（コピー用紙など）     ・トイレットペーパー     ・ティッシュペーパー     ・外注印刷物
- ・紙製事務用品（ファイル、ノート、封筒など）     ・文具類（ボールペン、鉛筆、消しゴム、テープ類など）
- ・オフィス家具     ・ファクシミリ     ・プリンタ     ・コピー機     ・パソコン     ・冷蔵庫     ・テレビ
- ・洗濯機     ・エアコン     ・自動車     ・照明     ・作業服     ・資材（土砂、混合セメントなど）
- ・事務服、制服     ・ホテル、旅館（利用）     ・特に決めていない     ・取り組んでいない

問5 グリーン購入に取り組んでいることを、外部に公表されていますか？

- ①はい                           ②いいえ

問6 従業員に対して、グリーン購入に関する研修等を行っていますか？

- ①定期的に行っている                   ②行ったことがある  
③行ったことはない（今後行う予定）      ④行ったことはない（今後の予定もない）

問7 取引先や顧客に対してグリーン購入に関する啓発活動を行っていますか？

- ③定期的に行っている                   ②行ったことがある  
②行ったことはない（今後行う予定）      ④行ったことはない（今後の予定もない）

貴社名	
-----	--

→ 問 8 国産あるいは滋賀県で生産されたものを購入していますか？

- ①滋賀県産を積極的に購入している
- ②滋賀県産にはこだわらないが、国産を積極的に購入している
- ③滋賀県産、国産、外国産にこだわらずに購入している

問 9 商品を購入するとき、環境問題に積極的に取り組んでいる業者を選んで購入していますか？

- ①はい
- ②いいえ

問 10 過去 1 年以内に環境に関する外部の研修会に参加された事はありますか？

- ①はい
  - ②いいえ
- ※「はい」と答えた方は、研修会の詳細を教えてください。  
研修会名称（ ）主催者（ ）

問 11 従業員に対して、マイバックの持参、簡易包装や地場産のものを選ぶ等、個人の生活の中で実践できる環境の取組について、研修あるいは呼びかけを行っていますか？

- ①定期的に行っている
- ②行ったことがある
- ③行ったことはない（今後行う予定）
- ④行ったことはない（今後の予定もない）

問 12 グリーン購入を進める上で、どのようなことが必要ですか？（現在取り組んでいない企業様はどのようなことがあれば取り組むことができるかという視点でお答えください。）  
当てはまるものに○を付けてください。（3つまで）

- ①グリーン購入とは何か、基礎的な研修会を受講したい
- ②グリーン購入情報を提供してくれる販売業者のリストがあるといい
- ③環境配慮型商品だけが載っているカタログ等があるといい
- ④グリーン購入の実践方法を学べる研修を（無料なら・有料でも）受講したい
- ⑤グリーン購入に取り組んでいる企業の事例を聞きたい
- ⑥グリーン購入に取り組んでいる企業と交流できる場に参加したい
- ⑦グリーン購入を推進した場合の効果がわかるといい
- ⑧環境配慮型商品の価格が安くなるといい
- ⑨その他（ ）

問 13 滋賀グリーン購入ネットワーク（以下、滋賀 GPN）に入会した主な理由は、どのようなことですか？あてはまるものに○を付けてください。（3つまで）

- ①グリーン購入の実践方法を学びたかった
- ②社会貢献活動に参加したいから
- ③環境の取組の一環として
- ④取引先とのお付き合い
- ⑤新たな顧客獲得につながると思ったから
- ⑥商品・サービスを紹介する機会があると思ったから
- ⑦その他（ ）

問 14 滋賀 GPNに入会前と、入会後とで、意識面で変わったことはなんですか？（複数回答可）

- ①社員が意識的に情報を手に入れるようになった
- ②環境に対する姿勢が受け身でなくなった
- ③環境配慮型商品はコスト的に不利だと思っていたが既成観念が無くなった
- ④特にない
- ⑤その他（ ）

問 15 滋賀 GPNに入会して良かったと感じたことはありますか？  
あてはまるものに○を付けてください。（3つまで）

- ①グリーン購入の実践方法を学べた
- ②社会貢献活動に参加できた
- ③環境の取組の一環として参加できた
- ④新たな顧客獲得につながった
- ⑤商品・サービスを紹介する機会を得た
- ⑥環境配慮の意識が社内に浸透した
- ⑦環境配慮型商品が調達しやすくなった
- ⑧環境関連の情報を得やすくなった
- ⑨その他（ ）

問 16 入会してみて、期待との相違はありましたか？

- ①期待以上に満足
- ②ほぼ期待通り
- ③やや期待外れ
- ④期待外れ

問 17 問 16 の回答理由および滋賀 GPN に期待すること、要望等があればご記入ください。

（ ）

質問は以上です。お忙しいところご協力いただき、ありがとうございました。

## 滋賀県 組織的なグリーン購入の取組アンケート

可能な範囲でご記入いただき、返信用封筒又は、FAXで送付してください。

送付期限:2011年8月8日 FAX送信先:077-510-3586

貴社名					従業員数	人
所在地						
記入者 所属		記入者 役職		記入者 お名前		
TEL		FAX		E-mail		
業種 (主たるもの1つに○)	製造(食料品 繊維製品 パルプ 化学 医薬品 石油・ゴム製品 窯業 鉄鋼・非鉄金属 金属製品 機械 電気機器 輸送用機器 精密機械 文具・事務機器 その他製造) 建設 卸売業 小売業 銀行・信用金庫 証券・保険 その他の金融 輸送・倉庫 通信 電気・ガス 印刷・印刷関連 サービス その他					

■回答方法■ 特に指定がない限り、もっともあてはまる選択肢1つに○をつけてください。

問1 グリーン購入に取り組んでいますか?

1. 全社的に取り組んでいる 2. 一部の部署・営業所では取り組んでいる  
3. 取り組んでいない(以前は取り組んでいた) 4. 取り組んでいない(以前も取り組んでいない)

◆問1で、3.または4.と回答された企業様は問8にお進みください

問2 グリーン購入に取り組むことが明記された文書はありますか?

1. ある 2. ない

※「1.ある」の場合、明記されているのは、どのような文書ですか?

- a.ISO等のグリーン購入手順書 b.グリーン購入に関する方針 c.その他()

◆問2で、「ある」と回答された企業様は、次の問3に回答ください

◆問2で、「ない」と回答された企業様は、問4にお進みください

問3 下記の項目のうち、取り組んでいる項目すべてに○をつけてください。

- グリーン購入される際に、環境対応製品かどうかの判断基準を設けている
- グリーン購入の「購入率〇〇%」というように数値目標を設定している
- グリーン購入の実績を、定期的に集計している
- グリーン購入を推進する目標や購入基準の見直しを、定期的に行っている
- グリーン購入を推進する方針、目標等を全従業員が把握している

→問4 グリーン購入の対象とされている品目・サービスは次のうちどれですか? (複数回答可)  
対象とされているものを○で囲んでください。

- ・紙類(コピー用紙など) ・トイレットペーパー ・ティッシュペーパー ・外注印刷物
- ・紙製事務用品(ファイル、ノート、封筒など) ・文具類(ボールペン、鉛筆、消しゴム、テープ類など)
- ・オフィス家具 ・ファクシミリ ・プリンタ ・コピー機 ・パソコン ・冷蔵庫 ・テレビ
- ・洗濯機 ・エアコン ・自動車 ・照明 ・作業服 ・資材(土砂、混合セメントなど)
- ・事務服、制服 ・ホテル、旅館(利用) ・特に決めていない ・取り組んでいない

問5 グリーン購入に取り組んでいることを、外部に公表されていますか?

1. はい 2. いいえ

問6 従業員に対して、グリーン購入に関する研修等を行っていますか?

1. 定期的に行っている 2. 行ったことがある  
3. 行ったことはない(今後行う予定) 4. 行ったことはない(今後の予定もない)

貴社名

問 7 取引先や顧客に対してグリーン購入に関する啓発活動を行っていますか？

1. 定期的に行っている 2. 行ったことがある  
3. 行ったことはない（今後行う予定） 4. 行ったことはない（今後の予定もない）

問 8 国産あるいは滋賀県で生産されたものを購入していますか？

1. 滋賀県産を積極的に購入している  
2. 滋賀県産にはこだわらないが、国産を積極的に購入している  
3. 滋賀県産、国産、外国産にこだわらずに購入している

問 9 商品を購入するとき、環境問題に積極的に取り組んでいる業者を選んで購入していますか？

1. はい 2. いいえ

問 10 過去 1 年以内に環境に関する外部の研修会に参加された事はありますか？

1. はい 2. いいえ ※「はい」と答えた方は、研修会の詳細を教えてください。  
研修会名称（ ）主催者（ ）

問 11 従業員に対して、マイバックの持参、簡易包装や地場産のものを選ぶ等、個人の生活の中で実践できる環境の取組について、研修あるいは呼びかけを行っていますか？

1. 定期的に行っている 2. 行ったことがある  
3. 行ったことはない（今後行う予定） 4. 行ったことはない（今後の予定もない）

問 12 グリーン購入を進める上で、どのようなことが必要ですか？（現在取り組んでいない企業様はどのようなことがあれば取り組むことができるかという視点でお答えください。）  
当てはまるものに○をつけてください。（3つまで）

1. グリーン購入とは何か、基礎的な研修会を受講したい  
2. グリーン購入情報を提供してくれる販売業者のリストがあるといい  
3. 環境配慮型商品だけが載っているカタログ等があるといい  
4. グリーン購入の実践方法を学べる研修を（無料なら・有料でも）受講したい  
5. グリーン購入に取り組んでいる企業の事例を聞きたい  
6. グリーン購入に取り組んでいる企業と交流できる場に参加したい  
7. グリーン購入を推進した場合の効果がわかるといい  
8. 環境配慮型商品の価格が安くなるといい  
9. その他（ ）

問 13 自社の商品・サービスを紹介できる場があれば参加したいですか？

1. 無料なら参加したい 2. 有料でも参加したい 3. 案内はほしい 4. 参加したいとは思わない

問 14 自社の商品・サービスを行政機関に紹介できる場があれば参加したいですか？

1. 無料なら参加したい 2. 有料でも参加したい 3. 案内はほしい 4. 参加したいとは思わない

問 15 自社の商品・サービスを紹介できるパンフレット・カタログがあれば掲載したいですか？

1. 無料なら掲載したい 2. 有料でも掲載したい 3. 案内はほしい 4. 掲載したいとは思わない

問 16 自社の商品・サービスを紹介できるホームページがあれば掲載したいですか？

1. 無料なら掲載したい 2. 有料でも掲載したい 3. 案内はほしい 4. 掲載したいとは思わない

問 17 企業が集まる交流会や意見交換会があれば参加したいですか？

1. 無料なら参加したい 2. 有料でも参加したい 3. 案内はほしい 4. 参加したいとは思わない

問 18 滋賀グリーン購入ネットワークについて、ご存知のことを教えてください。

1. 名前も、取り組んでいる内容も知っている  
2. 名前は知っているが、取り組んでいる内容は、知らない  
3. 名前も、取り組んでいる内容も知らない

質問は以上です。お忙しいところご協力いただき、ありがとうございました。

**ISO9001**：製品やサービスの品質保証を通じて、顧客満足向上と品質マネジメントシステムの継続的な改善を実現する国際規格<sup>1)</sup>。品質マネジメントシステムとは、品質に関して組織を指揮し、管理するための仕組み<sup>2)</sup>。

**ISO13485**：安全で有用な医療機器の継続的な製造・供給を目的とした、医療分野における品質マネジメントシステムの世界標準規格<sup>3)</sup>。

**ISO14001**：組織活動、製品及びサービスの環境負荷の低減といった環境パフォーマンスの改善を実施する仕組みが継続的に運用されるシステム（環境マネジメントシステム）を構築するために要求される規格<sup>4)</sup>。

2011年11月現在、国内20,245の組織が認証・登録を受けている<sup>5)</sup>。

**ISO50001**：エネルギーパフォーマンス、エネルギー効率や省エネルギーの継続的改善を図ることを目的とした国際規格<sup>6)</sup>。

**EMS (Environmental Management System)**：環境マネジメントシステムの略。組織や事業者が、その運営や経営の中で自主的に環境保全に関する取組を進めるにあたり、環境に関する方針や目標を自ら設定し、これらの達成に向けて取り組んでいくことを「環境管理」又は「環境マネジメント」と言い、このための工場や事業所内の体制・手続き等の仕組み<sup>7)</sup>。

**エコアクション21(EA21)**：全ての事業者が環境への取組を効果的、効率的に行うことの目的に、環境に取り組む仕組みを作り、取組を行い、それらを継続的に改善し、その結果を社会に公表するための方法について環境省が策定したガイドライン<sup>8)</sup>。環境マネジメントシステム、環境パフォーマンス評価及び環境報告をひとつに統合したものであり、取り組むことにより、中小事業者でも自主的・積極的な環境配慮に対する取組が展開でき、かつその取組結果を「環境活動レポート」として取りまとめて公表できるような仕組みになっている<sup>9)</sup>。

2011年11月現在、6,939事業者がEA21の認証・登録を受けている<sup>8)</sup>。

**エコテックス・スタンダード100**：健康に不安のない繊維製品を求める消費者や一般社会の需要に応えて1990年代の初めに立ち上げられた規格で、繊維の全加工段階での原料、半製品、最終製品に適用される、世界的に統一された試験・認証システム<sup>10)</sup>。

**MBR (Membrane Bio-Reactor)**：膜分離活性汚泥法<sup>11)</sup>

**OJT (On the Job Training)**：日常業務を通じた教育訓練のこと。日本企業が開発した伝統的な教育訓練手法<sup>12)</sup>。

**カーボンオフセット**：日常生活や経済活動において避けることができない CO<sub>2</sub> 等の温室効果ガスの排出について、まずできるだけ排出量が減るよう削減努力を行い、どうしても排出される温室効果ガスについて、排出量に見合った温室効果ガスの削減活動に投資すること等により、排出される温室効果ガスを埋め合わせるという考え方<sup>13)</sup>。

**カーボンフットプリント**：炭素の足跡。商品やサービスの原料調達から廃棄、リサイクルに至るライフサイクル全体での温室効果ガスの排出量を二酸化炭素に換算してわかりやすく表示する仕組み<sup>14)</sup>。

**グリーン経営認証**：交通エコロジー・モビリティ財団が認証機関となり、グリーン経営推進マニュアルに基づいて一定レベル以上の取組を行っている事業者に対して、審査の上認証・登録を行うもの<sup>15)</sup>。

**グリーン購入実践プラン滋賀登録制度 (GP プラン滋賀)**：滋賀県が取引事業者を環境配慮事業者に導くために設けた制度。グリーン購入を自主的に実践していると認められる中小事業者等が登録することができ、登録事業者は滋賀県が実施するグリーン入札の参加資格を得られる<sup>16)</sup>。

**グリーン購入ネットワーク (Green Purchasing Network)**：略称「GPN」、本部は東京。1996 年設立。グリーン購入が環境配慮型製品の市場形成に重要な役割を果たし、市場を通じて環境配慮型製品の開発を促進し、ひいては持続可能な社会の構築に資する極めて有効な手段であるという認識のもとに、グリーン購入を推進する団体。企業、行政機関、民間団体等、約 2,700 団体の会員を有する<sup>17)</sup>。

**KES (Environmental Management System Standard)**：環境マネジメントシステム・スタンダードの略。特定非営利活動法人 KES 環境機構（所在地：京都市）が運営する「環境マネジメントシステム」の規格。環境マネジメントシステムには国際規格 ISO14001 があるが、中小企業には人・物・金等経営資源の問題により取得が困難であることから、より分かりやすく取り組みやすい規格として誕生した<sup>18)</sup>。

2011 年 11 月現在、3,781 事業者が KES の認証・登録を受けている<sup>18)</sup>。

**コンパクトエコシステム (CES)**：環境マネジメントシステム。中小企業向けの環境マネジメントシステムで運営主体は社団法人日本経営士会環境社会創出プロジェクトである<sup>19)</sup>。

**5S**：「整理 (Seiri)」「整頓 (Seiton)」「清掃 (Seisou)」「清潔 (Seiketsu)」「しつけ (Shitsuke)」といった生産現場での基本プレーを徹底させる活動のこと<sup>20)</sup>。

**CSR (Corporate Social Responsibility)**：企業の社会的責任。企業活動を社会的公正性や環境保全等の観点から、利益の追求だけではなく、さまざまな社会的な側面（法令の遵守、人権擁護、労働環境、消費者保護など）、環境的な側面においても公益や成果を高め、ステークホルダーに対して責任を果たすべきだとする理念<sup>21)</sup>。

**滋賀グリーン購入ネットワーク (Shiga Green Purchasing Network)**：

滋賀県内のグリーン購入の取組をさらに促進するために地域版 GPN として、滋賀県の呼びかけにより発足。略称「滋賀 GPN」、事務局所在地は大津市。1999 年設立。企業、行政機関、民間団体等約

450 団体が会員として参加している<sup>22)</sup>。

**滋賀県グリーン入札制度**：県内の事業者の環境保全活動の促進を図ることを目的として、滋賀県で行われている制度。これにより、県は環境配慮型製品を購入する際に、環境負荷の低減に積極的に取り組む事業者を優先して、競争入札や随意契約を実施する<sup>23)</sup>。

**CCFL (Cold Cathode Fluorescent Lamp)**：冷陰極蛍光管。一般の蛍光灯（熱陰極管）と電子を放出する電極部分の構造が異なる。一般の蛍光灯（熱陰極管）と比較すると電極のフィラメントコイルがなく断線がないため長寿命である<sup>24)</sup>。

**3R (スリー・アール)**：廃棄物の発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、使用済み製品等の原材料としての再利用（リサイクル）のこと<sup>25)</sup>。

**地産地消**：「地元生産、地元消費」を略した言葉で、「その土地で生産されたものをその土地で消費する」こと<sup>26)</sup>。

**BDF (Bio Diesel Fuel)**：バイオ・ディーゼル・フューエル。精製した食用廃油や植物から採取した油分を、ディーゼルエンジンの軽油に変えて燃料としたもの。ディーゼルエンジンにそのまま利用でき、黒煙が少なく、硫黄酸化物（SOx）もほとんど排出されない<sup>27)</sup>。

**フレコン**：フレキシブルコンテナ。ポリエチレン、ポリプロピレンなどの化学繊維で編まれたシートで製作した袋で、粉粒状の穀物、飼料、石炭、石灰石、土砂等の包装・輸送用として使われる<sup>28)</sup>。

**VOC (Volatile Organic Compounds)**：揮発性有機化合物。常温で蒸気圧の高い有機化合物の総称。沸点の低いエーテル類やクロロホルム、有機塩素化合物などがこれに当たる。拡散しやすく生分解性に乏しいため、大気汚染・地下水汚染の原因物質として問題視されている<sup>29)</sup>。

**マザーレーク滋賀応援基金**：「マザーレイク滋賀応援寄附条例」に基づき受領した寄附金の適正な管理および運用を行い、条例で規定する事業の推進を図るために設置された基金。「マザーレイク滋賀応援寄附条例」は琵琶湖の自然と滋賀の豊かな歴史的文化的資産を次の世代に引き継ぐために滋賀県の取組を応援しようとする個人または団体から広く寄附金を募り、これを財源として事業を実施することにより、滋賀の魅力ある地域づくりに資することを目的として制定された条例<sup>30)</sup>。

**美知メセナ**：滋賀県が行っている道路愛護活動のボランティア制度。この制度の趣旨に賛同する会社や事務所を対象とし、県の管理する道路の植栽およびその周辺で、月一回以上、植栽内の除草や施肥、剪定およびその周辺の清掃活動をすることで登録できる<sup>31)</sup>。

**RoHS 指令(ローズ指令)**：2003 年 2 月、欧州連合 (EU) 15 カ国（当時）で発効した特定有害物質使用制限指令。電気電子機器類に含まれる有害 6 物質[水銀、カドミウム、鉛、六価クロム、ポリ臭化ビフェニール (PBB)、ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE) ]を原則として使用禁止とする。2006 年 7 月以降、EU 市場ではこれら 6 物質を一定量以上含む電機・電子機器類は実質的に販売できなく

なった<sup>32)</sup>。

### 【出典】

- 1)一般財団法人 日本品質保証機構 (JQA)
- 2)公益財団法人日本適合性認定協会 <http://www.jab.or.jp/mas/05.html>
- 3)一般財団法人 日本品質保証機構 (JQA)  
[http://www.jqa.jp/service\\_list/management/service/iso13485/](http://www.jqa.jp/service_list/management/service/iso13485/)
- 4)環境省<http://www.env.go.jp/policy/j-hiroba/04-iso14001.html>
- 5)公益財団法人日本適合性認定協会  
[http://www.jab.or.jp/cgi-bin/jab\\_statistic\\_14\\_j.cgi](http://www.jab.or.jp/cgi-bin/jab_statistic_14_j.cgi)
- 6)一般社団法人日本品質保証機構 (JQA)  
[http://www.jqa.jp/service\\_list/management/service/iso50001/](http://www.jqa.jp/service_list/management/service/iso50001/)
- 7)環境省<http://www.env.go.jp/policy/j-hiroba/04-1.html>
- 8)EA21 中央事務局<http://www.ea21.jp/ea21/index.html>
- 9)環境省<http://www.env.go.jp/policy/j-hiroba/04-5.html>
- 10)OEKO-TEX®研究所・試験機関  
[http://www.oeko-tex.com/OekoTex100\\_PUBLIC/content5.asp?area=hauptmenue&site=gruendefuereinfuehrung&cls=20](http://www.oeko-tex.com/OekoTex100_PUBLIC/content5.asp?area=hauptmenue&site=gruendefuereinfuehrung&cls=20)
- 11)東レグループ滋賀 環境. 社会活動報告書 2011
- 12)現代用語の基礎知識, p608,自由国民社, (2011)
- 13)環境省[http://www.env.go.jp/earth/ondanka/mechanism/carbon\\_offset.html](http://www.env.go.jp/earth/ondanka/mechanism/carbon_offset.html)
- 14)現代用語の基礎知識, p1531,自由国民社, (2011)
- 15)交通エコロジー・モビリティ財団 HP<http://www.green-m.jp/>
- 16)滋賀県<http://www.pref.shiga.jp/k/eco/gb/gpp.html>
- 17)グリーン購入ネットワーク<http://www.gpn.jp/about/index.html>
- 18)特定非営利活動法人 KES 環境機構<http://www.keskyoto.org/kesinfo.html>
- 19)社団法人日本経営士会<http://mba-web.jp/eco/index22.html>
- 20)武藤泰明,経営用語辞典,p84,日経文庫 (2006)
- 21)現代用語の基礎知識, p599,自由国民社, (2011)
- 22)滋賀グリーン購入ネットワーク<http://shigagpn.gr.jp/>
- 23)滋賀県<http://www.pref.shiga.jp/k/eco/gb/index.html>
- 24)日本ガラストロニクス株式会社<http://www.ngc-inc.co.jp/katarogu.pdf>
- 25)経済産業省<http://www.meti.go.jp/policy/recycle/main/data/pamphlet/index.html>
- 26)現代用語の基礎知識, p1096,自由国民社, (2011)
- 27)現代用語の基礎知識, p839,自由国民社, (2011)
- 28)石谷孝佑・水口眞一・大須賀弘,トコトンやさしい包装の本,p80,日刊工業新聞社, (2010)
- 29)現代用語の基礎知識, p763,自由国民社, (2011)
- 30)滋賀県<http://www.pref.shiga.jp/ouen/index.html>
- 31)滋賀県[http://www.pref.shiga.jp/h/doro/d\\_michibushin01.html](http://www.pref.shiga.jp/h/doro/d_michibushin01.html)
- 32)鈴木敏央,新・よくわかる ISO 環境法, p74,ダイヤモンド社 (2007)

## 滋賀グリーン購入ネットワーク事務局

〒520-0807 大津市松本一丁目2-1 大津市合同庁舎6階

TEL 077-510-3585

FAX 077-510-3586

Email [sgpn@oregano.ocn.ne.jp](mailto:sgpn@oregano.ocn.ne.jp)

ホームページ <http://www.shigagpn.gr.jp>

リサイクル適正 (A)

○この印刷物は、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）に基づく基本方針の基準を満たす紙を使用しています。

○リサイクル適正の表示

この印刷物はAランクの資材のみを使用しており、印刷用の紙にリサイクルできます。